

財団法人 アジア女性交流・研究フォーラム アニュアルレポート  
Kitakyushu Forum on Asian Women

# ANNUAL REPORT



平成20(2008)年度 年報  
April 2008 – March 2009



第 19 回アジア女性会議—北九州 パネルディスカッション「地球を食べる、地球で食べる—あなたは食を通して何を考えますか？」  
The 19<sup>th</sup> Kitakyushu Conference on Asian Women: Panel Discussion on “Eat the Earth, Eat on the Earth”



第 19 回アジア女性会議—北九州 日韓国際セミナー「日本と韓国における移住女性の現在—その文化的葛藤と健康問題」  
The 19<sup>th</sup> Kitakyushu Conference on Asian Women: The Japan-Korea International Seminar on “Female International Migrants’ Current Status of Cultural Conflicts and Health Problems in Japan and ROK”



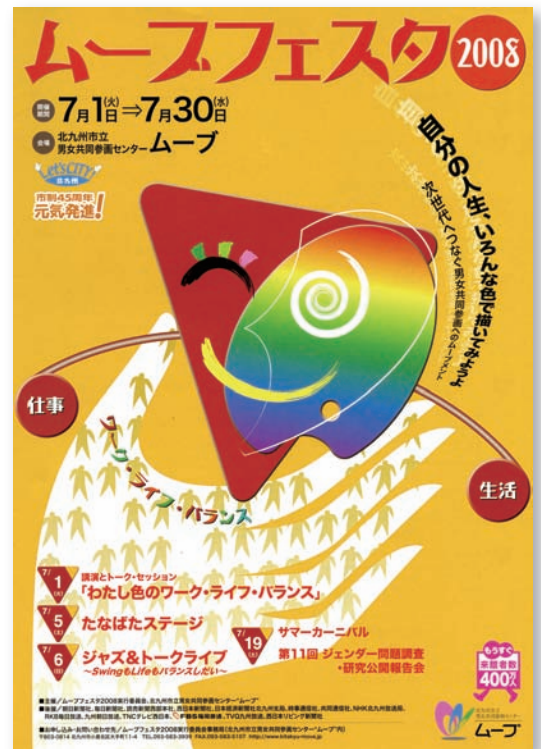
財団設立 15 周年記念講演会「アジア・太平洋地域の女性の現状」  
Lecture on “The Current Status of Women in the Asia-Pacific Region” on the 15<sup>th</sup> anniversary of the founding of KFAW

第 7 回ジェンダー主流化政策のための行政官セミナー視察  
The 7<sup>th</sup> Seminar on Gender Mainstreaming Policies for Government Officers





ムーブフェスタ 2008 講演とトークセッション「わたし色のワーク・ライフ・バランス」  
 Move Festa 2008: Lecture and Discussion Session on "My Work-Life Balance"



400万人達成記念式典（平成20年7月19日）  
 Commemorative ceremony held to mark Move's four million visitors (July 19, 2008)



男女共同参画マンガコンクールの実施  
 Booklet on the Cartoon Contest on Gender Equality

# 目 次

## 財団法人アジア女性交流・研究フォーラムの概要

設立趣意書	2
目的	2
事業内容	2
組織	3
職員数	4
役員等	4
運営	6

## 平成 20 (2008) 年度実施事業

一般会計事業	9
調査・研究事業	10
交流・研修事業	12
情報収集・発信事業	15
管理事業	18
特別会計事業	21
国際研修特別会計	22
北九州市立男女共同参画センター管理運営事業特別会計	23
北九州市立男女共同参画センター自主事業特別会計	35
北九州市大手町ビル維持管理事業特別会計	35
北九州市立男女共同参画センター利用状況	36

## 財務諸表

収支計算書総括表	40
正味財産増減計算書総括表	41
貸借対照表総括表	42
財務諸表に対する注記 総括表	43

## 資料

財団法人アジア女性交流・研究フォーラムの歩み	46
刊行物一覧	51
海外とのネットワーク	56
施設案内	57



## 財団法人アジア女性交流・研究フォーラムの概要

## 設立趣意書

今日、国際社会においては、地球的規模で、世界の平和と人類の福祉向上の実現に向けての努力が重ねられています。

女性の地位向上の面においても、一国の全面的な発展及び世界の福祉・平和のためには、女性が男性と共に、社会のあらゆる分野に参画することが必要であることが認識され、1975年の「国際婦人年」を契機に、続く「国連婦人の十年」において「平等・開発・平和」を目標として世界的な規模での活動が活発に展開されてきました。しかし、実質的な女性の地位向上には、まだ多くの問題が残されており、国連婦人の十年以後もその精神を引き継ぎ、ナイロビ世界会議で採択された西暦2000年に向けての「婦人の地位向上のためのナイロビ将来戦略」に沿って、世界各地で目標達成のための努力が続けられています。

女性問題は、女性が単に女性であるということから生じるさまざまな不利益、不平等の問題であり、基本的人権、人間の尊厳にかかわる問題であります。その意味において、女性問題は女性だけの問題ではなく、男性を含む社会全体の、世界的に共通な問題であるといえます。このような観点から、現在、女性の視点が反映されることの少なかった従来の社会のありかたの再構築の必要性が認識され、男女共同参画による社会づくりが強く求められています。特に、開発途上国においては、国の開発の推進と開発における女性の参画が重要な問題となっています。

このような女性問題に対する認識と国際婦人年以来のさまざまな活動をふまえ、北九州市のふるさと創生事業を契機にアジア女性交流・研究フォーラムは事業を開始しました。以来、女性の地位向上とアジア地域の連帯・発展の核として機能することを目指して、日本及び他のアジア地域の女性問題に関する調査・研究及び情報の収集・提供、あるいは開発途上国の人材養成のための研修ならびに相互理解を促進するための国際交流などの活動を行ってきました。

国際社会が相互依存の関係を強め、日本の国際的役割がますます重要になるなかで、わたしたちは、アジア女性交流・研究フォーラムの事業の使命と意義を更に深く認識し、安定的な財政基盤の確保と、これまでの活動の一層の充実を図り、日本における女性問題の所在をより明確にするとともに、アジアの女性の地位向上に更に寄与することを念願し、ひいては、国際婦人年以降の目標である「平等・開発・平和」を達成するため、財団法人アジア女性交流・研究フォーラムを設立いたします。(1993年起草)

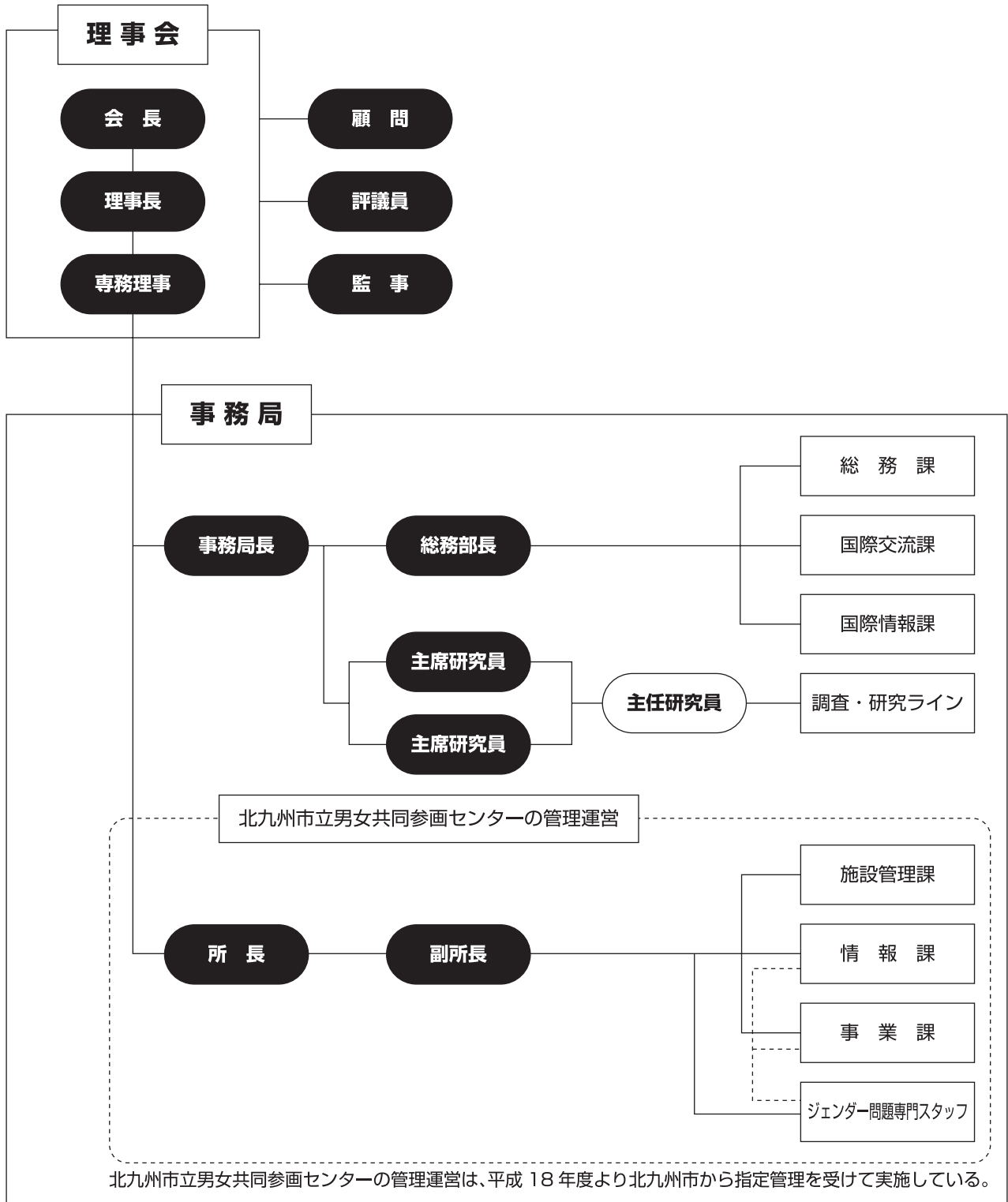
## 目 的

日本および他のアジア諸国の男女共同参画社会形成に関する調査・研究および国際交流等を行い、もって、国内外の女性の地位向上と連帯・発展に寄与し、国際婦人年以降の目標である「平等・開発・平和」の達成を目指す。

## 事業内容

- (1) ジェンダーや男女共同参画に関する課題についての調査・研究
- (2) ジェンダーや男女共同参画に関する課題についての国際交流・研修
- (3) ジェンダーや男女共同参画に関する課題についての情報収集・発信
- (4) 北九州市立男女共同参画センターの管理・運営
- (5) その他、本財団の目的を達成するために必要な事業

# 組織



## 職員数

平成 21 年 3 月 31 日現在

区分	理事長 <sup>※2</sup>	事務局長 <sup>※3</sup>	部長級	課長級	職員	計
市派遣		1	2	5	2	10
うちムーブ職員 <sup>※1</sup>		0	1	2	0	3
財団採用職員				1	0	1
うちムーブ職員 <sup>※1</sup>				0	0	0
嘱託	1		2	2	17	22
うちムーブ職員 <sup>※1</sup>	1			2	14	17

※1 北九州市立男女共同参画センター“ムーブ”の管理運営に従事する職員。

※2 理事長は所長が兼務する。

※3 事務局長は専務理事が兼務する。

## 役員等（五十音順）

平成 20 年度名簿

### 会長

三隅 佳子 (財)アジア女性交流・研究フォーラム会長

### 理事長

吉崎 邦子 (財)アジア女性交流・研究フォーラム理事長

### 専務理事

永岡 博文 北九州市子ども家庭局担当部長

### 理事

麻田 千穂子 北九州市副市長

今岡 研二 北九州市 PTA 協議会会長

江尻 美穂子 津田塾大学名誉教授

笠原 秀昭 独立行政法人国際協力機構九州国際センター所長

川崎 啓子 北九州市公立学校等女性管理職の会会長

窪田 由紀 北九州市教育委員会教育委員

小林 省三 北九州 YMCA 総主事

ステファニー A. ウェストン 福岡大学教授

田村 慶子 北九州市立大学教授

堤 要 NPO 法人アジア女性センター理事長

土井 智子 北九州市女性団体連絡会議会長

富安 兆子 高齢社会をよくする北九州女性の会代表

平田 トシ子 第4期北九州市男女共同参画審議会会長

藤岡 佐規子 ユニフェム日本国内委員会北九州地域委員会会長、北九州市保育所連盟会長

堀内 光子 文京学院大学客員教授

森島 香二 NHK 北九州放送局局長  
矢田 俊文 北九州市立大学学長

#### 監事

赤司 真人 (株)福岡銀行常務取締役北九州本部長  
疋田 慶一 北九州市会計室長

#### 顧問

麻生 渡 福岡県知事  
北橋 健治 北九州市長  
高橋 久子 (財)アジア女性交流・研究フォーラム元理事長、元最高裁判所判事  
原 ひろ子 (財)アジア女性交流・研究フォーラム前会長

#### 評議員

飯野 一義 (社)北九州青年会議所理事長  
池留 チヨ子 北九州市女性団体連絡会議副会長  
宇城 照耀 学校法人東筑紫学園理事長  
宇都 桂子 北九州国際女性研究会（ミズ・ウィング）会長  
狩生 信安 TOTO株式会社執行役員コーポレートグループ、事業推進グループ担当  
神田 道子 独立行政法人国立女性教育会館理事長  
阪本 千恵子 国際ソロプチミスト北九州前会長  
篠田 美智子 国際ソロプチミスト北九州－南前会長  
清水 憲一 九州国際大学学長  
下川 祐 国際ソロプチミスト北九州－東前会長  
下村 輝夫 九州工業大学学長  
下山 公子 北九州市女性団体連絡会議事務局長  
園田 澄利 (株)安川電機人材開発部長  
田中 和子 OASC（Our Asian Seminar Club）代表  
豊川 裕子 北九州ミズ21委員会・OB会会長  
中村 尋子 北九州ゾンタクラブ前会長  
原 かほる 国際ソロプチミスト北九州－西前会長  
板東 久美子 内閣府男女共同参画局局長  
樋口 恵子 評論家 高齢社会をよくする女性の会理事長  
福田 信夫 北九州商工会議所理事  
藤本 新二 NPO 法人北九州市すこやか住宅推進協議会事務局長  
松井 明子 日本BPW連合会北九州クラブ前会長  
松村 佐和子 北九州市女性団体連絡会議副会長  
美山 泰教 西南女学院大学短期大学部部长  
森山 昌子 北九州市婦人会連絡協議会会長、北九州市婦人団体協議会会長  
山口 みつ子 (財)市川房枝記念会常務理事  
山崎 信行 九州女子大学学長  
山下 彰一 (財)国際東アジア研究センター所長  
渡辺 博記 (株)みずほ銀行北九州支店支店長

## 運 営

### 1 理事会

#### 第1回理事会

開催日 平成20年5月28日(水)13:45～15:15  
場 所 北九州市立男女共同参画センター“ムーブ”5階大セミナールーム  
出席者数 18名(委任状出席8名を含む)  
議 案 評議員の選出  
平成19年度事業報告及び収支決算  
評価制度準備委員会の設置及び委員の選出  
議事結果 全議案可決

#### 第2回理事会

開催日 平成21年3月27日(金)14:05～16:00  
場 所 北九州市立男女共同参画センター“ムーブ”5階大セミナールーム  
出席者数 17名(委任状出席7名を含む)  
議 案 評議員の選出  
就業規則等の一部改正  
平成21年度事業計画及び収支予算  
議事結果 全議案可決

#### 臨時理事会

開催日 平成21年3月27日(金)16:00～16:15  
場 所 北九州市立男女共同参画センター“ムーブ”5階小セミナールーム  
出席者数 14名(委任状出席9名を含む)  
議 案 理事長及び専務理事の選任  
顧問の委嘱  
議事結果 全議案可決

### 2 評議員会

#### 第1回評議員会

開催日 平成20年5月28日(水)13:30～15:15  
場 所 北九州市立男女共同参画センター“ムーブ”5階小セミナールーム、大セミナールーム  
出席者数 28名(委任状出席17名を含む)  
議 案 理事の選任  
平成19年度事業報告及び収支決算  
評価制度準備委員会の設置及び委員の選出  
議事結果 全議案可決

#### 第2回評議員会

開催日 平成21年3月27日(金)13:50～16:00  
場 所 北九州市立男女共同参画センター“ムーブ”5階小セミナールーム、大セミナールーム  
出席者数 25名(委任状出席16名を含む)  
議 案 理事及び監事の選任  
就業規則等の一部改正  
平成21年度事業計画及び収支予算  
議事結果 全議案可決

# 平成 20（2008）年度実施事業

財団設立から15周年の節目にあたる平成20年度は、アジア・太平洋女性監視機構の前共同代表をお招きし、アジア・太平洋地域の女性の現状などについて学ぶ機会を提供した。また、「食」をテーマとした「第19回アジア女性会議—北九州」では、「KFAW カレッジ」受講生によるワークショップを開催するなど、市民参加による事業実施を図った。さらに、改革プランに盛り込まれている海外拠点づくりの一環として、女性会議開催にあわせて、韓国忠清南道女性政策開発院と共催で日韓国際セミナーを開催した。

## 一般会計事業

### 調査・研究事業

共同研究として「東アジアの家族政策とジェンダーに関する研究」、研究員による調査研究活動として「地球温暖化とジェンダー～健康への影響を中心に」および「ESDへのジェンダー主流化」に取り組み、さらに北九州におけるESD（持続可能な開発のための教育）活動への支援を行った。また、ジェンダー関連研究者のネットワーク立ち上げの準備、3組の客員研究員による研究、研究誌の刊行など国内外の研究者との連携に努めた。

### 交流・研修事業

「第19回アジア女性会議—北九州」を開催した。今回は、「地球を食べる、地球で食べる—あなたは食を通して何を考えますか？」をテーマに、人類にとって「食」が等しく安全でかつ必要不可欠なものであるのに、食の問題の影響は果たして男女ともに同じなのかについてパネルディスカッションとワークショップを開催した。

### 情報収集・発信事業

情報誌『Asian Breeze』の発行および「海外通信員事業」を実施して、主にアジア・太平洋諸国について情報の収集や発信に努めた。また、過去海外通信員経験者を日本に招聘し、市民との交流や各国の女性の状況についての発表会などを行った。さらに国際協力のほか、時事問題など幅広い内容で最新の知識を提供するセミナー「KFAW カレッジ」を開催し、国際社会への理解を深めると共に国際的視野をもつ人材の育成に努めた。

## 特別会計事業

### 国際研修特別会計

独立行政法人国際協力機構（JICA）九州国際センターから国際研修「第7回 ジェンダー主流化政策のための行政官セミナー」および「第4回環境と開発と男女共同参画セミナー」を受託し実施した。

### 北九州市立男女共同参画センター管理運営事業特別会計

指定管理者として北九州市立男女共同参画センターの管理運営業務にあたった。

### 北九州市大手町ビル維持管理事業特別会計

北九州市から受託し、男女共同参画センター“ムーブ”部分を除く北九州市大手町ビルの施設管理および入居団体との連絡・調整にあたった。

# 一般会計事業

調査・研究事業

1 調査・研究事業

(1) 共同研究

共同研究テーマ「東アジアの家族政策とジェンダーに関する研究」

日本・韓国・台湾・中国では、急速な経済成長を達成する中で、社会の基礎集団といわれる家族や地域社会のありようが大きく変容し、人々のライフスタイルが変わりつつある。同時に、男女の平等な生き方を求める女性の主張もさまざまなチャンネルで社会に表出されつつある。こうした中で、女性雇用の増加、出生率低下、子育て環境の変化、離婚と一人親家庭増加、高齢社会化と医療・介護問題の顕在化、人の終末期への家族のかかわり方の変化など、あらたな家族事象が噴出し、政策的対処がそれぞれに急がれている。



アジア女性会議での研究報告

共同研究では、これらの新たな事象の把握と、家族政策の展開と内容、およびこれに影響を与える／与えようとする女性運動に注目しながら、東アジアの家族政策を比較・研究を行った。2008年度は、韓国での戸籍および家族法改正と運動の関係、合計特殊出生率をめぐっての子育て環境整備政策、2008年7月から導入された介護保険制度の背景と制度の枠組みを報告してもらった。台湾では、国際結婚の激増問題と台湾の家族政策についての分析を研究し、成果を得た。

なお、当初は予定していたそれぞれの国での家庭内暴力についての実態把握と施策の変化については、協議が整わず成果が出ていないため、日本についてのみ研究報告がなされた。

共同研究者

- 中国 華東師範大学人口研究センター 桂世助教授  
中国社会科学院 婚姻家庭研究室 王震宇主任研究員  
全国婦連婦女研究所研究員 2名
- 韓国 韓国女性開発院主席研究員 Byun Wha-Soon  
同 Seung-Ah Hong
- 台湾 台湾政治大学社会学系 陳小江教授（台湾社会政策学会理事長）

(2) 調査研究活動

研究員による調査研究活動としては、次のとおりである。

① 「地球温暖化とジェンダー～健康への影響を中心に」

健康を含む地球温暖化の影響に関し、ジェンダーの視点に立った研究、活動情報を幅広く収集、分析し、その結果をKFAWがJICAから受託している研修などで活用した。

② 「ESDへのジェンダー主流化」

ESD（持続可能な開発のための教育）において、ジェンダーを主流化していく方法や実践について研究者や関係者とのネットワークを図りながら、調査・研究を行い、③、④の実践活動に活用した。

③ 北九州におけるESD活動への支援

財アジア女性交流・研究フォーラムが準備段階から中心的役割を果たしてきた北九州におけるESD活動に関して、北九州ESD協議会の調査・研究チームのメンバーとして活動するとともに、



ESD世界会議へ出席  
(2009年3～4月 ドイツ、ボン)

RCE 北九州としてアジア太平洋地域の RCE（地域の拠点）のコーディネートを行った。

④ その他

アジア女性会議、国内外の会議、学会、セミナー、ワークショップなどでの発表や執筆を行った。

## 2 KFAW アジア研究者ネットワーク立ち上げの準備

（財）アジア女性交流・研究フォーラムのシンクタンクとしての機能を拡大するために、北九州市および近隣のジェンダー関連研究者とのネットワーク化を図る準備を行った。

## 3 客員研究員研究

（財）アジア女性交流・研究フォーラムの研究部門の強化・充実のため、客員研究員への委託による調査研究を実施した。

期 間 2年（2007～2008年度）

研究員およびテーマ

市井 礼奈（南オーストラリア大学ワークライフバランス研究所研究員）

「東北アジアにおけるジェンダー予算分析の新潮流—日本、韓国、台湾を事例として」

大谷 順子（大阪大学大学院人間科学研究科准教授）

「中央アジア諸国におけるコミュニティ研究—ジェンダーの視点から（ウズベキスタン、タジキスタン、カザフスタン、キルギスの事例より）」

湯浅 壘道（九州国際大学副学長）

「自治体の入札・契約におけるポジティブ・アクション評価による男女共同参画推進に関する比較研究」

活動

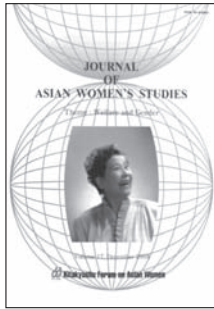
2008年4・6月	客員研究員会議開催
同年11月	「第19回アジア女性会議—北九州」で報告
同年12月	<i>Journal of Asian Women's Studies</i> , Vol. 17 に報告を掲載（大谷）
2009年3月	『アジア女性研究』第18号に報告を掲載（市井、大谷、湯浅）
同年同月	最終報告書提出



アジア女性会議 KFAW 研究員報告会

#### 4 研究誌の発行

(財)アジア女性交流・研究フォーラムの調査研究ラインの成果、および国内外でアジアを中心とするジェンダー研究に携わる研究者などの発表の場として研究誌（日・英）を刊行した。



Journal of Asian Women's Studies Volume 17  
 "Welfare and Gender"  
 2008年12月発行（400部）



『アジア女性研究』第18号  
 テーマ「科学とジェンダー」  
 2009年3月発行（600部）

### 交流・研修事業

#### 1 第19回アジア女性会議—北九州（参加者 620名）

##### (1) 概要

「第19回アジア女性会議—北九州」は、北九州とアジアをつなぐ国際会議として、「地球を食べる、地球で食べる—あなたは食を通して何を考えますか？」をテーマに、2008年11月15日（土）・16日（日）の2日間、北九州市で開催された。

今回は、残留農薬やBSE問題、さらには偽装表示や薬品混入などでクローズアップされている食の安全と開発途上国における飢餓に象徴されるような地球規模での食糧資源のアンバランスという2つの問題に焦点を当て、「食」は我々人類にとって等しく安全なものでかつ必要不可欠なものであるのに、食の問題の影響は男女ともに同じものなのかを問うパネルディスカッションを開催した。

引き続き、パネルディスカッションでの問題提起を受ける形で、ワークショップを開催した。また忠清南道女性政策開発院との共催で、「日本と韓国における移住女性の現在—その文化的葛藤と健康問題」をテーマに日韓国際セミナーを開催した。

会議2日目には、当財団の研究員および客員研究員による国際シンポジウムと研究報告会を開催した。

##### (2) パネルディスカッション

- |          |   |
|----------|---|
| テーマ      | 「地球を食べる、地球で食べる—あなたは食を通して何を考えますか？」   |
| コーディネーター | 喜多 悦子（日本赤十字九州国際看護大学学長、WFP〈国連世界食糧計画〉協会顧問）  |
| パネリスト    | ラメッシュ・ジェイン<br>（前FAO〈国連食糧農業機関〉専門官）<br>田原 幸子（グリーンコープ生活協同組合ふくおか理事長）<br>ホン・ミヒ（韓国・仁川広域市女性政策センター所長） |



パネルディスカッション

### (3) ワークショップ

- 「今の食は未来の私」 米光真由美（西日本工業大学養護教諭）  
 「“食”を取り戻す力—不均衡を乗り越える」  
 藤井 大輔（九州国際大学国際関係学部助教）  
 「空飛ぶ食べ物」 KFAW カレッジ受講生



ワークショップ

### (4) 日韓国際セミナー

- テーマ 「日本と韓国における移住女性の現在—その文化的葛藤と健康問題」  
 コーディネーター ジョ・ジョンナム（高麗大学校政治国際関係学科教授）  
 報告者① キム・ヨンジュ（忠清南道女性政策開発院研究員）  
 「女性移住者の文化的葛藤とそれを処理する戦略—食に関連させて」  
 コメンテーター 山下 ゆかり（グローバルライフサポートセンター 代表）  
 報告者② 平野（小原）裕子（九州大学大学院医学研究院准教授）  
 「在日コリアン高齢者の健康問題」  
 コメンテーター ムン・キョンヒ（忠清南道女性政策開発院研究員）



日韓国際セミナー

### (5) 国際シンポジウム

- テーマ 「東アジアの家族は今—仕事、結婚、子育て、介護」  
 司会 篠崎 正美（KFAW 主席研究員）  
 報告者 桂 世 勛（華東師範大学人口研究所終身教授）  
 陳 小 紅（台湾政治大学教授）  
 和 建 花（全国婦連婦女研究所研究員）  
 ホン・スンア（韓国女性開発院家族政策研究部研究員）  
 篠崎 正美（KFAW 主席研究員）



国際シンポジウム

### (6) KFAW 研究員報告会

- 司会 織田 由紀子（KFAW 主席研究員）  
 ①「自治体の入札・契約におけるポジティブ・アクション評価による男女共同参画推進に関する比較研究」  
 湯浅 壱道（九州国際大学副学長）  
 ②「中央アジア諸国におけるコミュニティ研究—ジェンダーの視点から（ウズベキスタン、タジキスタン、カザフスタン、キルギスの事例より）」  
 大谷 順子（大阪大学大学院人間科学研究科准教授）  
 大杉 卓三（共同研究者、九州大学大学院比較社会文化研究院助教）  
 河野明日香（共同研究者、筑波大学大学院人文社会科学研究科准研究員）  
 ③「東北アジアにおけるジェンダー予算分析の新潮流—日本、韓国、台湾を事例として」  
 市井 礼奈（南オーストラリア大学ワークライフバランス研究所研究員）  
 村松 安子（共同研究者、東京女子大学名誉教授）  
 ④「インド、グジャラート州における女性グループのエコビジネス—ESD の視点から」  
 太田まさこ（KFAW 主任研究員）

## 2 ジェンダーと開発セミナー

財団設立 15 周年記念講演会「アジア・太平洋地域の女性の現状」の開催  
財団設立 15 周年を記念して、アジア・太平洋地域で女性の地位向上のために活動しているアジア・太平洋女性監視機構の前共同代表を迎えて講演会を開催した。

日 時 2008 年 9 月 6 日（土）13：30～15：30  
講 師 パワディ・トーンウタイ  
（アジア・太平洋地域女性監視機構（APWW）前共同代表、タイ・タマサート大学准教授）  
会 場 北九州市立男女共同参画センター“ムーブ”5階小セミナールーム  
参加者 46 名



財団設立 15 周年記念講演会

## 3 海外の拠点づくりに向けての交流

海外のジェンダー関連組織に共通する課題の解決や女性の地位向上、男女共同参画社会の実現に向けた恒常的なネットワーク（海外拠点）の形成を目指して、韓国の忠清南道と仁川市との交流を図った。

### (1) 忠清南道女性政策開発院（CWPDI）との交流

① CWPDI 主催の国際会議に参加し、日本および北九州市の女性の能力開発の現状等について講演を行った。

日 時 2008 年 6 月 25 日（水）  
場 所 Baekseok University（韓国忠清南道）  
参加者 吉崎 邦子（KFAW 理事長）  
演 題 “Human Resources Development for Women: The Present Status and Career Development Policies in Japan”  
「女性の能力開発—日本における女性の現状と職業開発」

② 「第 19 回アジア女性会議—北九州」の併催事業として、CWPDI と共催で日韓国際セミナーを開催した。

日 時 2008 年 11 月 15 日（土）  
場 所 北九州市立男女共同参画センター“ムーブ”5階大セミナールーム  
演 題 「日本と韓国における移住女性の現在—その文化的葛藤と健康問題」  
参加者 40 名

### (2) 仁川広域市との交流

① 仁川 YWCA 視察団（11 名）が来北し、交流を図った。

日 時 2008 年 5 月 26 日（月）～29 日（木）  
訪問先 レディスやはた、元気のもり、県男女共同参画センターあすばる他

② 「第 19 回アジア女性会議—北九州」に、ホン・ミヒ氏（仁川広域市女性政策センター所長）をパネリストとして招きパネルディスカッションを行った。



仁川 YWCA 視察団の受け入れ

日 時 2008年11月15日(土)  
 場 所 北九州市立男女共同参画センター“ムーブ”2階ホール  
 内 容 「食の安全」と「食糧資源のアンバランス」について、ジェンダーの視点から議論した。

#### 4 海外派遣

フォーラムの事業をさらに推進するため、第53回国連女性の地位委員会(CSW)へ参加し、国連においての情報収集、ネットワークの構築を図った。

##### (1) 第53回国連女性の地位委員会(CSW)(1名)

期 間 2009年2月27日(金)～3月6日(金)  
 場 所 アメリカ合衆国・ニューヨーク(国連本部)  
 テーマ 「HIV/AIDSのケア提供を含む男女間の平等な責任分担」  
 参加者 篠崎 正美(KFAW 主席研究員)



CSW 開会セッション

○サイドイベント「日本および国際共同体におけるジェンダー平等とケア」における報告

日 時 2009年3月4日(水)  
 場 所 アメリカ合衆国・ニューヨーク(国連ビル)  
 報告者 篠崎 正美(KFAW 主席研究員)  
 テーマ 「東アジアにおけるケアネットワークの必要性」  
 参加者 約80名

### 情報収集・発信事業

#### 1 情報誌『Asian Breeze』の発行

主にアジア・太平洋諸国の女性に関する情報やフォーラムの活動を広く国内外に情報提供し、女性問題についての理解を深めるとともに、国内外の公的関係機関、研究者やNGOなどとのネットワークづくりを目指して、日本語と英語で情報誌『Asian Breeze』を発行した。



『Asian Breeze』(日本語版)

発行回数・時期	年3回発行
	第53号 2008年6月 日本語・英語版
	第54号 2008年10月 日本語・英語版
	第55号 2009年2月 日本語・英語版
発行部数	各号 日本語版4,000部 英語版3,000部
送付先	市内公共施設のほか、国内・海外女性関連団体および研究機関、在日大使館、国連機関、国際関係団体など



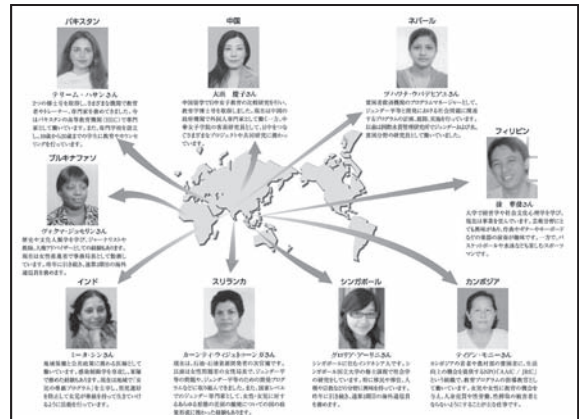
『Asian Breeze』(英語版)

## 2 第18期海外通信員事業

アジア・太平洋諸国を中心とした海外における女性の状況についての情報収集を行うとともに、ネットワークを広げることを目指して、アジア・太平洋諸国在住者を中心に世界各国から毎年一定のテーマのもとに海外通信員を公募し、現地の最新情報をレポートしてもらっている。2008年度は第18期海外通信員が活動を行った。

通信員から提出されたレポートの一部は、情報誌『Asian Breeze』やウェブサイトに掲載した。

通信員数 9カ国9人  
 第18期テーマ 「女兒に対するあらゆる暴力」  
 任期 2008年5月～2009年3月  
 レポート回数 任期中最低3回



第18期海外通信員

## 3 国際理解促進事業

女性の地位向上をめざす第一歩として、あらゆる立場の人びとと相互理解を深め連帯を促進するため、海外通信員招聘事業と若者向けプログラムの2本立てで事業を実施した。

### (1) 海外通信員招聘事業

過去海外通信員経験者の中から、2人を日本に招聘し、小学校・高等学校訪問や女性団体や国際交流団体との交流、ワールドレポート発表会などを行った。

招聘者 テリーム・ハサン（パキスタン、第11、12、16、18期通信員）  
 ファイロズ・アフマド（シンガポール、第16期通信員）  
 訪問期間 2008年10月15日（水）～20日（月）  
 主な訪問交流事業 北九州市立光貞小学校（小学校3年生110名）  
 福岡県立門司学園高等学校（ESS部員9名）  
 ワールドレポート発表会 2008年10月18日（土）14:00～15:45  
 テーマ「わが国の女性スポーツの状況について」（参加者数25名）



北九州市立光貞小学校訪問



ワールドレポート発表会

(2) 若者向けプログラム「英語で Cooking!」

普段なかなか習うことのない生活に密着した英語を学ぶと同時に、料理は男女の別なく必要な技術であることを自然に認識してもらうことを目的に、北九州市国際交流員であるアメリカ人男性を講師とした中・高生対象の料理教室を行った。また、料理試食後にアメリカにおける性別役割分業などについての講義も行った。

日時 2008年8月5日(火) 10:00～14:00  
 講師 北九州市国際交流員 バレット・バルヴァンズ  
 参加者 21名



若者向けプログラム「英語で Cooking!」

4 KFAW カレッジ (参加者 延べ 182 人)

国際協力や国際理解、時事問題など、幅広い内容で最新の知識を提供し、国際社会への理解を深めるとともに、国際的視野をもつ人材の育成を目指して1998年度から開催しているセミナーを2008年度も引き続き開催した。

今年度は、第1回から3回までは単発の講演会を、第4回から8回までは通しの「ファシリテーター養成講座」を行った。

開催期間 2008年4月～2008年11月  
 回数 全8回



KFAW カレッジ

内 容

回	日 時	題 名	講 師
1	4月26日(土) 13:00～14:30	第52回国連女性の地位委員会出席報告会 ～世界から北九州へ、北九州から世界へ～	(財)アジア女性交流・研究 フォーラム 理事長 吉崎 邦子
2	6月28日(土) 13:00～14:30	女性の平和って、なに色? ～ポーポキちゃんといっしょに考えよう 平和、暴力、ジェンダー～	神戸大学大学院国際協力科 教授 ロニー・アレキサンダー
3	7月26日(土) 13:00～14:30	女性たちのつくる平和	立教大学法学部 教授 竹中 千春
4	8月30日(土) 13:00～15:30	私たちのワークショップ 第1回 ～ジェンダーに関する ワークショップの体験～	エデュケーショナル・サポート ・センター 理事 佐藤 倫子
5	9月27日(土) 13:00～15:30	私たちのワークショップ 第2回 ～国際的/ジェンダーの視点を持った 食に関するワークショップ作成①～	
6	10月4日(土) 13:00～15:30	私たちのワークショップ 第3回 ～国際的/ジェンダーの視点を持った 食に関するワークショップ作成②～	
7	11月15日(土) 15:00～17:00	私たちのワークショップ 第4回 ～「第19回アジア女性会議—北九州」での ワークショップ実施～	
8	11月29日(土) 13:00～15:30	私たちのワークショップ 第5回 ～実施したワークショップの振り返り～	

## 5 図書収集

研究資料として、アジアや女性に関する図書および各種資料を購入・収集した。

収集図書合計 36 冊

内訳

女性問題	30 冊
国際問題・地誌	3 冊
その他	3 冊

## 6 情報システム管理事業

昨年度に引き続き、ウィルスやハッキングなどの犯罪に対して必要なセキュリティ対策を行った。

### 管理事業

#### 1 年間事業報告書作成

フォーラムの活動のPR・記録用として年間事業報告書「アニュアルレポート」を作成した。

#### 2 フォーラムサポーター活動の推進

フォーラムサポーターと協働で事業運営を行い、フォーラムサポーターの活動の推進を図った。

#### 3 ユニフェム（国連女性開発基金）活動への支援

特定非営利活動法人ユニフェム日本国内委員会の正会員として参加、副理事長および理事を務め、開発途上国の女性の生活向上と自立を支援する活動に積極的に参画するとともに、地域委員会であるユニフェム北九州の活動として、チャリティバザーや募金活動、イベントの開催を支援した。

#### 4 賛助会員の拡充

多くの方々とネットワークを広げ、財政基盤の強化を目指して、賛助会員の拡充に努めた。

会費収入 899,750 円

2008 年度実績

区分	年額（1口）	加入人数	加入口数
個人	3,000 円	128 名	131 口
団体	20,000 円	24 件	25 口
学生	1,500 円	9 名	9 口

※ ただし、10 月以降の新規会員については、会費は半額。

## 5 北九州 ESD 協議会活動の支援

北九州 ESD 協議会の事務局として、北九州における ESD 活動の市民への普及・啓発を推進するため、同協議会のメンバー間の連絡・調整を行うとともに、活動を支援した。

## 6 その他

市内の大学との連携推進の契機とするため、北九州市立大学の講義「北九州学」を1コマ担当した。

日 時	2008年12月5日(金)
場 所	北九州市立大学
講 師	吉崎 邦子 (KFAW 理事長)
テーマ	「北九州の男女共同参画」
参加者	102名



## 特別会計事業

## 国際研修特別会計

アジア・太平洋地域を中心とした女性の地位向上に向けた取り組みの一環として、JICA 九州国際センターよりジェンダーの視点をテーマにした研修を受託した。

### 1 第7回 ジェンダー主流化政策のための行政官セミナー

- (1) JICA 九州国際センターの委託を受け、アジア、アフリカ、中南米および欧州地域の開発途上国の中央政府および地方政府において政策の計画、実施、評価におけるジェンダー主流化を取り込んだ政策を立案、推進する行政官を育成するセミナーを実施した。

期 間 2008年6月20日～7月18日  
 会 場 JICA九州国際センター 他  
 研修員 15カ国15名  
 (アフガニスタン、インド、ウルグアイ、カンボジア、チリ、ナイジェリア、ネパール、ハイチ、パプアニューギニア、東ティモール、フィジー、ボスニア・ヘルツェゴビナ、マラウイ、メキシコ、ラオス)



第7回ジェンダー主流化政策のための行政官セミナー 大学生との意見交換会

- (2) カントリーレポート発表会

研修成果を踏まえて各自アクションプランを作成し、作成したものを市民に報告・還元した。

日 時 2008年7月15日(火) 13:00～17:00  
 会 場 北九州市立男女共同参画センター“ムーブ”5階大セミナールーム  
 コーディネーター 小川 玲子(九州大学アジア総合政策センター准教授)  
 参加者 54名

### 2 第4回 環境と開発と男女共同参画セミナー

- (1) JICA 九州国際センターの委託を受け、開発途上国において、ますます深刻になりつつある環境問題を解決するため、地球環境の保全と持続可能な開発に果すべき女性の役割を明らかにし、地球市民の視点からこの問題にアプローチできる人材を育成することを目的にセミナーを実施した。

期 間 2009年2月9日(月)～3月18日(水)  
 会 場 JICA九州国際センター 他  
 研修員 3カ国5名  
 (中国、ニジェール、マケドニア)

- (2) カントリーレポート発表会

研修成果を踏まえて各自アクションプランを作成し、作成したものを市民に報告・還元した。

日 時 2009年3月17日(火) 13:30～16:30  
 会 場 北九州市立男女共同参画センター“ムーブ”5階大セミナールーム

コーディネーター 太田まさこ (KFAW 主任研究員)  
参加者 45名



第4回環境と開発と男女共同参画セミナー  
カンントリーレポート発表会

### 北九州市立男女共同参画センター管理運営事業特別会計 【指定管理業務】

男女共同参画社会の形成を目指して、平成7年7月1日に開所した北九州市立男女共同参画センターの指定管理者として同センターの管理運営等を実施した。

## 1 事業業務

男女共同参画社会の形成に向けての活動を支援するために、「ムーブフェスタ 2008」や自己開発事業をはじめとする各種事業を展開した。「ムーブフェスタ 2008」では、「自分の人生、いろんな色で描いてみようよ～次世代へつなぐ男女共同参画へのムーブメント～」をテーマとし、市民の自主的な研究・実践活動を積極的に支援する市民企画事業を中心に、シンポジウム、イベント、講演会等の事業を行った。

### (1) ムーブフェスタ 2008

期 間 平成20年7月1日(火)～7月30日(水)

参加者 60,015名(うち男性13,732名)

- ① 講演とトークセッション「わたし色のワーク・ライフ・バランス」  
講師 鈴木 光司(作家)、小林 由紀子(ドラマ・プロデューサー)
- ② イベント部会「たなばたステージ」  
参加団体 11団体
- ③ イベント部会 ジャズ&トークライブ～*Swing*も*Life*もバランスしだい～  
出演者ジャズ演奏 九州歯科大学 Swing Jazz Orchestra BLUE NOTES  
トークライブ 九州歯科大学学生 平嶋 伸悟、早川 真奈、林 秀子  
ムーブフェスタ 2008 実行委員会イベント委員

④ 市民企画事業

総事業数 128 (一般・助成事業 76、サマーカーニバル 13、フリーマーケット 39)



ムーブフェスタ 2008 ジャズ&トークライブ



たなばたステージにおける市民企画事業 PR

(2) 自己開発事業

① ジェンダー問題講座

男女共同参画や女性学に関する講座、講演会、シンポジウムを開催し、ジェンダーをめぐる諸問題について学際的に考察し、取り組みを促進

ア 平成 20 年度男女共同参画講座「若者はいま、そして未来へ」

期 間 平成 21 年 1 月 17 日 (土)～

3 月 20 日 (祝) 14:00～16:00

講 師 第 1 回 石田 仁 (国際基督教大学ほか非常勤講師)

第 2 回 熊沢 誠 (甲南大学名誉教授、研究会「職場の人権」代表)

第 3 回 上野千鶴子 (東京大学大学院教授)

参加費 各 200 円

参加延べ人数 316 名



男女共同参画講座「若者はいま、そして未来へ」

イ 平成 20 年度男女共同参画講座「女性リーダー 私のキャリアデザイン」

日 時 平成 21 年 2 月 28 日 (土) 14:00～16:00

講 師 小島 貴子 (立教大学大学院ビジネスデザイン研究科准教授)

参加費 200 円

参加者 156 名

ウ おとこのライフセミナー

期 間 平成 20 年 12 月 6 日 (土)～

12 月 20 日 (土) 14:00～16:00

講 師 第 1 回 林 望 (作家、書誌学者)

第 2 回 佐々木常夫 (株東レ経営研究所代表取締役社長)

第 3 回 長谷川幸介 (茨城大学生涯学習教育研究センター准教授)

参加費 第 1 回無料、第 2・3 回各 200 円



おとこのライフセミナー

共催（第1回のみ）

小倉北区役所保健福祉課、子ども総合センター、小倉北区すこやかライフ推進協議会  
参加延べ人数 580名

エ セクシュアルハラスメント防止セミナー

日時 平成21年1月22日（木）13:30～16:15  
講師 井上 礼子（福岡労働局雇用均等室室長補佐）  
今堀 義（西南学院大学文学部教授）  
共催 福岡県北九州労働福祉事務所  
参加者 56名

オ ムーブのインチョン・デー

インチョン・ムーブ交流カフェ日韓若者トーク「お互いをもっと知ろう」および仁川広域市訪問団歓迎セレモニー  
日時 平成20年8月2日（土）15:00～16:20  
パネリスト 北九州市立大学学生  
（日本人学生、仁川市からの留学生）  
協力 国際交流団体「ムグンファの会」「バラの会」  
北九州市少年少女合唱団  
参加者 117名



インチョン・デー（大学生によるトーク）

カ English Conversation Class for Empowerment エンパワーメントの英会話

期間 第1期 平成20年5月9日（金）～平成20年8月5日（火）  
第2期 平成20年10月1日（水）～平成21年1月27日（火）  
初級 14:00～15:30 中級・上級 19:00～20:30  
内容 各コース1期12回全72回  
受講料 初級 10,000円、中級 12,000円、上級 15,000円  
参加延べ人数 668名

キ ムーブ語学講座 アジアを見よう！

時期 中国コース 平成20年5月9日（金）～7月11日（金）19:00～20:30 全10回  
韓国コース 平成20年9月5日（金）～11月7日（金）19:00～20:30 全10回  
受講料 12,000円  
参加延べ人数 163名

② 就業支援講座

就業の機会を拡げるための、再就職支援講座や女性起業家を目指す女性のための講座を開設し、女性の経済的な自立を支援

ア 女性起業家支援塾 2008

期間 平成20年10月4日（土）～19日（日）  
10:00～17:00 全5回  
受講料 15,000円  
参加延べ人数 133名



女性起業家支援塾

イ 女性起業家フォローアップセミナー

日 時 平成 21 年 1 月 21 日 (水) 14:00 ~ 15:30  
参加者 15 名

ウ 女性起業家相談会

日 時 平成 21 年 1 月 24 日 (土) 9:00 ~ 17:00  
共 催 独立行政法人中小企業基盤整備機構九州支部  
参加者 7 名

エ 再就職スタート講座&企業と再チャレンジ女性との交流会

期 間 平成 20 年 6 月 18 日 (水) ~ 19 日 (木)  
共 催 (財)21 世紀職業財団福岡事務所  
参加延べ人数 31 名

オ 再チャレンジサポートプログラム

期 間 平成 20 年 6 月 18 日 (水) ~ 7 月 29 日 (火) 全 9 回  
共 催 (財)21 世紀職業財団福岡事務所  
参加延べ人数 39 名

カ 就職スタートアップフェア

日 時 平成 20 年 8 月 26 日 (火)、27 日 (水) 13:00 ~ 17:30  
共 催 マザーズハローワーク北九州  
会 場 マザーズハローワーク北九州  
参加延べ人数 460 名

キ 自立を目指す女性のための就労応援フェア

日 時 平成 20 年 8 月 2 日 (土) 13:00 ~ 17:30  
共 催 全国女性会館協議会  
(マイクロソフト (株)「女性のための UP プログラム全国版による助成)  
協 力 マザーズハローワーク北九州  
資生堂販売 (株)九州支社北九州支店業務部  
ソワンヒーリングケア  
参加者 28 名

ク 働く女性のためのキャリアアップセミナー

日 時 平成 20 年 9 月 4 日 (木) 13:30 ~ 17:00  
共 催 福岡県北九州労働福祉事務所  
参加者 52 名



キャリアアップセミナー

## ケ 再就職サポートセミナー

日 時 平成 20 年 10 月 7 日 (水)、8 日 (木)  
10:00 ~ 12:00  
平成 21 年 3 月 19 日 (木)  
10:00 ~ 12:00  
共 催 福岡県北九州労働福祉事務所  
参加延べ人数 40 名



再就職サポートセミナー

## コ 知っておきたい働く人の労働法セミナー

期 間 平成 20 年 10 月 15 日 (水) ~ 10 月 29 日 (水) 18:30 ~ 20:30 全 3 回  
共 催 福岡県北九州労働福祉事務所  
参加延べ人数 115 名

## サ 労働経営セミナー

期 間 平成 21 年 2 月 10 日 (火) ~ 平成 21 年 2 月 24 日 (火)  
14:00 ~ 16:00 (初回のみ 14:00 ~ 15:30) 全 3 回  
共 催 福岡県北九州労働福祉事務所  
参加延べ人数 114 名

## シ 福岡県育児休業復帰後の措置充実研修会

日 時 平成 21 年 3 月 6 日 (金) 13:30 ~ 16:10  
共 催 福岡県北九州労働福祉事務所  
参加者 16 名

## ス パソコン講座

期 間 平成 20 年 4 月 1 日 (火) ~ 平成 21 年 3 月 20 日 (金)  
内 容 一般講座 (2 カ月間) 全 38 講座 各講座 8 回  
特別講座 (1 日) 全 19 講座  
受講料 一般講座 13,000 円、特別講座 4,000 円  
参加延べ人数 4,888 名

## セ 自立をめざす女性のためのパソコン講座

期 間 平成 20 年 6 月 4 日 (火) ~ 7 月 26 日 (土)  
A コース 毎週火曜 18:30 ~ 20:30  
B コース 毎週土曜 10:00 ~ 12:00 各コース全 8 回  
共 催 全国女性会館協議会  
(マイクロソフト (株)「女性のための UP プログラム全国版」による助成)  
参加延べ人数 207 名

## ソ 仕事にすぐ役立つ女性のためのパソコン講座

期 間 平成 20 年 9 月 5 日 (金) ~ 平成 20 年 11 月 21 日 (金) 18:30 ~ 20:30 全 12 回  
平成 20 年 12 月 6 日 (金) ~ 平成 21 年 2 月 28 日 (金) 18:30 ~ 20:30 全 12 回  
受講料 無料 (ただし、テキスト代として 2,000 円)

参加延べ人数 327名

タ パソコン（エクセル3級）検定講座

期 間 平成20年10月2日（火）～平成21年2月10日（木）18：30～20：30 全30回  
 受講料 無料（ただし、テキスト代として2,000円）  
 共 催 北九州市立母子福祉センター  
 参加延べ人数 156名

チ コンピューターサービス技能評価試験

時 期 平成20年6月1日（日）～平成21年3月22日（日）  
 内 容 表計算部門2級・3級（各2回実施）  
 ワープロ部門2級（1回実施）・3級（2回実施）  
 参加延べ人数 67名

ツ O Aルームの個人利用

利用日・時間 毎週水曜日・金曜日 14：00～16：00 毎週土曜日 13：00～18：00  
 利用料金 2時間300円  
 参加延べ人数 1,094名

③ 生活実験・生活技術講座

男女の性別役割分担意識にとらわれずに、生活面でのあらゆる分野で学習、研究することにより、その技術の習得を図った。

ア いまどきママのリフレッシュ講座

期 間 第1期 平成20年5月8日（木）～平成20年7月3日（木）  
 第2期 平成20年9月4日（木）～平成20年10月16日（木）  
 第3期 平成20年11月6日（木）～平成20年12月25日（木）  
 第4期 平成21年1月8日（木）～平成21年2月19日（木）  
 各期 10：00～12：30 全6回  
 受講料 3,000円（材料費含）  
 参加延べ人数 409名

イ 父と子の食育講座

期 間 平成20年8月24日（日）  
 ～平成21年1月25日（日）全6回  
 参加費 各回大人1,000円 子ども500円  
 会食のみ母親参加可500円（材料代として）  
 共 催 NPO 法人男女・子育て環境改善研究所  
 参加延べ人数 133名



父と子の食育講座

ウ ムーブの創作工房 体験講座

期 間 平成20年5月7日（水）～平成21年3月4日（水）9講座11回  
 内 容 木工教室、草木染め、シルバーアクセサリー教室、手織り教室  
 受講料 2,000円～4,200円（材料費含む。）

参加延べ人数 173名

エ 工芸室の個人利用

利用日 各月概ね第2・3・4水曜日 9:30～17:00  
 利用料 2時間 300円  
 参加延べ人数 64名

(3) 市民活動支援・連携事業

さまざまな活動を行っている団体やグループの情報交換、交流を促進し、ネットワーク化を図ることによって、男女共同参画センターを利用する個人、団体、グループが相互に新たな発見をし、男女共同参画社会の形成を目指すための自主的・創造的な活動ができるよう支援・連携して事業を展開。

① ムーブサポーター事業

ア サポーター総会

時期 平成20年5月10日(土) 10:00～12:00  
 参加者 39名

イ 託児サポーター支援講座

時期 平成21年2月18日(水) 13:00～15:00  
 平成21年2月25日(水) 13:00～15:00  
 参加延べ人数 44名

ウ ムーブサポーター わっしょい百万夏まつり参加

時期 平成20年8月3日(日) 19:20～20:30  
 参加者 90名

② 市民活動支援・連携事業

ア ファミリークリスマス in 北九州

日時 平成20年12月20日(土) 10:00～12:00  
 参加費 200円(一家族)  
 共催 NPO法人男女・子育て環境改善研究所  
 参加者 128名

イ 子育て支援の‘いま’を知る！’09

日時 平成21年3月1日(日) 12:00～17:40  
 参加費 500円(Bee会員は300円)  
 共催 NPO法人北九州子育て・親育ちエンパワメントセンター Bee  
 参加者 61名

③ 男女協働のための北九州企業懇話会

雇用の場における男女共同参画を進めることを目的に、市内企業、商工会議所、中小企業団体連合会、弁護士、学識経験者等による「男女協働のための北九州企業懇話会」を設置し、男女が性別に関わりなく個性と能力を十分に発揮することができる雇用環境を実現するための方策について協議・実践。

北九州市ワーク・ライフ・バランス表彰、職場における研修の奨励、研修講師派遣、セミナー等を開催。

ア 北九州市ワーク・ライフ・バランス表彰 受賞者リレートーク

日時 平成 21 年 3 月 13 日 (金) 13:00 ~ 16:00  
 内容 基調講演「ワークライフバランスによる職場活性化で不況を突破する！」  
 講師 渥美 由喜 ((株) 富士通総研 主任研究員)  
 リレートーク  
 受賞者 (5 団体、2 個人)  
 参加者 75 名



ワーク・ライフ・バランス表彰  
 受賞者リレートーク

イ 企業セミナー (兼人権を考える企業のつどい) 主催 北九州市

日時 平成 21 年 2 月 28 日 (土) 14:00 ~ 16:00  
 内容 講演 「企業と人権～企業の社会的責任を求めて～」  
 講師 田中 昭紘 (財)大阪生涯職業教育振興協会理事長)  
 参加者 400 名

ウ 男女協働のための研修

期間 平成 20 年 5 月 27 日～平成 21 年 3 月 3 日  
 派遣先 11 事業所 全 16 回実施  
 参加延べ人数 780 名

(4) リプロダクティブ・ヘルス／ライツ事業

女性の多様な活動を支えるために、心と身体の健康を家族や職場など日常生活の中で、自分の力を維持増進できるように、技術と知識の修得の機会を提供する「リプロダクティブ・ヘルス／ライツ」に関する講座等を開催。

ア やっぱりみんなの気になる病気～尿もれ・骨盤臓器脱の予防と対策～

日時 平成 20 年 9 月 20 日 (土)  
 午前コース 10:30 ~ 11:30 午後コース 13:00 ~ 14:00  
 講師 野村 昌良 (九州労災病院泌尿器科副部長)  
 谷口 珠実 (日本コンチネンス協会理事)  
 参加延べ人数 202 名



リプロダクティブ・ヘルス／ライツ講座

## イ マタニティエアロビクス

期 間 第1期 平成20年5月13日(火)～6月10日(火)  
 第2期 平成20年7月1日(火)～8月5日(火)  
 第3期 平成20年11月11日(火)～12月9日(火)  
 第4期 平成21年1月20日(火)～2月17日(火) 13:00～15:30 各期全5回  
 受講料 3,000円  
 参加延べ人数 316名

## ウ フィットネスルームの個人利用

利用時間 毎週水・金曜日9:30～21:30 毎週日・月曜日9:30～17:00  
 利用料金 2時間300円  
 参加延べ人数 7,751名

## (5) 相談事業

## ① 各種相談

\* ( ) 内は男性からの相談件数で内数

区 分	電話相談件数	面接相談件数	合 計	
一般相談	1,982(70)件	415(3)件	2,397(73)件	3,143(112)件
人権侵害相談	357(29)件	180(6)件	537(35)件	
就労応援相談	12(0)件	53(0)件	65(0)件	
法律相談	－	144(4)件	144(4)件	

※ 就労応援相談は平成20年6月から実施

## ② グループ相談(自助グループへの支援)

支援内容 会場提供、ロッカーの提供、託児、グループ運営上のアドバイス等  
 グループ数 4

## ③ 講座等

## ア 法律基礎講座

期 間 平成20年5月17日(土)～平成21年2月21日(土) 14:00～16:00 全5回  
 講 師 弁護士  
 参加延べ人数 71名

## イ あなたの防犯力は大丈夫? 防犯力パワーアップ! 講座

日 時 平成20年10月18日(土) 10:30～11:30  
 内 容 「間違いだらけの防犯対策」  
 講師 野田 憲治(防犯整備士)  
 「セルフディフェンスについて」  
 講師 水島 寛吉(小倉北警察署生活安全課防犯係長 警部補)  
 共 催 小倉北警察署  
 参加者 22名

ウ 女性への暴力ゼロ運動特別企画 「デート DV について知ろう」

日 時 平成 20 年 11 月 8 日 (土) 13:00 ~ 16:00  
 内 容 「デート DV について」  
 講師 江津 晴美 (NPO 法人 DV 防止ながさき副代表)  
 「デート DV の対処法について」  
 講師 小倉 知子 (弁護士)  
 参加者 11 名

エ 対人援助者セミナー 「DV と、その裏にある虐待」～対人援助職者のできること

日 時 平成 21 年 2 月 22 日 (日) 13:00 ~ 15:30  
 講 師 信田 さよ子 (原宿カウンセリングセンター所長)  
 参加者 74 名

④ ホットライン

ア 女性への人権侵害ゼロ！ホットライン

日 時 平成 20 年 6 月 24 日 (火) 10:00 ~ 17:00  
 共 催 福岡県弁護士会  
 相談件数 23 件

イ 女性への暴力ゼロ！ホットライン

日 時 平成 20 年 11 月 25 日 (火) 10:00 ~ 17:00  
 共 催 福岡県弁護士会  
 相談件数 13 件

⑤ パネル展示等

ア パネル展示

男女雇用機会均等月間、男女共同参画週間パネル展示

期間 平成 20 年 6 月 1 日 ~ 30 日

女性への暴力に対する資料パネル展示

期間 平成 20 年 11 月 12 日 ~ 25 日

イ 「女性に対する暴力をなくす運動」街頭啓発キャンペーン

日 時 平成 20 年 11 月 14 日 (金) 16:00 ~  
 内 容 啓発チラシ配布

ウ 「デート DV について知ろう！」の冊子作成

若年層 (学生) を対象にデート DV の理解とデート DV の被害・加害予  
 防を推進するため、啓発冊子を作成 (平成 21 年 3 月末)

発行部数 5,000 冊



『デート DV について知ろう!』

## 2 情報業務

男女共同参画社会の実現に向けて、ジェンダー問題に関する国内外の図書・資料や個人・団体情報の収集・提供を行った。

また、ジェンダー問題の解決に向けての方向性を探り、活動へとつなげていくための調査・研究や女性差別撤廃条約の普及・啓発に取り組んだ。

### (1) 情報収集提供事業

#### ① 図書・資料等の収集・提供

ジェンダーに関する専門書を中心に、行政資料、雑誌、ミニコミ誌、児童書、ビデオ、DVD等の収集・提供の充実を図った。

ア 図書等所蔵数 図書 45,064 冊（雑誌、行政資料等を除く。）、ビデオ 513 本、DVD107 本（平成 21 年 3 月 31 日現在）

イ 講座関連図書情報「ムーブブック」の作成

ウ お話し会 親子を対象に紙芝居や絵本の読み聞かせを実施（2回）

#### ② ジェンダー関連情報の収集・提供

情報システム「ムーブネット」により団体情報の収集・提供を行った。（平成 21 年 3 月 31 日現在 個人情報 267 件、団体・グループ情報 215 件）

#### ③ ホームページ等による情報の提供

ホームページやムーブメールで施設情報や講座・イベント情報などの最新情報を提供した。

#### ④ その他

ムーブフェスタ期間中に次の事業を実施

ア ブックリサイクル（1,141 冊）

イ ムーブせんべい販売

### (2) 調査研究事業

#### ① ジェンダー問題調査・研究支援事業

ア ジェンダー問題の解決に向けて自主的に調査・研究する市民グループ・研究者等を支援するため、その調査・研究費の一部を 1 組に助成し、平成 21 年 3 月末に報告書を発行した。

イ 第 11 回ジェンダー問題調査・研究報告（平成 19 年度の研究グループ 2 組）

日 時 平成 20 年 7 月 19 日（土）10：00～12：00

参加者 117 名

#### ② ジェンダーに関する「ムーブ叢書」の発行（平成 21 年 3 月末）

『ジェンダー白書別冊 北九州市の男女共同参画統計データ集 2008』を  
発行



『ジェンダー白書別冊 北九州市の男女共同参画統計データ集 2008』

③ 男女共同参画マンガコンクールの実施

応募作品数 206 作品  
 入選作品 8 作品  
 審査委員 委員長 文月今日子（漫画家）  
 委員 うえやまとち（漫画家）、倉田真由美（漫画家）、吉崎 邦子（所長）  
 作品集発行 平成 21 年 3 月末

④ 女子差別撤廃条約の普及・啓発

平成 10 年度に行った、「女子差別撤廃条約名訳コンクール」の最優秀賞作品のパネルの貸出を行い、女子差別撤廃条約の普及・啓発を行った。（パネル貸し出し 4 件）

(3) 広報事業

① 情報誌「ムービング」、月刊ムーブ」の発行

センターの主要事業やイベント等の情報発信とネットワークの拡大を目的に発行した。

ア 情報誌「ムービング」 年 4 回、10,000 部/回  
 イ 月刊ムーブ 月 1 回、3,000 部/回

② 書誌情報誌「カティング・エッジ」の発行

ア ジェンダー問題に関する最新の包括的な情報を発信するための書誌情報誌を発行した。（年 4 回、3,000 部/回）  
 イ 創刊号から第 33 号までをまとめた「カティング・エッジ総集編版」を発行した。（平成 21 年 3 月末）



「ムービング」



「カティング・エッジ」

3 施設管理業務

北九州市立男女共同参画センターの施設の充実を図り、円滑な管理運営に努めるとともに、施設の貸出、講師派遣（出前研修）、視察の受入れ等を行った。

(1) 施設維持管理業務

安全・安心の観点から、施設・設備の定期的な保守点検や計画的な補修等を行った。

(2) 貸室業務

平成 20 年度貸室利用者数 169,849 人

## (3) その他

## ① 講師派遣（出前研修）

講師派遣件数 30 件（19 ページ記載の大学での講義および男女協働のための北九州企業懇話会の事業を含む。）

## ② 視察受け入れ

他都市、各種団体等 20 団体 125 人の視察の受け入れを行った。

## 北九州市立男女共同参画センター自主事業特別会計

(1) 男女共同参画講座

(2) 女性起業家支援塾

(3) パソコン講座

(4) エンパワーメントの語学講座（英語、中国語、ハンゲル）

(5) 生活技術講座（創作工房、いまどきママのリフレッシュ講座、父と子の食育講座等）

(6) 経済的困難な状況にある女性のための就労支援事業（母子福祉センターと共催、全国女性会館協議会の助成）

## 北九州市大手町ビル維持管理事業特別会計

北九州市大手町ビル（北九州市男女共同参画センター以外）の施設管理および入居団体との連絡・調整にあたった。

## 平成 20 年度 北九州市立男女共同参画センター利用状況

(平成 20 年 4 月 1 日～平成 21 年 3 月 31 日)

室名	区分	開所日数 (日)	利用日数 (日)	利用率 (%)	利 用 人 員 (人)					
					主催事業	(男性内数)	貸室利用	(男性内数)	総利用者数	(男性内数)
ホール		343	217	63.3	8,934	2,755	37,773	14,792	46,707	17,547
大セミナールーム		343	235	68.5	2,945	549	17,864	7,112	20,809	7,661
小セミナールーム		343	271	79.0	2,183	201	7,899	3,018	10,082	3,219
企画ルーム 1		343	308	89.8	273	23	3,986	1,230	4,259	1,253
企画ルーム 2		343	313	91.3	983	164	3,221	870	4,204	1,034
料理室		343	144	42.0	675	181	1,820	246	2,495	427
和室 (茶室兼備)		343	282	82.2	316	79	4,158	855	4,474	934
茶室 (立礼形式)		343	66	19.2	39	5	523	209	562	214
フィットネスルーム	専用	343	286	83.4	833	17	1,504	13	2,337	30
	個人				7,751	2,327	—	—	7,751	2,327
	小計				8,584	2,344	1,504	13	10,088	2,357
工芸室	専用	343	226	65.9	859	201	1,854	164	2,713	365
	個人				64	8	—	—	64	8
	小計				923	209	1,854	164	2,777	373
OALーム	専用	343	266	77.6	5,612	390	0	0	5,612	390
	個人				1,094	290	—	—	1,094	290
	小計				6,706	680	0	0	6,706	680
グループ活動室		343	314	91.5	465	108	6,613	821	7,078	929
こどもの部屋		343	237	69.1	2,214	637	121	48	2,335	685
交流広場		343	343	100.0	47,153	10,469	82,513	23,225	129,666	33,694
相談室		—	—	—	11,924	2,492	—	—	11,924	2,492
図書・情報室		—	—	—	27,512	4,579	—	—	27,512	4,579
合 計		—	—	—	121,829	25,475	169,849	52,603	291,678	78,078

男性利用率 26.8%

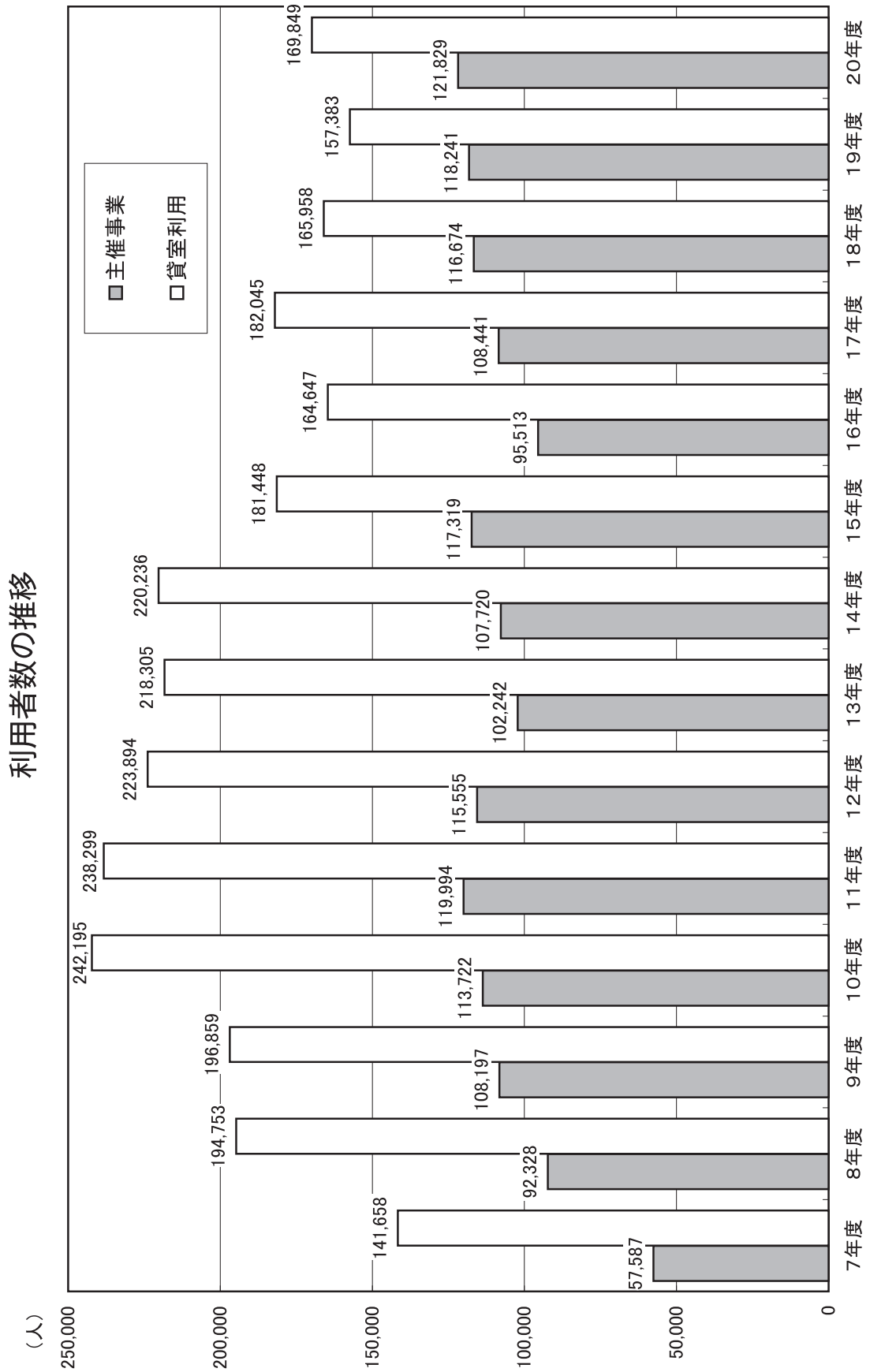
(参考)・前年度同月 (H19 年度) …………… 275,624 人 (内男性 73,248 人) (男性利用率 26.6%)  
 内訳 { 主催 118,241 人 (内男性 25,384 人)  
       貸室 157,383 人 (内男性 47,864 人) }

開所からの利用者累計 (H 7.7 ~ H 21.3 月) …………… 4,192,891 人

### < 講師派遣参加者数・視察受入数 >

	H20 年度累計 (H20.4 月～ H21.3 月)		H19 年度累計 (H19.4 月～ H20.3 月)	
	件数	人数	件数	人数
講師派遣参加者数	30	1,880	36	2,166
視察受入数	20	125	8	56
合 計	50 件	2,005 人	44 件	2,222 人

※ セクシュアルハラスメント防止研修、男女共同参画講演等講師派遣





# 財 務 諸 表

平成20年度収支計算書総括表

(平成20年4月1日から平成21年3月31日まで)

(単位：円)

科 目	合 計	一般会計	国際研修 特別会計	北九州市ESD推進 事業特別会計	北九州市立男女共同参 画センター管理運営 特別会計	北九州市立男女共同参 画センター自主事業 特別会計	北九州市大手町ビル 維持管理事業特別会計
I 事業活動収支の部							
1. 事業活動収入	4,114,035	4,114,035	0	0	0	0	0
①基本財産運用収入	899,750	899,750	0	0	0	0	0
②会費収入	459,630	428,130	31,500	0	0	0	0
③事業収入	13,638,967	0	7,989,466	0	13,638,967	0	0
④自主事業費収入	7,989,466	0	0	0	0	0	0
⑤委託料収入	258,423,000	0	0	0	224,257,000	0	34,166,000
⑥北九州市委託金収入	75,779,000	75,229,000	0	0	0	550,000	0
⑦補助金等収入	7,000	7,000	0	0	0	0	0
⑧寄付金収入	277,994	128,719	0	0	149,275	0	0
⑨雑収入	1,045,395	1,045,395	0	0	0	0	0
⑩他会計からの繰入金収入	362,634,237	81,852,029	8,020,966	0	224,406,275	14,188,967	34,166,000
事業活動収入計	20,189,573	20,189,573	0	0	0	0	0
2. 事業活動支出	9,672,422	9,672,422	0	0	0	0	0
①調査研究事業費支出	9,026,261	9,026,261	0	0	0	0	0
②交流・研修事業費支出	34,254,167	34,254,167	0	0	0	0	0
③情報収集・発信事業費支出	5,940,085	0	5,940,085	0	0	0	0
④管理費支出	0	0	0	0	0	0	0
⑤国際研修事業支出	218,285,564	0	0	0	218,285,564	0	0
⑥北九州市ESD協議会助成金支出	12,720,657	0	0	0	0	12,720,657	0
⑦男女共同参画センター管理運営業務支出	33,524,813	0	0	0	0	0	33,524,813
⑧男女共同参画センター受益者負担金支出	6,130,824	0	1,035,486	0	4,454,151	0	641,187
⑨大手町ビル維持管理事業支出	8,731,744	8,731,744	0	0	0	0	0
⑩返還金支出	1,045,395	0	1,045,395	0	0	0	0
⑪補助金返還支出	359,521,505	81,874,167	8,020,966	0	222,739,715	12,720,657	34,166,000
⑫他会計への繰入金支出	3,112,732	△22,138	0	0	1,666,560	1,468,310	0
事業活動支出計	0	0	0	0	0	0	0
事業活動収支差額	339,000	339,000	0	0	0	0	0
II 投資活動収支の部	2,295,510	628,950	0	0	1,666,560	0	0
1. 投資活動収入	0	0	0	0	0	0	0
投資活動収入計	0	0	0	0	0	0	0
2. 投資活動支出	2,295,510	628,950	0	0	1,666,560	0	0
①特定資産取得支出	0	0	0	0	0	0	0
②固定資産取得支出	2,634,510	967,950	0	0	1,666,560	0	0
③その他支出	△2,634,510	△967,950	0	0	△1,666,560	0	0
投資活動支出計	0	0	0	0	0	0	0
投資活動収支差額	0	0	0	0	0	0	0
III 財務活動収支の部	478,222	△990,088	0	0	0	1,468,310	0
1. 財務活動収入	10,850,958	8,969,742	0	0	0	1,881,216	0
財務活動収入計	11,329,180	7,979,654	0	0	0	3,349,526	0
2. 財務活動支出	0	0	0	0	0	0	0
財務活動支出計	0	0	0	0	0	0	0
財務活動収支差額	478,222	△990,088	0	0	0	1,468,310	0
当期収支差額	10,850,958	8,969,742	0	0	0	1,881,216	0
前期繰越収支差額	11,329,180	7,979,654	0	0	0	3,349,526	0
次期繰越収支差額							

正味財産増減計算書総括表

(平成20年4月1日から平成21年3月31日まで)

(単位：円)

科 目	合 計	一般会計	国際研修 特別会計	北九州市ESD推進 事業特別会計	北九州市立男女共同参 画センター管理運営 特別会計	北九州市立男女共同参 画センター自主事業 特別会計	北九州市大手町ビル維 持管理事業特別会計
I 一般正味財産増減の部							
1. 経常増減の部							
(1) 経常収益							
基本財産運用益	4,114,035	4,114,035	0	0	0	0	0
受取会費	899,750	899,750	0	0	0	0	0
事業収益	459,630	428,130	31,500	0	0	0	0
自主事業費収益	13,638,967	0	7,989,466	0	0	13,638,967	0
委託料収益	7,989,466	0	0	0	0	0	0
北九州市委託金収益	258,423,000	0	0	0	224,257,000	0	34,166,000
受取補助金等	75,779,000	75,229,000	0	0	0	550,000	0
受取寄付金	7,000	7,000	0	0	0	0	0
雑収益	277,994	128,719	0	0	149,275	0	0
他会計からの繰入額	1,045,395	1,045,395	0	0	0	0	0
経常収益計	362,634,237	81,852,029	8,020,966	0	224,406,275	14,188,967	34,166,000
(2) 経常費用							
調査研究事業費	20,189,573	20,189,573	0	0	0	0	0
交流・研修事業費	9,672,422	9,672,422	0	0	0	0	0
情報収集・発信事業費	9,026,261	9,026,261	0	0	0	0	0
管理費	35,342,723	35,342,723	0	0	0	0	0
国際研修事業費	5,940,085	0	5,940,085	0	0	0	0
北九州ESD協議会支払助成金	0	0	0	0	0	0	0
男女共同参画センター管理運営業務費	219,744,905	0	0	0	219,744,905	0	0
男女共同参画センター受益者負担金	12,730,676	0	0	0	0	12,730,676	0
大手町ビル維持管理事業費	33,524,813	0	0	0	0	0	33,524,813
返還金支出	6,130,824	0	1,035,486	0	4,454,151	0	641,187
補助金返還	8,731,744	8,731,744	0	0	0	0	0
他会計への繰出額	1,045,395	0	1,045,395	0	0	0	0
経常費用計	362,079,421	82,962,723	8,020,966	0	224,199,056	12,730,676	34,166,000
当期経常増減額	554,816	△1,110,694	0	0	207,219	1,458,291	0
2. 経常外増減の部							
(1) 経常外収益							
経常外収益計	0	0	0	0	0	0	0
(2) 経常外費用							
経常外費用計	0	0	0	0	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0	0	0	0	0
当期一般正味財産増減額	554,816	△1,110,694	0	0	207,219	1,458,291	0
一般正味財産期首残高	21,651,073	17,367,380	0	0	2,342,373	1,941,320	0
一般正味財産期末残高	22,205,889	16,256,686	0	0	2,549,592	3,399,611	0
II 指定正味財産増減の部							
当期指定正味財産増減額	0	0	0	0	0	0	0
指定正味財産期首残高	323,166,095	323,166,095	0	0	0	0	0
指定正味財産期末残高	323,166,095	323,166,095	0	0	0	0	0
III 正味財産期末残高	345,371,984	339,422,781	0	0	2,549,592	3,399,611	0

# 貸借対照表総括表

(平成21年3月31日現在)

(単位：円)

科 目	合 計	一般会計	国際研修 特別会計	北九州 ESD 推進 事業特別会計	北九州市立男女共同参 画センター管理運営 特別会計	北九州市立男女共同参 画センター自主事業 特別会計	北九州市大手町ビル維 持管理事業特別会計	内部取引消去
I 資産の部								
1. 流動資産								
流動資産合計	53,061,320	20,299,453	1,445,535	0	29,268,851	3,989,164	3,872,019	5,813,702
2. 固定資産								
(1) 基本財産								
基本財産合計	329,245,773	329,245,773	0	0	0	0	0	0
(2) 特定資産								
特定資産合計	748,000	748,000	0	0	0	0	0	0
(3) その他の固定資産								
その他の固定資産合計	4,797,031	2,197,354	0	0	2,549,592	50,085	0	0
固定資産合計	334,790,804	332,191,127	0	0	2,549,592	50,085	0	0
資 産 合 計	387,852,124	352,490,580	1,445,535	0	31,818,443	4,039,249	3,872,019	5,813,702
II 負債の部								
1. 流動負債								
流動負債合計	41,732,140	12,319,799	1,445,535	0	29,268,851	639,638	3,872,019	5,813,702
2. 固定負債								
固定負債合計	748,000	748,000	0	0	0	0	0	0
負 債 合 計	42,480,140	13,067,799	1,445,535	0	29,268,851	639,638	3,872,019	5,813,702
III 正味財産の部								
1. 指定正味財産								
指定正味財産合計	323,166,095	323,166,095	0	0	0	0	0	0
(うち基本財産への充当額)	( 323,166,095 )	( 323,166,095 )	( 0 )	( 0 )	( 0 )	( 0 )	( 0 )	( 0 )
(うち特定資産への充当額)	( 0 )	( 0 )	( 0 )	( 0 )	( 0 )	( 0 )	( 0 )	( 0 )
2. 一般正味財産								
一般正味財産合計	22,205,889	16,256,686	0	0	2,549,592	3,399,611	0	0
(うち基本財産への充当額)	( 6,079,678 )	( 6,079,678 )	( 0 )	( 0 )	( 0 )	( 0 )	( 0 )	( 0 )
(うち特定資産への充当額)	( 0 )	( 0 )	( 0 )	( 0 )	( 0 )	( 0 )	( 0 )	( 0 )
正味財産合計	345,371,984	339,422,781	0	0	2,549,592	3,399,611	0	0
負債及び正味財産合計	387,852,124	352,490,580	1,445,535	0	31,818,443	4,039,249	3,872,019	5,813,702

## 財務諸表に対する注記 総括表

平成 21 年 3 月 31 日現在

### 1 重要な会計方針

- (1) 有価証券の評価基準及び評価方法  
満期保有目的債権・・・取得価額
- (2) 固定資産の減価償却の方法  
車両運搬具・・・定率法によっている。  
什器備品・・・定率法によっている。  
無形固定資産・・・定額法によっている。
- (3) 引当金の計上基準  
退職給付引当金  
期末退職給与の要支給額を計上している。
- (4) 消費税等の会計処理  
消費税等の会計処理は、税込方式によっている。

### 2 基本財産及び特定資産の増減額及びその残高は、次のとおりである。

(単位：円)

科目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
基本財産				
投資有価証券	299,950,000	0	0	299,950,000
定期預金	29,295,773	0	0	29,295,773
小計	329,245,773	0	0	329,245,773
特定資産				
退職給付引当資産	409,000	339,000	0	748,000
小計	409,000	339,000	0	748,000
合計	329,654,773	339,000	0	329,993,773

### 3 基本財産及び特定資産の財源等の内訳は、次のとおりである。

(単位：円)

科目	当期末残高	(うち指定正味財産からの充当額)	(うち一般正味財産からの充当額)	(うち負債に対応する額)
基本財産				
投資有価証券	299,950,000	299,950,000	0	-
定期預金	29,295,773	23,216,095	6,079,678	-
小計	329,245,773	323,166,095	6,079,678	-
特定資産				
退職給付引当資産	748,000	0	0	748,000
小計	748,000	0	0	748,000
合計	329,993,773	323,166,095	6,079,678	748,000

### 4 固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高は、次のとおりである。

(単位：円)

科目	取得価格	減価償却累計額	当期末残高
その他の固定資産			
車両運搬具	1,700,000	1,699,998	2
什器備品	12,487,275	8,230,246	4,257,029
合計	14,187,275	9,930,244	4,257,031

### 5 満期保有目的の債券の内訳並びに帳簿価格、時価及び評価損益は次のとおりである。

(単位：円)

科目	帳簿価格	時価	評価損益
投資有価証券			
共同発行市場公募地方債	199,900,000		
大阪府公債	100,000		
北九州市債	99,950,000	101,797,200	1,847,200
合計	299,950,000	101,797,200	1,847,200

### 6 補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残高は次のとおりである。

(単位：円)

補助金等の名称	交付者	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高	貸借対照表上の記載区分
補助金						
市補助金		300,000,000	--	--	300,000,000	指定正味財産
受取市補助金	北九州市	--	75,229,000	75,229,000	0	
合計		300,000,000	75,229,000	75,229,000	300,000,000	



# 資 料

## 財団法人アジア女性交流・研究フォーラムの歩み

- 1989年 8月23日 北九州市の「自ら考え自ら行う地域づくり事業（ふるさと創生事業）」として「アジアの女性の研究・研修システム（仮称）アジア女性フォーラム」が101の案の中から選定される。
- 11月 1日 アジア女性フォーラム（仮称）の基本構想について検討し、総合的な提言を得るため、北九州市長の私的諮問機関として、元労働省婦人少年局長高橋久子氏を委員長とする「アジア女性フォーラム基本構想委員会」が設置される。
- 12月26日 基本構想委員会が、組織の正式名称を「アジア女性交流・研究フォーラム」とすることを提言し、名称が決定する。
- 1990年 1月19日 東京ドームで開催された「ふるさと創生展」において、アジア女性交流・研究フォーラムの目指す事業が、マルチスライドを使って紹介される。
- 2月11日 北九州市の7区に組織されている「女性会議実行委員会」の主催により、アジア女性交流・研究フォーラムの設立気運を盛り上げるため、各区においてシンポジウム・交流会・展示会・講演会等「アジア女性フォーラム各区イベント」が開催される。
- 3月30日 基本構想委員会が「アジア女性交流・研究フォーラム基本構想」を北九州市長に提言する。
- 3月31日 「'90 アジア国際シンポジウム」（テーマ：アジア・女性・未来～共に考え共に歩もう）を開催する。
- 6月～9月 第1回アジアセミナーを開催する。（以後毎年開催）
- 7月 5日 アジア女性交流・研究フォーラムのより具体的な活動について検討するため、北九州市長の私的諮問機関として、「アジア女性交流・研究フォーラム懇談会」が設置される。
- 7月23日 アジア女性交流・研究フォーラム提言をもとに基本構想が策定される。
- 10月20日 **アジア女性交流・研究フォーラム設立**（理事長 高橋久子）
- 10月20日 アジア女性交流・研究フォーラムの設立を記念して、伊東すみ子東京高等裁判所判事を講師として、「国際社会における女性の役割」をテーマに講演会を開催する。
- 10月 同研究事業「開発が女性と家族に与える影響」が開始される。
- 1991年 3月 9日 「第1回アジア女性会議—北九州」（テーマ：アジアと女性の今）を開催する。
- ～10日 （以後毎年開催）
- 3月 情報誌『Asian Breeze』創刊
- 4月 プロジェクト研究事業が開始される。
- 5月 海外通信員制度始まる。（以後毎年実施）
- 12月 1日 「第2回アジア女性会議—北九州」（テーマ：政策決定における女性）を開催する。
- ～2日
- 1992年 3月18日 「第1回女性の地位向上のための行政官セミナー」（JICAの委託事業）を開催する。
- ～27日 （以後毎年開催）
- 7月24日 1993年10月を目標に財団法人化を図るため、基本財産積み立てのための募金活動を行う募金委員会が理事等の役員を中心に発足し、募金活動を開始する。
- 11月13日 「第3回アジア女性会議—北九州」（テーマ：環境と開発と女性）を開催する。
- ～15日
- 11月24日 国連婦人開発基金（ユニフェム）の活動を支援するための組織として、ユニフェム日本国内委員会を国際婦人年連絡会および財団法人横浜女性協会とともに設立し、その正会員となる。
- 1993年 3月 『アジア女性シリーズ』第1号が発刊される。（中国）
- 5月 「国際理解のための教材ビデオ」制作事業を開始する。

- 9月17日 財団法人アジア女性交流・研究フォーラム設立発起人会を開催する。
- 9月22日 労働省より、財団法人としての設立を許可される。
- 10月 **財団法人アジア女性交流・研究フォーラム設立**（理事長 高橋久子）
- 11月19日 「第4回アジア女性会議—北九州」（テーマ：地球の未来と人口）を開催する。
- ～21日
- 1994年2月8日 高橋久子理事長が最高裁判所判事就任のため理事長を辞任する。三隅佳子専務理事が理事長代行となる。
- 4月 共同研究事業「アジアの働く女性シリーズ」を開始する。
- 9月1日 第1回海外通信員セミナーを開催する。
- ～8日
- 11月18日 「第5回アジア女性会議—北九州」（テーマ：女性と家族）を開催する。
- ～20日
- 1995年4月1日 北九州市から北九州市立女性センターの管理運営業務の委託を受ける。
- 6月15日 事務所を北九州市大手町ビルに移す。
- 6月22日 第2代理事長に奥田八二氏就任する。
- 7月1日 北九州市立女性センターのオープニングイベントを開催する。
- ～8日
- 9月4日 国連婦人の地位委員会のオブザーバー参加資格を得る。国連第4回世界女性会議にオブザーバー参加する。また、NGOフォーラムにも参加し、ワークショップを開催する。
- ～11日
- 11月17日 「第6回アジア女性会議—北九州」（テーマ：女性と労働）を開催する。
- ～19日
- 1996年2月16日 「第1回環境と開発と女性セミナー」（JICAの委託事業）を開催する（以後毎年開催）
- ～3月21日
- 11月15日 「第7回アジア女性会議—北九州」（テーマ：女性とメディア）を開催する。
- ～17日
- 1997年1月 ホームページを開設する。
- 4月1日 三隅佳子専務理事が理事長代行となる。
- 9月22日 「客員研究員制度」を設置する。
- 11月7日 「第8回アジア女性会議—北九州」（テーマ：女性と教育）を開催する。
- ～9日
- 1998年3月24日 第3代理事長に高橋久子氏就任する。
- 6月 「国際協力カレッジ」を開催する。
- 10月10日 財団設立5周年記念事業を実施する。
- 11月7日 「第9回アジア女性会議—北九州」（テーマ：ジェンダーの視点の主流化（メインストリーム）をめざして）を開催する。
- ～8日
- 12月12日 地球市民教育地域セミナーを開催する。
- ～13日
- 1999年4月12日 「ジャパン・ソサエティ地方政治・公共政策フェロウシップ事業」を実施する。
- 9月 「フォーラム懇話会」を実施する。
- 10月17日 「女性起業家支援塾」（北九州市立女性センターの委託事業）を開催する。
- ～31日
- 11月6日 「第10回アジア女性会議—北九州」（テーマ：男女共同参画の世紀を拓く～女性2000年会議とその後～）を開催する。
- ～7日
- 2000年1月9日 「女性起業家スタディツアー」（アメリカ サンフランシスコ）を実施する。
- ～15日

- 6月5日～9日 国連特別総会「女性2000年会議—21世紀に向けての男女平等・開発・平和」にオブザーバーとして参加する。
- 6月5日～8日 「女性2000年会議」に関連したNGOのシンポジウム「北京+5グローバルフェミニストシンポジウム（アメリカ ニューヨーク）」に参加する。またワークショップを開催する。
- 9月3日 北九州市で開催された「アジア・太平洋環境大臣会議」の関連事業として「アジア・太平洋環境女性会議」を開催
- 11月 自治大臣表彰「世界に開かれたまちづくり」を受賞
- 12月28日 理事長制から会長制へ移行、その他諸規定についての寄附行為変更が認可される。
- 2001年2月25日～3月5日 「環境問題を考えるスタディツアー（マレーシア）」を実施する。
- 4月1日 原ひろ子氏が初代会長に、第4代理事長に三隅佳子氏が、前理事長の高橋久子氏が顧問に、それぞれ就任する。
- 7月26日～28日 「持続可能な開発に関する世界首脳会議（WSSD）北東アジア準備会合及びマルチステークホルダー会合（中国 北京）」に参加する。
- 7月～9月 北九州博覧祭2001の関連事業を実施する。  
・JICA研修員による報告「世界から日本へ！日本から未来へ」  
・渥美雅子弁護士男女共同参画型講談「山内さんちのパートナーシップ」
- 9月12日～16日 「第1回北東アジア女性環境会議（韓国 ソウル）」に参加する。
- 10月6日～7日 「第12回アジア女性会議—北九州」（テーマ：自分らしく健康に生きる～ジェンダーを超えて）を開催する。
- 11月24日～12月1日 「持続可能な開発に関する世界首脳会議（WSSD）に向けてのハイレベル地域会合及び持続可能な開発に関するアジア太平洋ラウンドテーブル（カンボジア プノンペン）」に参加する。
- 11月28日～12月2日 「アフガニスタン女性と子どもの写真展」とアフガニスタンセミナー Part1を開催する。
- 2002年1月18日 環境シリーズセミナー「リオ+10 ヨハネスブルグ・サミットにむけて世界の準備状況」を開催する。
- 2月9日～17日 北九州市と東京で「円卓会議：持続可能な開発に関する世界首脳会議（ヨハネスブルグ・サミット）に向けて」を開催する。
- 3月1日～10日 第46回国連女性の地位委員会（CSW）（アメリカ ニューヨーク）に参加する。
- 3月22日 アフガニスタンセミナー Part2 を開催する。
- 3月23日 「WSSD 第3回準備会合（アメリカ ニューヨーク）」に参加する。
- ～4月5日 「環境問題を考えるスタディツアー（中国、韓国）」を実施する。
- 3月25日～30日
- 4月1日 北九州市立女性センターの名称を北九州市立男女共同参画センターに変更する。
- 7月 国連経済社会理事会のNGO協議資格を九州で初めて取得する。
- 7月31日 国際協力事業団（JICA）国際協力功労者表彰を受賞した。
- 8月23日～9月5日 「持続可能な開発に関する世界首脳会議」（ヨハネスブルグ・サミット）に参加（フォーラムの主任研究員は日本政府代表の顧問を務めた）し、各国女性NGOとワークショップを開催する。



国連 NGO 協議資格を九州で初取得

- 10月12日 日本・中国・韓国・モンゴルからの女性環境活動家が集い、「第2回北東アジア女性  
・14日 環境会議」を北九州市と東京で開催した。
- 2003年3月2日 第47回国連女性の地位委員会（CSW）（アメリカ ニューヨーク）に参加する。  
～16日
- 3月16日 第3回世界水フォーラム（京都、滋賀、大阪）に参加する。  
～21日
- 5月 「国際協力カレッジ」から名称を変更した「KFAW カレッジ」を開催する。  
5月17日 北九州市女性史の編纂を行うため北九州市女性史編纂実行委員会の設立に参画した。  
10月11日 財団設立10周年記念事業を実施した。  
12日 「第14回アジア女性会議—北九州」（テーマ：女性のエンパワーメントとICT）を開催する。
- 2004年2月26日 第48回国連女性の地位委員会（CSW）（アメリカ ニューヨーク）に参加する。  
～3月13日
- 6月29日 「アジア太平洋 NGO フォーラム」参加スタディツアー（タイ バンコク）を実施する。  
～7月4日
- 9月7日 国連アジア太平洋経済社会委員会ハイレベル会議（タイ バンコク）に参加する。  
～10日
- 11月6日 「第15回アジア女性会議—北九州」（テーマ：北京+10に向けて 人間の安性保障と  
～7日 ジェンダー）を開催する。
- 2005年2月28日 第49回国連女性の地位委員会（CSW）「北京+10」閣僚級会合（アメリカ ニュー  
～3月6日 ヨーク）に参加する。  
11月5日 「第16回アジア女性会議—北九州」（テーマ：歴史を拓いた女性たち）を開催する。  
～6日
- 12月7日 『北九州市女性の100年史 おんなの軌跡 北九州』を発刊する。
- 2006年1月16日 「インドで考える女性や子どもの人権スタディツアー」を実施する。  
～23日
- 2月27日 第50回国連女性の地位委員会（CSW）に参加する。  
～3月10日
- 2月19日 「ノーベル平和賞受賞者 ワンガリ・マータイさんと語る 北九州市民・環境フォー  
ラム 世界の環境首都をめざして」を開催（エコライフステージ実行委員会との共  
催）する。
- 4月1日 北九州市立男女共同参画センターの指定管理者となる。
- 9月28日 北九州 ESD（持続可能な開発のための教育）協議会（44団体）が設立される。
- 10月 環境省「国連持続可能な開発のための教育の10年促進事業」の認定を受ける。
- 10月15日 『新聞にみる北九州市女性の100年史 おんなの軌跡・北九州』を発刊する。
- 11月11日 北九州市女性史演劇「秋の三色すみれ」を上演する。  
～12日
- 11月18日 「第17回アジア女性会議—北九州」（テーマ：公正で豊かな未来を創る～持続可能な  
～19日 開発のための教育とは～）を開催する。
- 12月5日 国連大学から持続可能な開発のための教育を推進するため、北九州市が「地域の拠点  
（RCE）」に認定される（日本で4番目）。
- 2007年2月26日 第51回国連女性の地位委員会（CSW）に参加する。  
～3月9日
- 3月1日 「アボリジニ女性のエンパワーメントとアートを活かしたまちづくりスタディツアー  
～8日 （オーストラリア）」を実施する。

- 4月1日 原ひろ子氏が顧問に、三隅佳子氏が第2代会長に、吉崎邦子氏が第5代理事長に、それぞれ就任する。  
北九州 ESD 協議会の事務局となる。
- 10月12日 持続可能な開発のための教育（ESD）をテーマにスタディーツアー（韓国）を実施  
～16日 する。
- 11月10日 「第18回アジア女性会議—北九州」（テーマ：つながる ひろがる 地球の未来）を開  
～11日 催する。
- 12月14日 在福岡アメリカ領事館とミャンマー民主化講演会を共催する。
- 2008年2月22日 第52回国連女性の地位委員会（CSW）に参加する。  
～3月7日
- 3月10日 海外拠点づくりの第一歩として姉妹都市の韓国・インチョン広域市を訪問する。  
～12日
- 4月 KFAW アジア研究者ネットワーク立ち上げの準備をする。
- 5月26日 仁川 YWCA の一行（11名）が来北する。
- 6月25日 忠清南道女性政策開発院（CWPD）主催の国際会議に参加・日本および北九州市の  
女性の能力開発の現状を発表する。
- 9月6日 財団設立15周年記念講演会「アジア・太平洋地域の女性の現状」を実施する。
- 11月15日 CWPD と日韓国際セミナーを共同で開催する。
- 11月15日 「第19回アジア女性会議—北九州」（テーマ：地球を食べる、地球で食べる—あなた  
～16日 は食を通して何を考えますか？）を開催する。
- 2009年2月27日 第53回国連女性の地位委員会（CSW）に参加する。  
～3月6日
- 3月31日 北九州 ESD 協議会事務局が北九州市環境局に移管される。

## 刊行物一覧

### (1) 出版物

#### アジア女性研究

アジア女性研究	創刊号	アジアにおける開発と女性	1,000円 (売り切れ)
アジア女性研究	第2号	環境・開発・女性	1,000円
アジア女性研究	第3号	A 地球の未来と人口問題 B アジアの女性と人口問題	1,000円
アジア女性研究	第4号	女性と家族	1,000円
アジア女性研究	第5号	女性と労働	1,000円
アジア女性研究	第6号	女性とメディア	1,000円
アジア女性研究	第7号	女性と教育	1,000円
アジア女性研究	第8号	ジェンダーの視点の主流化をめざして	1,000円
アジア女性研究	第9号	男女共同参画の世紀を拓く	1,000円
アジア女性研究	第10号	ジェンダー主流化に向けて	1,000円 (売り切れ)
アジア女性研究	第11号	ジェンダーと健康	1,000円 (売り切れ)
アジア女性研究	第12号	持続可能な開発—ジェンダーの視点から	1,000円 (売り切れ)
アジア女性研究	第13号	ICTとジェンダー	1,000円
アジア女性研究	第14号	人間の安全保障とジェンダー	1,000円
アジア女性研究	第15号	グローバル化とジェンダー	1,000円
アジア女性研究	第16号	ジェンダーと政治 (ポリティクス)	1,000円
アジア女性研究	第17号	福祉とジェンダー	1,000円
アジア女性研究	第18号	科学とジェンダー	1,000円

#### Journal of Asian Women's Studies

Journal of Asian Women's Studies Vol. 1	Women in Development in Asia	800円
Journal of Asian Women's Studies Vol. 2	Environment, Development and Women	1,000円
Journal of Asian Women's Studies Vol. 3	Population and Our Earth's Future Women's Reproductive Rights and Population Problems in Asia	1,000円
Journal of Asian Women's Studies Vol. 4	Women and Family	1,000円
Journal of Asian Women's Studies Vol. 5		1,000円 (売り切れ)
Journal of Asian Women's Studies Vol. 6 & 7		1,500円 (売り切れ)
Journal of Asian Women's Studies Vol. 8		1,000円
Journal of Asian Women's Studies Vol. 9		1,000円 (売り切れ)
Journal of Asian Women's Studies Vol. 10	Women/Gender and Globalization	1,000円 (売り切れ)
Journal of Asian Women's Studies Vol. 11	Participation and Good Governance: Environmental Issues from a Gender Perspective	1,000円 (売り切れ)
Journal of Asian Women's Studies Vol. 12	Cairo+10: Reviewing Reproductive Health and Rights	1,000円
Journal of Asian Women's Studies Vol. 13	ICT and Gender	1,000円
Journal of Asian Women's Studies Vol. 14		1,000円
Journal of Asian Women's Studies Vol. 15		1,000円
Journal of Asian Women's Studies Vol. 16		1,000円
Journal of Asian Women's Studies Vol. 17	Welfare and Gender	1,000円

## 環境シリーズ

アジアにおける環境と女性—実践実例集—	500円
地球温暖化対策の未来	500円
ノーベル平和賞受賞者ワンガリ・マータイさんと語る 北九州市民・環境フォーラム 世界の環境首都をめざして 記録	300円

## 農業女性シリーズ

アジアの農業女性のエンパワーメント—韓国と中国からの報告—	1,000円
Empowerment of Female Farmers in Asia — Korea and China —	1,500円 (売り切れ)
Empowerment of Female Farmers in Asia — Vietnam and Thailand —	1,500円

## アジアのドメスティック・バイオレンスシリーズ

アジアのドメスティック・バイオレンス (ハードカバー)	2,500円
アジアのドメスティック・バイオレンス (ペーパーバック)	2,000円
Domestic Violence in Asia — A Report from Korea and Cambodia —	800円

## アジア家族研究シリーズ

日本と韓国の家族意識の比較研究—福岡・ソウル調査を中心に—	2,000円
A Comparative Study on the Family Consciousness between Korea and Japan — Centered on Seoul and Fukuoka —	2,000円
現代タイの家族意識の研究—バンコク・ソウル・福岡調査の比較と共に—	2,000円
A Study of Family Consciousness in Contemporary Thailand — With Comparison among Bangkok, Seoul and Fukuoka —	2,000円
現代中国における都市家族の意識と生活に関する研究 —北京調査及びバンコク・ソウル・福岡との比較—	2,000円
A Study on Life and Consciousness of Contemporary Urban Family in China — A Research in Beijing with Comparison among Bangkok, Seoul and Fukuoka —	2,000円 (売り切れ)
アジアの経済発展と家族及びジェンダー	1,000円
The Influences of Economic Development upon Women and Families — Experiences in Seven Asian Countries —	2,000円
マレーシアの経済開発と家族及びジェンダー—経済危機の前夜まで—	2,000円
Effects of Socio-Economic Development on Family and Gender Relations Before Economic Crisis in Malaysia — Focusing on Kuala Lumpur —	2,000円
アジアの経済発展と家族及びジェンダー—改訂版—	1,200円

## アジアの働く女性シリーズ

パキスタンの働く女性—綿摘み女性労働者と縫製業の女性労働者—	1,000円
ベトナムの働く女性—ホーチミン市縫製工場の女性移住労働者—	1,000円
フィリピンミンダナオ北部における経済開発と女性 —開発における社会・経済ジェンダー分析 (SEGA) モデルの検証—	1,000円

## 客員研究員研究

マレーシアとシンガポールにおける女性と政治 —ナショナリズム・国家建設・ジェンダー—	1,000 円
中国における社会福祉政策の展開状況に関する研究	1,000 円
Globalization の新潮流と「環境保全型経済発展の課題」 —東南アジア諸国における「中間階層」の増大との関連で—	1,000 円 (売り切れ)
上海市女性高齢者生活状況に関する訪問調査	1,000 円
アウンサンスーチーの思想と行動	1,000 円
アウンサンスーチーの思想と行動 (ビルマ語付)	1,500 円 (売り切れ)
グローバリゼーションの新潮流と環境保全型経済発展の課題 —東南アジア諸国の事例で—	1,000 円
ミャンマーにおける女性の地位	1,000 円
インドにおける生涯にわたる健康とジェンダー	1,000 円
インドの経済開発と再生可能エネルギー利用—女性の社会的役割の増大する中で—	1,000 円
女性労働者の非正規化に関する日韓比較 —労働市場と女性政策、職場のジェンダー構造化の分析—	非売品
「法」・「貧困」・「ジェンダー」：法多元主義と正義へのアクセス	非売品
フィリピンとミャンマーにおける、若者および女性を対象とした HIV / AIDS 対策に関する調査研究	非売品
「権利をよりどころにするアプローチ」の展開とアジアの女性のエンパワメント	非売品
大連市に進出の日本企業における現地採用女性従業員の労働実態と企業の社会的責任	非売品
表現アートセラピーを応用したリサーチ手法の可能性 —人身売買被害者の「<ほんもの>の語り」—	非売品
東北アジアにおけるジェンダー予算の動向—日本、韓国、台湾を事例として	非売品
中央アジア諸国におけるコミュニティ研究—ジェンダーの視点から— (ウズベキスタン、タジキスタン、カザフスタン、キルギスの事例より)	非売品
自治体の入札・契約におけるポジティブ・アクション評価による男女共同参画推進に 関する比較研究	非売品

## 起業家シリーズ

私の起業体験—きたきゅうしゅう・ふくおかの女性起業家たち—	1,000 円
アジアの女性起業家	1,000 円
Women Entrepreneurs in Selected Asian Countries	1,000 円

### アジア女性シリーズ

No. 1 「中国の女性」	1,000 円
No. 2 「スリランカの女性」	1,000 円
No. 3 「インドネシアの女性」	1,000 円
No. 4 「韓国の女性」	1,000 円
No. 5 「フィリピンの女性」	1,000 円
No. 6 「バングラデシュの女性」	1,000 円
No. 7 「ベトナムの女性」	1,000 円
No. 8 「タイの女性」	1,000 円
No. 9 「中国の女性 (改訂版)」	1,000 円
No. 10 「シンガポールの女性」	1,000 円
No. 11 「マレーシアの女性」	1,000 円
No. 12 「インドの女性」	1,000 円

### 海外通信員レポート集

Vol. 1 (1991-1992)	500 円
Vol. 2 (1992-1993) 「家族教育と女性」	800 円 (売り切れ)
Vol. 3 (1993-1994) 「教育と女性」	800 円
Vol. 4 (1994-1995) 「女性と家族」	800 円
Vol. 5 (1995-1996) 「女性と労働」	800 円
Vol. 6 (1996-1997) 「女性とエンパワーメント」	800 円
Vol. 7 (1997-1998) 「女性とエンパワーメント」	800 円
Vol. 8 (1998-1999) 「女性と起業家」	800 円
Vol. 9 (1999-2000) 「高齢者と子ども」	800 円
Vol. 10 (2000-2001) 「環境と女性」	800 円
Vol. 11 (2001-2002) 「健康と女性」	非売品

### 中間階層の研究シリーズ

現代フィリピンにおける「中間階層」の研究	1,000 円
現代タイにおける「中間階層」の研究	1,000 円
現代インドネシアにおける「中間階層」の研究	1,000 円
現代マレーシアにおける「中間階層」の研究	1,000 円
現代シンガポールにおける「中間階層」の研究	1,000 円
東南アジアにおける「中間階層」の研究	1,000 円

### その他

Princess Sunflower	1,500 円
--------------------	---------

(2) ビデオ

国際理解のための教材ビデオ（解説書つき）	ライブラリー価格 10,000 円	通常価格
中国の子どもたち／スリランカのサボミちゃん		3,000 円（売り切れ）
素顔の韓国／ほほ笑みの国・タイ		3,000 円
インドネシアの子どもたち／共に生きるアジアの隣人		3,000 円（売り切れ）
陽気なフィリピンの子どもたち／手と手を結ぼう		3,000 円
こんにちはマレーシアの子どもたち／マレーシアってどんな国？		3,000 円
多文化社会の子どもたち／オーストラリアってどんな国？		3,500 円
シンチャオ こんにちはベトナム／ベトナムの子どもたち—いちばん大切なものはなに？—		3,500 円

※全て税込価格です。

出版物、ビデオを郵送する場合、送料が別途かかります。

海外とのネットワーク 100 カ国 3 地域 907 人 (2009 年 3 月末まで)

合計	907
国 (100)	901
地域 (3)	6

<b>アジア</b>	<b>22 カ国</b>	<b>644</b>
1	インド	50
2	インドネシア共和国	48
3	カンボジア王国	20
4	キプロス共和国	1
5	シンガポール共和国	29
6	スリランカ民主社会民主共和国	32
7	タイ王国	63
8	大韓民国	52
9	中華人民共和国	74
	(うち香港特別行政区)	3
10	ネパール王国	38
11	パキスタン・イスラム共和国	32
12	バングラデシュ人民共和国	41
13	東ティモール民主共和国	2
14	フィリピン共和国	79
15	ブータン王国	2
16	ブルネイ・ダルサラーム国	2
17	ベトナム社会主義共和国	18
18	マレーシア	34
19	ミャンマー連邦	7
20	モルディブ共和国	3
21	モンゴル国	11
22	ラオス人民民主共和国	6
<b>北米</b>	<b>3 カ国</b>	<b>59</b>
1	アメリカ合衆国	54
2	カナダ	4
3	ハイチ共和国	1
<b>中南米</b>	<b>14 カ国</b>	<b>36</b>
1	ウルグアイ東方共和国	4
2	コスタリカ共和国	2
3	コロンビア共和国	1
4	ジャマイカ	1
5	スリナム共和国	3
6	セントルシア	1
7	チリ共和国	4
8	ニカラグア共和国	1
9	パナマ共和国	3
10	パラグアイ共和国	1
11	ブラジル連邦共和国	4
12	ベレー共和国	6
13	ホンジュラス共和国	1
14	メキシコ合衆国	4
<b>欧州 (NIS 諸国を含む)</b>	<b>14 カ国</b>	<b>28</b>
1	英国 (グレート・ブリテン及び北アイルランド連合王国)	7
2	イタリア共和国	2
3	オランダ王国	3
4	キルギス共和国	2
5	コソボ	1
6	タジキスタン共和国	2
7	チェコ共和国	1
8	デンマーク王国	1
9	ドイツ連邦共和国	2
10	フィンランド共和国	1

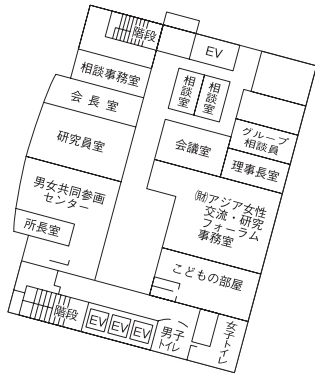
11	ボスニア・ヘルツェゴビナ	3
12	ポルトガル共和国	1
13	マケドニア旧ユーゴスラビア共和国	1
14	ロシア連邦	1
<b>大洋州</b>	<b>8 カ国</b>	<b>43</b>
1	オーストラリア連邦	16
2	サモア独立国	1
3	ソロモン諸島	1
4	バプアニューギニア独立国	13
5	パラオ共和国	1
6	バヌアツ共和国	2
7	フィジー諸島共和国	8
8	ミクロネシア連邦	1
<b>中東</b>	<b>7 カ国</b>	<b>25</b>
1	アフガニスタン	5
2	イエメン共和国	2
3	イラク共和国	1
4	イラン・イスラム共和国	3
5	シリア・アラブ共和国	1
6	トルコ共和国	5
7	ヨルダン・ハシミテ王国	8
<b>アフリカ</b>	<b>32 カ国</b>	<b>66</b>
1	アルジェリア民主人民共和国	1
2	ウガンダ共和国	4
3	エジプト=アラブ共和国	1
4	エリトリア国	1
5	ガーナ共和国	4
6	ガボン共和国	1
7	カメルーン共和国	2
8	ケニア共和国	8
9	コートジボワール共和国	3
10	コンゴ共和国	1
11	コンゴ民主共和国 (旧ザイール)	2
12	サントメ・プリンシペ民主共和国	1
13	ザンビア共和国	3
14	ジンバブエ共和国	2
15	スワジランド王国	1
16	赤道ギニア	1
17	セネガル共和国	1
18	タンザニア連合共和国	4
19	チャド共和国	2
20	中央アフリカ共和国	1
21	ナイジェリア連邦共和国	3
22	ニジェール共和国	4
23	ブルキナファソ	2
24	ブルンジ共和国	1
25	ベナン共和国	1
26	ボツワナ共和国	1
27	マダガスカル共和国	1
28	マラウイ共和国	4
29	マリ共和国	2
30	南アフリカ共和国	1
31	モーリシャス共和国	1
32	モーリタニア・イスラム共和国	1
<b>地域</b>	<b>3 地域</b>	<b>6</b>
1	イギリス領ヴァージン諸島	1
2	台湾	4
3	パレスチナ (P L O)	1

## 施設案内

北九州市大手町ビルは地上10階、地下2階建てで、平成7年7月に開館しました。

1階から5階までが北九州市立男女共同参画センター“ムーブ”で、財団法人アジア女性交流・研究フォーラムは3階に入居しています。

### 3階 FLOOR GUIDE



### 主な施設

- 9・10F 北九州市立大手町練習場
- 8F 北九州市人権推進センター
- 6・7F 財団法人国際東アジア研究センター
- 5F
- 4F
- 3F 財団法人アジア女性交流・研究フォーラム
- 2F
- 1F
- B1・2F 地下駐車場（有料・100台収容）

北九州市立  
男女共同  
参画センター  
“ムーブ”



## アクセス

- JR西小倉駅より 徒歩約15分
- 西鉄バス（九州厚生年金会館・ムーブ前下車）
  - ・小倉駅バスセンター
    - のりば1 急行（南朽網・昭和池入口）  
①10 ①34 ①38
    - のりば3 ④5
    - のりば4 ②7
    - のりば8 都心周遊（内回り・外回り）
  - ・西小倉駅前 急行（南朽網・昭和池入口）  
④5 ⑦6 ⑦9 ①10 ①34 ①38
  - ・西小倉駅 都心周遊（内回り）
- 北九州都市高速道路  
勝山ランプ/大手町ランプより約3分



※北九州市立男女共同参画センター“ムーブ”に関するお問い合わせは、

TEL 093—583—3939

FAX 093—583—5107



**ANNUAL REPORT**  
**April 2008 – March 2009**

**Kitakyushu Forum on Asian Women**  
**(KFAW)**

# Table of Contents

## Overview of the Kitakyushu Forum on Asian Women (KFAW)

Establishment Prospectus .....	62
Purpose .....	63
Activities .....	63
Organization .....	63
Number of Staff .....	64
Members of the Management Team .....	64
Management and Operations .....	66

## Main Projects in Fiscal Year 2008

General Accounting Projects .....	73
Survey and Research Projects .....	74
Exchange and Training Projects .....	76
Information Exchange Projects .....	79
Management Projects .....	82
Special Account Projects .....	85
Special Account for International Training Projects .....	86
Special Account for Managing and Operating Kitakyushu Municipal Gender Equality Center Projects .....	87
Special Account for Independent Projects of the Kitakyushu Municipal Gender Equality Center .....	99
Special Account for Maintenance and Management of the Kitakyushu Otemachi Building .....	99
Use of the Kitakyushu Municipal Gender Equality Center (Move) .....	100

## Financial Statements

Summary Table of Revenues and Expenditures .....	104
Summary Table of Changes in Net Worth .....	105
Balance Sheet .....	106
Summary Table of Footnotes for Financial Statements .....	107

## Documentation

History of Kitakyushu Forum on Asian Women (KFAW) .....	110
List of Publications .....	121
Overseas Networks .....	125
Location and Facilities .....	126

# **Overview of the Kitakyushu Forum on Asian Women (KFAW)**

## **Establishment Prospectus**

In the international community today, efforts are underway on a global scale to realize world peace and enhance the well-being of humankind.

During the United Nations Decade for Women, following the International Women's Year in 1975, global scale activities to advance the status of women were vigorously carried out with the goals of creating "equality, development and peace," based on the idea that a nation's overall development and the welfare and peace of the world require social participation by both men and women in all areas. Today, however, many problems remain to be solved when it comes to advancing the actual status of women. Therefore, the spirit of the United Nations Decade for Women has been carried forward to the present, and all over the world efforts are underway in line with the Nairobi Forward-looking Strategies for the Advancement of Women, adopted with the target year of 2000 at the Nairobi Conference in 1985.

When talking about women's issues, we refer to various forms of disadvantages and inequalities that befall women simply because of their gender. Women's issues therefore concern basic human rights and human dignity. In this sense, women's issues affect not only women, but society as a whole. Women's issues are universal. From such a standpoint, there is a need to reform the current society in which women's views have rarely been reflected into one that strongly encourages joint participation by both sexes. In developing countries, the promotion of national development and women's participation in such development has become issues of great importance.

With the recognition of the significance of women's issues, and based on various activities carried out since the International Women's Year, the Kitakyushu Forum on Asian Women (KFAW) began its activities with the Hometown Revitalization Plan of the City of Kitakyushu. Since then, KFAW has been conducting research, collecting and disseminating information on women's issues in Japan and the rest of Asia, offering training programs for human resource development in developing countries, and organizing international exchange programs to promote mutual understanding. KFAW, thus, has assumed a central role in advancing the status of women and promoting solidarity and development in the Asian region.

As interdependency in the international community grows stronger, and Japan's role therein becomes increasingly important, we must deepen our awareness of the mission and significance of KFAW and its activities. Accordingly, KFAW has become a foundation to further improve its activities and clarify the meaning of women's issues in Japanese society, and contribute to the advancement of the status of women in Asia, as well as achieve the goals of the International Women's Year: "Equality, Development and Peace" (from the KFAW Charter drawn up in 1993).

## Purpose

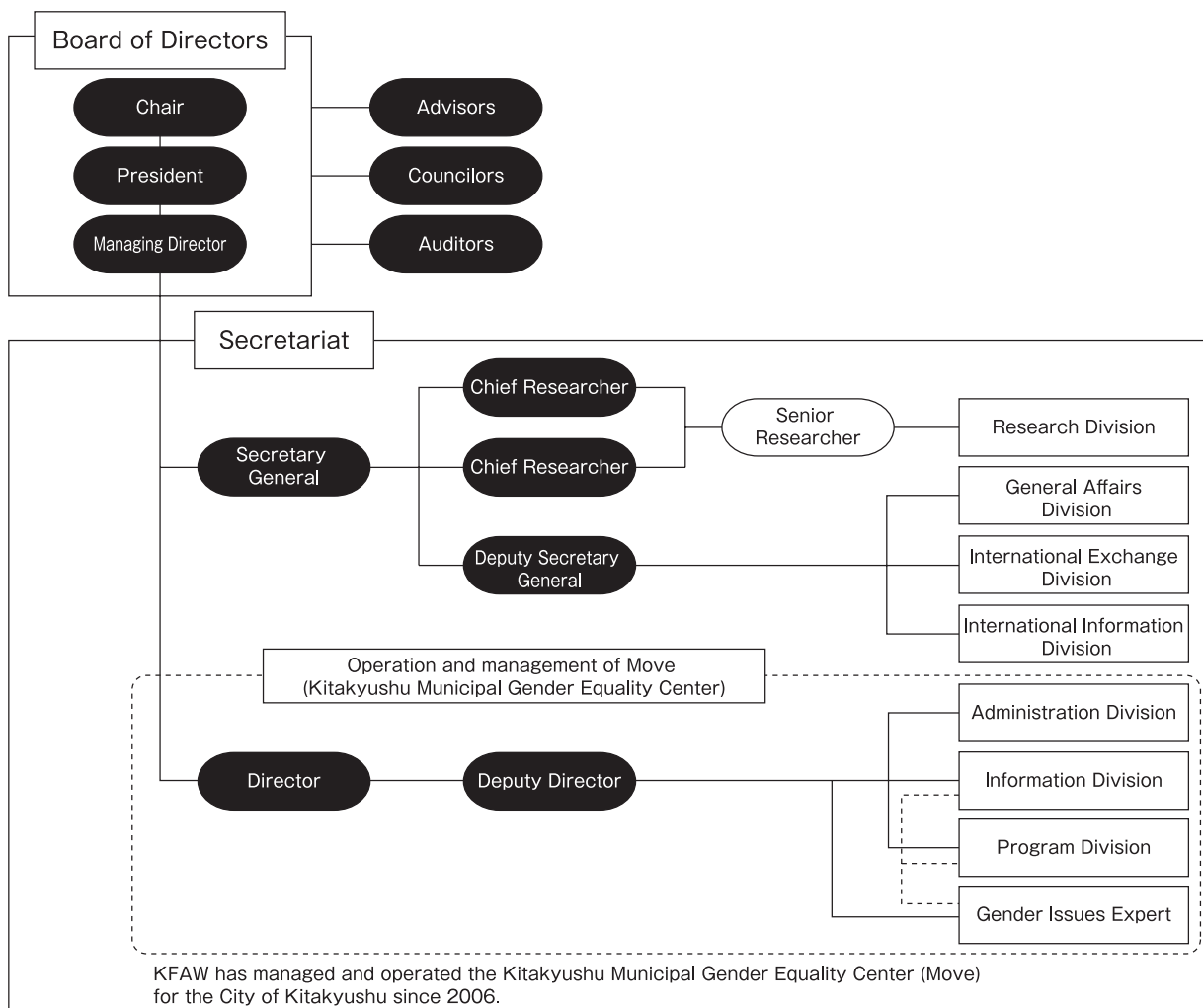
KFAW aims to promote a gender-equal society, improve women’s status and develop women’s solidarity through research projects and international exchange programs on women’s issues in Japan and other Asian countries, and contribute to the achievement of the goals of the International Women’s Year: “Equality, Development and Peace.”

## Activities

KFAW carries out the following activities.

- (1) Conducts surveys and research projects on various aspects of gender and gender equality
- (2) Organizes international exchange programs and seminars on various aspects of gender and gender equality
- (3) Collects and disseminates information on various aspects of gender and gender equality
- (4) Carries out the management and administration of the Municipal Gender Equality Center
- (5) Conducts other projects to achieve the mission of this foundation

## Organization



## Number of Staff

Division	President* <sup>2</sup>	Managing Director* <sup>3</sup>	General Manager	Director	Staff	Total
City officials (Secondment)		1	2	5	2	10
Move staff* <sup>1</sup>		0	1	2	0	3
Permanent staff				1	0	1
Move staff* <sup>1</sup>				0	0	0
Temporary staff	1		2	2	17	22
Move staff* <sup>1</sup>	1			2	14	17

※1 Staff engage in managing and operating the Kitakyushu Municipal Gender Equality Center (Move).

※2 The President also holds the post of Head, Kitakyushu Municipal Gender Equality Center (Move).

※3 The Managing Director also holds the post of Secretary General for the Secretariat.

## Members of the Management Team

As of FY 2008

### Chair

Yoshiko Misumi                      Chair, Kitakyushu Forum on Asian Women

### President

Kuniko Yoshizaki                      President, Kitakyushu Forum on Asian Women

### Managing Director

Hirofumi Nagaoka                      Executive Director, Child and Domestic Affairs Bureau, City of Kitakyushu

### Directors

Chihoko Asada                      Deputy Mayor, City of Kitakyushu  
 Kenji Imaoka                      President, Council of Kitakyushu Parents and Teachers Associations  
 Mihoko Ejiri                      Professor Emeritus, Tsuda College  
 Hideaki Kasahara                      Managing Director, Kyushu International Center (JICA)  
 Keiko Kawasaki                      President, Society of Women Managers of Public Schools in Kitakyushu  
 Yuki Kubota                      Committee Member, Kitakyushu Board of Education  
 Shozo Kobayashi                      Chief Executive Officer, Kitakyushu YMCA  
 Stephanie A. Weston                      Professor, Fukuoka University  
 Keiko Tamura                      Professor, The University of Kitakyushu  
 Kaname Tsutsumi                      President, NPO Asia Women's Center  
 Tomoko Doi                      Chair, Council of Women's Groups of Kitakyushu

Yoshiko Tomiyasu	Representative, Kitakyushu Women's Association for a Better Aging Society
Toshiko Hirata	Fourth Term Chair, Kitakyushu Municipal Gender Equality Deliberative Council
Sakiko Fujioka	President, UNIFEM Kitakyushu President, Kitakyushu Council of Day Nurseries
Mitsuko Horiuchi	Visiting Professor, Bunkyo-Gakuin University
Koji Morishima	Director General, NHK Kitakyushu
Toshifumi Yada	President, The University of Kitakyushu

#### Auditors

Masato Akashi	Managing Director and Kitakyushu Administrative Headquarters Executive General Manager, The Bank of Fukuoka, Ltd.
Keiichi Hikita	Chief Executive, Accounting Office, City of Kitakyushu

#### Advisors

Wataru Aso	Governor, Fukuoka Prefecture
Kenji Kitahashi	Mayor, City of Kitakyushu
Hisako Takahashi	Former President of KFAW Former Justice of the Supreme Court
Hiroko Hara	Former Chair of KFAW

#### Councilors

Kazuyoshi Iino	President, Kitakyushu Junior Chamber, Inc.
Chiyoko Ikedome	Vice-Chair, Council of Women's Groups of Kitakyushu
Teruaki Ushiro	President, Higashichikushi Gakuen Educational Foundation
Katsurako Uto	Director, International Women's Research Society (Ms. Wing)
Nobuyasu Kariu	Corporate Officer, Corporate Group, Business Promotion Group, TOTO LTD.
Michiko Kanda	President, National Women's Education Center, Japan
Chieko Sakamoto	Former President, Soroptimist International of Kitakyushu
Michiko Shinoda	Former President, Soroptimist International of Kitakyushu-Minami
Norikazu Shimizu	President, Kyushu International University
Yu Shimokawa	Former President, Soroptimist International of Kitakyushu-Higashi
Teruo Shimomura	President, Kyushu Institute of Technology
Kimiko Shimoyama	Chief Secretary, Council of Women's Groups of Kitakyushu
Sumitoshi Sonoda	Senior Manager, Personnel Development, Yaskawa Electric Corporation
Kazuko Tanaka	Representative, Our Asian Seminar Club
Hiroko Toyokawa	President, Kitakyushu Ms. 21 Committee Association
Hiroko Nakamura	Former President, Zonta Club of Kitakyushu
Kaoru Hara	Former President, Soroptimist International of Kitakyushu-Nishi
Kumiko Bandou	Director General, Gender Equality Bureau, National Cabinet Office
Keiko Higuchi	Literary critic and Representative Secretary General, NPO Women's Association for a Better Aging Society

Nobuo Fukuda	Director, Kitakyushu Chamber of Commerce and Industry
Shinji Fujimoto	Bureau Chief, NPO Kitakyushu Association of Promoting Healthy Housing
Akiko Matsui	Former President, National Federation of Business and Professional Women's Club of Japan, Kitakyushu Club
Sawako Matsumura	Executive Director, Council of Women's Groups of Kitakyushu
Yasunori Miyama	President, Seinan Jo Gakuin University and Junior College
Masako Moriyama	President, Kitakyushu Liaison Council of Women's Groups President, Council of Women's Groups of Kitakyushu
Mitsuko Yamaguchi	Executive Director, Fusae Ichikawa Memorial Association
Nobuyuki Yamasaki	President, Kyushu Women's University
Shoichi Yamashita	Director, The International Centre for the Study of East Asian Development
Hiroki Watanabe	Branch Manager, Mizuho Bank, Ltd.

## Management and Operations

### 1. Board of Directors Meeting

#### 1<sup>st</sup> Board of Directors Meeting

Date	May 28 (Wednesday), 2008 13:45-15:15
Venue	Kitakyushu Municipal Gender Equality Center (Move)
Number of Participants	18 persons (Including eight by proxy)
Agenda	Election of councilors Report on completed projects and closing accounts for FY 2007 Establishment of evaluation system preparatory committee and election of members
Result of Meeting	All agenda items were approved.

#### 2<sup>nd</sup> Board of Directors Meeting

Date	March 27 (Friday), 2009 14:05-16:00
Venue	Kitakyushu Municipal Gender Equality Center (Move)
Number of Participants	17 persons (Including seven by proxy)
Agenda	Election of councilors Partial revision of office regulations Operational plan and budget for FY 2009
Result of Meeting	All agenda items were approved.

#### Extraordinary Board of Directors Meeting

Date	March 27 (Friday), 2009 16:00-16:15
Venue	Kitakyushu Municipal Gender Equality Center (Move)
Number of Participants	14 persons (Including nine by proxy)
Agenda	Election of the President and Managing Director Commission of advisors

Result of Meeting All agenda items were approved.

## 2. Board of Councilors Meetings

### 1<sup>st</sup> Board of Councilors Meeting

Date May 28 (Wednesday), 2008 13:30-15:15  
Venue Kitakyushu Municipal Gender Equality Center (Move)  
Number of Participants 28 persons (Including 17 by proxy)  
Agenda Election of directors  
Report on completed projects and closing accounts for FY 2007  
Establishment of the evaluation system preparatory committee and  
election of members  
Result of Meeting All agenda items were approved.

### 2<sup>nd</sup> Board of Councilors Meeting

Date March 27 (Friday), 2009 13:50-16:00  
Venue Kitakyushu Municipal Gender Equality Center (Move)  
Number of Participants 25 persons (Including 16 by proxy)  
Agenda Election of directors and auditors  
Partial revision of office regulations  
Operational plan and budget for FY 2009  
Result of Meeting All agenda items were approved.



# **Main Projects in Fiscal Year 2008**

FY 2008, which marked the 15<sup>th</sup> anniversary of the founding of the Kitakyushu Forum on Asian Women (KFAW), offered an opportunity to learn about the current status of women in the Asia-Pacific region by inviting the former representative of the Asia Pacific Women's Watch (APWW).

Programs designed with a focus on public participation, such as workshops by KFAW college participants, were held during the 19<sup>th</sup> Kitakyushu Conference on Asian Women, which was organized with food as its theme. In addition, the Japan-Korea International Seminar was jointly held with the Chungnam Women's Policy Development Institute in the Republic of Korea in conjunction with the Kitakyushu Conference on Asian Women, as part of KFAW's development of overseas focal points, which is included in the Foundation's Plan.

## **Projects and Activities under General Accounting**

### *Survey and Research Projects*

- (1) Conduct of six research projects by three KFAW researchers and three groups of visiting researchers.
- (2) Publication of the *Journal of Asian Women's Studies*, Vol. 17 (English) and *Ajia Josei Kenkyu*, Vol. 18 (Japanese).
- (3) Implementation of the Kitakyushu Education for Sustainable Development (ESD) project. KFAW has acted as the administrative office since 2006.
- (4) Preparation to establish a network of researchers working on gender issues in Kitakyushu and its environs.

### *Exchange and Training Projects*

The 19<sup>th</sup> Kitakyushu Conference on Asian Women was organized under the theme of "Eat the Earth, Eat on the Earth," where discussions and workshops were held to determine if the impact of food problems, even though it should be an equal, safe and necessary resource for the human race, is the same for both men and women.

### *Information Exchange Projects*

KFAW published its newsletter, *Asian Breeze*, and carried out the Foreign Correspondents' program in its efforts to collect and disseminate information primarily on countries in the Asia-Pacific region. Former overseas correspondents were invited to Japan to speak with Kitakyushu's residents and deliver presentations on the status of women in their countries. In addition to international cooperation, KFAW also organized the "KFAW College," a seminar that presents the latest information on a wide-variety of topics and worked to increase people's understanding of international society, as well as develop human resources that look at the world from a global perspective.

## **Projects and Activities under Special Accounting**

### *Special Account for International Training Projects*

KFAW conducted the 7<sup>th</sup> Seminar on Gender Mainstreaming Policies for Government Officers and the 4<sup>th</sup> Seminar on Gender Perspectives in Environment and Development, which were commissioned by the Japan International Cooperation Agency (JICA) Kyushu International Center.

*Special Account Project for the Management and Operation of the Kitakyushu Municipal Gender Equality Center*

KFAW managed and operated the Kitakyushu Municipal Gender Equality Center (Move) on behalf of the City of Kitakyushu.

*Special Account for Maintenance and Management of the Kitakyushu Otemachi Building*

KFAW managed the Kitakyushu Otemachi Building with the exception of floors occupied by the Kitakyushu Municipal Gender Equality Center (Move).



# **General Accounting Projects**

# Survey and Research Projects

## 1. Survey and Research Projects

### (1) Joint research on “Family Policies and Gender in East Asia”

Both the family, which is the base of society, and regional society have undergone a major transformation in Japan, Korea, Taiwan and China within the context of rapid economic growth, which has led to changes in people’s lifestyles. As well, the advocacy of women who are demanding equality for both men and women is being expressed in society through various channels. This has led to an eruption of a new phenomenon in family dynamics, such as changes in the increase of women in the workforce, lower birthrates, childcare environments, increases in divorce and single parent families, increases in the elderly population and evident problems with health and care, as well as family’s involvement in the final stages of a person’s life, and has resulted in a rapid response of political actions.

Carrying out comparative research on family policies in East Asia, this research project attempts to gain an understanding of these new phenomena and places a focus on the development and content of family policies, as well as women’s movements that have or attempt to have an impact on these policies. In FY 2008, researchers delivered reports on the relationship between family registers, the revision of laws on families and civic movements, policies to improve the environment for raising children to increase total birth rates, and the background and framework of the care insurance system that was introduced in July 2008 in Korea. Research on the analysis of the sudden increase of international marriages and family policies in Taiwan was also carried out.

As a result of inadequate discussions, only research reports for Japan were submitted on the planned research on the current situation of domestic violence and policy changes in each country.

The joint research project members are:

China Mr. Gui Shi Xun, Lifelong Professor, Institute of Population Study, East China Normal University

Ms. Wang Zhenyu, Chief Researcher, Chinese Academy of Social Sciences Institute of Sociology

Two other researchers from the Women’s Study Institute, All-China Women’s Federation

Korea Ms. Byun Wha-Soon, Senior Fellow, Korean Women’s Development Institute

Ms. Seungah Hong, Researcher, Korean Women’s Development Institute

Taiwan Ms. Hsiao Hung Nancy Chen, Professor, National Chengchi University

### (2) Survey and research activities

KFAW researchers conducted the following survey and research activities.

#### ① “Global Warming and Gender with a Focus on Health Impacts”

Information on research and practical activities on the impacts of global warming, including health, was collected and analyzed. The outcomes of this research were utilized in training programs commissioned by JICA and other KFAW activities.

#### ② “Mainstreaming Gender in ESD”

Survey and research activities were conducted on the methods of and approaches to mainstreaming

gender in ESD (Education for Sustainable Development), in cooperation with researchers and practitioners concerned. The results of the activities were utilized in ③ and ④.

③ Support to the ESD activities in Kitakyushu

The Research Division has played a central role in the ESD activities since the preparatory stage of establishing the Kitakyushu ESD Council. In FY 2008, various activities were conducted as a member of Survey and Research Team of the Council and a responsibility of coordinating the RCEs (Regional Centres of Expertise) in the Asia-Pacific region was fulfilled as a representative of RCE Kitakyushu.

④ Other activities

The researchers presented papers and gave talks at the 19<sup>th</sup> Kitakyushu Conference on Asian Women, academic meetings in Japan and overseas, seminars and workshops, and published papers and articles.

## 2. Preparation for the Establishment of the KFAW Asian Researchers Network

KFAW carried out preparations to establish a network of researchers working on gender issues in Kitakyushu and its environs, in order to strengthen its function as a think tank.

## 3. Visiting Researchers

KFAW invited visiting researchers to enhance its research activities.

Ms. Reina Ichii, Research Associate, Centre for Work and Life, University of South Australia  
“Gender Sensitive Budgeting: Issues and Approaches in Japan, Korea and Taiwan”

Ms. Junko Otani, Associate Professor, Graduate School of Human Sciences, Osaka University  
“Empirical Study on Community and Gender in Central Asia: Uzbekistan, Tajikistan, Kazakhstan and Kyrgyz”

Mr. Harumichi Yuasa, Vice President, Kyushu International University  
“A Comparative Case Study on the Promotion of Gender Equality Policies: Evaluation on the Positive Action in the Bidding System of Japanese Local Governments”

### Activities

April/June 2008	Organization of Visiting Researchers Meeting
November 2008	Presentations on the research projects delivered at the 19 <sup>th</sup> Kitakyushu Conference on Asian Women
December 2008	Publication of reports in the <i>Journal of Asian Women's Studies</i> , Vol. 17 (Otani)
March 2009	Publication of reports in <i>Asia Josei Kenkyu</i> , Vol. 18 (Ichii, Otani and Yuasa)
March 2009	Submission of final reports

## 4. Publication of Journals

Two research journals were published. These journals included papers from overseas and local researchers as well as KFAW researchers, and offered opportunities to publish and discuss studies about women in Asia and other countries.

*Journal of Asian Women's Studies* (English), Vol. 17 on the theme of "Welfare and Gender"  
published in December 2008 (400 copies)

*Asia Josei Kenkyu* (Japanese), Vol. 18 on the theme of "Science and Gender"  
published in March 2009 (600 copies)

## Exchange and Training Projects

### 1. The 19<sup>th</sup> Kitakyushu Conference on Asian Women

#### (1) Outline

The 19<sup>th</sup> Kitakyushu Conference on Asian Women was held in Kitakyushu over a period of two days from November 15 (Saturday) to 16 (Sunday), 2008 under the theme of "Eat the Earth, Eat on the Earth" as an international meeting to link Kitakyushu and other parts of Asia.

This year, focus was placed on two topics: food safety, including a close-up on pesticide residues, BSE, false labeling of food origins and chemical contamination; and imbalances in global food resources epitomized by hunger in developing countries. A panel discussion was convened to determine if the impact of food issues is the same for both men and women, even though all people should have equal and safe access to food, a necessary and indispensable resource for the human race.

Following this, workshops were held which discussed the issues raised during the panel discussion, and the Japan-Korea International Seminar was organized with the Chungnam Women's Policy Development Institute (CWPD) under the theme of "Female International Migrants' Current Status of Cultural Conflicts and Health Problems in Japan and ROK."

On the second day of the conference, an international symposium and a seminar to report the outcomes of research activities were organized by KFAW's researchers and visiting researchers.

An audience of 620 people participated in the conference.

#### (2) Panel Discussion

Theme	"Eat the Earth, Eat on the Earth"
Coordinator	Ms. Etsuko Kita, President, The Japanese Red Cross Kyushu International College of Nursing; Advisor, the Association of World Food Programme (WFP)
Panelists	Mr. Ramesh Jain, Former Officer, Food and Agriculture Organization (FAO) Ms. Sachiko Tabara, President, Green Co-op Fukuoka Ms. Mihee Hong, Director, Incheon Gender Policy Center

#### (3) Workshops

- ① "Food Today and Our Future" by Ms. Mayumi Yonemitsu, Nursing Teacher, Nishinippon Institute

of Technology

② “Power to Recover ‘Our Food’: How to Overcome Food Imbalances” by Mr. Daisuke Fujii, Assistant Professor, Faculty of International Relations, Kyushu International University

③ “Flying Foods” by KFAW College participants

#### (4) The Japan-Korea International Seminar

Theme “Female International Migrants’ Current Status of Cultural Conflicts and Health Problems in Japan and ROK”

Coordinator Mr. Chung Nam Cho, Professor, Department of Politics, Korea University

Presenter ① Ms. Young-Joo Kim, Researcher, CWPDI

“Female Migrants’ Cultural Conflicts and Their Strategy of Coping with It as It Is Related to Food”

Discussant Ms. Yukari Yamashita, Representative, Global Life Support Center

Presenter ② Ms. Yuko Ohara-Hirano, Associate Professor, Faculty of Medical Science, Kyushu University

“The Health Problems of the Aged Koreans in Japan”

Discussant Ms. Kyoung-Hee Moon, Researcher, CWPDI

#### (5) International Symposium

Theme “Families Now in East Asia: Work, Marriage, Child Care, and Care for the Elderly”

Moderator Ms. Masami Shinozaki, Chief Researcher, KFAW

Panelists Mr. Gui Shi Xun, Lifelong Professor, Institute of Population Study, East China Normal University

Ms. Hsiao Hung Nancy Chen, Professor, National Chengchi University

Ms. He Jian Hua, Researcher, Women’s Study Institute, All-China Women’s Federation

Ms. Seungah Hong, Researcher, Korean Women’s Development Institute

Ms. Masami Shinozaki, Chief Researcher, KFAW

#### (6) Reports on KFAW Research Activities

Moderator Ms. Yukiko Oda, Chief Researcher, KFAW

① “A Comparative Case Study on the Promotion of Gender Equality Policies: Evaluation on the Positive Action in the Bidding System of Japanese Local Governments”

Mr. Harumichi Yuasa, Vice President, Kyushu International University

② “Empirical Study on Community and Gender in Central Asia: Uzbekistan, Tajikistan, Kazakhstan and Kyrgyz”

Ms. Junko Otani, Associate Professor, Graduate School of Human Sciences, Osaka University

Mr. Takuzo Osugi, Co-Researcher, KFAW; Assistant Professor, Graduate School of Social and Cultural Studies, Kyushu University

Ms. Asuka Kawano, Co-Researcher, KFAW; Assistant Researcher, Graduate School of Humanities and Social Sciences, University of Tsukuba

③ “Gender Sensitive Budgeting: Issues and Approaches in Japan, Korea and Taiwan”

Ms. Reina Ichii, Research Associate, Centre for Work and Life, University of South Australia

Ms. Yasuko Muramatsu, Co-Researcher, KFAW; Professor-Emeritus, Tokyo Woman's Christian University

④ “Eco-business by Women's Groups in Gujarat, India—From the Perspective of ESD”

Ms. Masako Ota, Senior Researcher, KFAW

## 2. Seminar on Gender and Development

In commemoration of the 15<sup>th</sup> anniversary of the founding of KFAW, a lecture was organized with an invitation to the former representative of the Asia Pacific Women's Watch (APWW), an organization that works to improve the status of women in Asia and the Pacific.

Date	September 6 (Saturday), 2008 13:30-15:30
Topic	“The 15 <sup>th</sup> Anniversary of the Founding of the Kitakyushu Forum on Asian Women”
Lecturer	Ms. Pawadee Tonguthai (Former Representative, Asia Pacific Women's Watch (APWW), Associate Professor, Thammasat University, Thailand)
Venue	5 <sup>th</sup> Floor Seminar Room, Kitakyushu Municipal Gender Equality Center (Move)
Number of attendees	46

## 3. Exchange with Relevant Organizations for Developing Overseas Focal Points

KFAW carried out exchange with Chungcheongnam-do and the city of Incheon in Korea with an aim to find solutions to common issues in gender-related organizations overseas, improve the status of women, and create lasting networks (overseas focal points) to achieve a gender-equal society.

(1) Exchange activities with Chungnam Women's Policy Development Institute (CWPD)

① KFAW participated in an international meeting organized by CWPD and delivered a presentation about the current status of capacity development of women in Japan and Kitakyushu.

Date	June 25 (Wednesday), 2008
Venue	Baekseok University (Chungcheongnam-do, Korea)
Participant	Ms. Kuniko Yoshizaki (President, KFAW)
Topic	“Human Resources Development for Women: The Present Status and Career Development policies in Japan”

② Japan-Korea International Seminar organized with CWPD as a combined event with the 19<sup>th</sup> Kitakyushu Conference on Asian Women

Date	November 15 (Saturday), 2008
Venue	5 <sup>th</sup> Floor Main Seminar Room Kitakyushu Municipal Gender Equality Center (Move)
Topic	“Female International Migrants' Current Status of Cultural Conflicts and Health Problems in Japan and ROK”
Number of attendees	40

(2) Exchange activities with the city of Incheon

① Visit by and exchange with Incheon YWCA (11 people)

Date May 26 (Monday)-29 (Thursday), 2008

Places Ladies Yahata, *Genki no mori*, Prefectural Gender Equality Center *Asubaru*, other

② Invitation to Ms. Mihee Hong (Director, Incheon Gender Policy Center) as a panelist at the 19<sup>th</sup> Kitakyushu Conference on Asian Women

Date November 15 (Saturday), 2008

Venue 2<sup>nd</sup> Floor Hall

Kitakyushu Municipal Gender Equality Center (Move)

Contents Discussions held on the topics of food safety and imbalances in food resources from a gender perspective.

#### 4. Dispatching Staff Overseas

KFAW participated in the 53<sup>rd</sup> United Nations Commission on the Status of Women, gathered information at the UN and further developed its networks in order to promote the Forum's activities.

(1) 53<sup>rd</sup> United Nations Commission on the Status of Women (CSW)

Date February 27 (Friday)-March 6 (Friday), 2009

Venue New York, USA (UN Headquarters)

Theme "The equal sharing of responsibilities between women and men, including caregiving in the context of HIV/AIDS"

(2) Report at Side Event: Gender Equality and Care in Japan and the International Community

Date March 4 (Wednesday), 2009

Venue New York, USA (UN Headquarters)

Presenter Ms. Masami Shinozaki, Chief Researcher, KFAW

Theme "Necessity of East Asian Networks for Elderly Care"

Participants Approximately 80

## Information Exchange Projects

### 1. Publication of *Asian Breeze*

KFAW published the newsletter *Asian Breeze* in Japanese and English in order to provide information about women in the Asia-Pacific region and KFAW's activities. The newsletter helps people better understand women's issues and aids in networking with public organizations, research institutes and NGOs involved in women's issues in Japan and overseas.

Frequency of publication Three times a year

Vol. 53 (June 2008, Japanese and English)

Vol. 54 (October 2008, Japanese and English)

	Vol. 55 (February 2009, Japanese and English)
Number of copies	4,000 (Japanese) and 3,000 (English) per publication
Places distributed	Women's organizations, research institutions in Japan and overseas, foreign embassies in Japan, United Nations organizations, international organizations, and public facilities in Kitakyushu (Newsletter readers reside in 95 countries/regions.)

## 2. Foreign Correspondents (18<sup>th</sup> Term)

In order to expand KFAW's networks in other countries in the Asia-Pacific region and collect data on the status of women from overseas, KFAW publicly recruits foreign correspondents to write on a predetermined topic every year. To date, 236 foreign correspondents have participated in the program.

Highlights of their reports appear in *Asian Breeze* and on the KFAW website (<http://www.kfaw.or.jp/index.html.en/>).

Number of correspondents	Nine correspondents from nine countries
Topic for 18 <sup>th</sup> term	The elimination of all forms of discrimination and violence against the girl child
Tenure	May 2008–March 2009
Number of reports submitted	Minimum of three times during the tenure period

## 3. Projects to Promote International Understanding

As a first step to improve the status of women, in order to deepen mutual understanding with people from different walks of life and promote a sense of solidarity, KFAW organized two programs: the Foreign Correspondents' program and a program targeted towards young people.

### (1) Foreign Correspondents Program

From the pool of former foreign correspondents, two people were invited to Japan to visit elementary and high schools, participate in exchange programs with women's and international exchange groups, and deliver reports on their own countries.

Foreign Correspondents	Ms. Tehreem Hasan (Pakistan, Correspondent in the 11 <sup>th</sup> , 12 <sup>th</sup> , 16 <sup>th</sup> , and 18 <sup>th</sup> terms) Mr. Fairoz Ahmad (Singapore, Correspondent in the 16 <sup>th</sup> term)
Period	October 15 (Wednesday)-20 (Monday), 2008
Main exchange programs	Mitsusada Elementary School, City of Kitakyushu (110 third-year students) Mojigakuen High School, Fukuoka Prefecture (9 members of the ESS)
World report presentations	October 18 (Saturday), 2008 14:00-15:45
Theme	"Women's Status in Sports: Pakistan, Singapore and Japan"
Number of attendees	25

## (2) Cooking in English Program for Young People

A cooking class for junior and high school students was organized to allow participants to recognize that cooking is a necessary skill that should not be labeled as men's or women's work, as well as to give students an opportunity to learn English, which they are not able to use frequently in daily life. The class was led by an American man, who is the Coordinator for International Relations in the City of Kitakyushu. Following the taste testing after the class, the lecturer led a discussion on gender divisions of labor in the U.S.

Date	August 5 (Tuesday), 2008 10:00-14:00
Lecturer	Mr. Barrett Balvanz, Coordinator for International Relations, City of Kitakyushu
Number of attendees	21

## 4. KFAW College Seminar

KFAW has organized the KFAW College Seminar since 1998. The seminar, which provides up-to-date information on a wide range of international subjects, helps local residents improve their understanding of international issues and foster a global perspective.

This fiscal year, KFAW organized single lectures for the first through third sessions, and held "Facilitator Training Courses" from the fourth through eighth sessions.

Period	April 2008-November 2008
Number of times	Eight times

### Content

Times	Date and Time	Theme	Lecturer
1	April 26 (Saturday) 13:00-14:30	Report on participating in the 52 <sup>nd</sup> Session of the Commission on the Status of Women ~From the World to Kitakyushu and Kitakyushu to the World~	Ms. Kuniko Yoshizaki, President, KFAW
2	June 28 (Saturday) 13:00-14:30	What Color is Peace for Women? ~Thinking about Peace, Violence and Gender with Popoki ~	Ms. Ronni Alexander, Professor, Graduate School of International Cooperation Studies, Kobe University
3	July 26 (Saturday) 13:00-14:30	Peace by Women	Ms. Chiharu Takenaka, Professor, College of Law and Politics, Rikkyo University

4	August 30 (Saturday) 13:00-15:30	Our Workshop: 1 <sup>st</sup> Session ~Experiencing Workshops on Gender~	Ms. Michiko Sato, President, Educational Support Center
5	September 27 (Saturday) 13:00-15:30	Our Workshop: 2 <sup>nd</sup> Session ~Development of Workshops on Food from an International/ Gender Perspective①~	
6	October 4 (Saturday) 13:00-15:30	Our Workshop: 3 <sup>rd</sup> Session ~Development of Workshops on Food from an International/ Gender Perspective②~	
7	November 15 (Saturday) 15:00-17:00	Our Workshop: 4 <sup>th</sup> Session ~Workshop at the 19 <sup>th</sup> Kitakyushu Conference on Asian Women	
8	November 29 (Saturday) 13:30-15:30	Our Workshop: 5 <sup>th</sup> Session ~Looking Back on Previous Workshops~	

## 5. Purchase of Books and Reference Materials

KFAW purchased various materials on Asia and/or women.

Total number of books acquired: 36 books

Women's issues	30 books
International exchange (including topography)	3 books
Miscellaneous	3 books

## 6. Information System Management

As in the previous fiscal year, necessary security measures were taken to prevent viruses and hacking.

# Management Projects

## 1. Development of Annual Project Reports

The Annual Report, a yearly project report, was developed to be used in PR activities and as a record of the Forum's activities.

## 2. Promotion of the Forum Supporter System

Project management was carried out in cooperation with Forum supporters to promote Forum support activities.

## 3. Assistance to the United Nations Development Fund for Women (UNIFEM)

KFAW is a full member of the National Committee for UNIFEM Japan, and acts as the committee's vice-president and director. KFAW actively participated in activities to support the improvement of women's living standards and self-sufficiency in developing countries, and supported the activities of the UNIFEM Kitakyushu Local Committee, including the organization of charity bazaars, fundraising campaigns, and other events.

## 4. Enhancing the Support Member System

The Support Member System has been expanded to enhance KFAW's networks and strengthen its financial base.

Classification	Annual membership fee	Number of members	Number of entries
Individuals	¥3,000	128 members	131 entries
Groups	¥20,000	24 groups	25 entries
Students	¥1,500	9 members	9 entries

※ Half membership for new members entering after October.

## 5. Support for Activities of the Kitakyushu ESD Council

In order to promote the expansion of ESD activities to educate residents in Kitakyushu, KFAW acted as a coordinator between members and supported the activities of the Council as the Secretariat.

## 6. Other

In order to avail itself of an opportunity to promote cooperation with universities in the city, KFAW was in charge of one lecture session, "Kitakyushu Studies," at the University of Kitakyushu.

Date	December 5 (Friday), 2008
Venue	The University of Kitakyushu
Lecturer	Ms. Kuniko Yoshizaki, President, KFAW
Theme	Gender Equality in Kitakyushu
Number of attendees	102



# **Special Account Projects**

## Special Account for International Training Projects

As a part of a project to promote the status of women mainly in the Asia-Pacific region, KFAW conducted training courses from a gender perspective, which was commissioned by JICA Kyushu International Center.

### 1. 7<sup>th</sup> Seminar on Gender Mainstreaming Policies for Government Officers

(1) Commissioned by JICA Kyushu International Center, KFAW organized a seminar to assist governmental officials in the development of policies which mainstream gender into the development, implementation, and evaluation of policies in national and local governments of developing countries in Asia, Africa, South America, and Europe.

Date	21 days from June 20-July 18, 2008
Venue	JICA Kyushu International Center and other institutions
JICA Trainees	15 participants from 15 countries (Afghanistan, Bosnia and Herzegovina, Cambodia, Chile, Fiji, Haiti, India, Laos, Malawi, Mexico, Nepal, Nigeria, Papua New Guinea, Timor-Leste and Uruguay)

#### (2) Country Reports Presentation

Participants developed action plans based on training outputs, which were reported to Kitakyushu's residents.

Date	July 15 (Tuesday), 2008 13:00-17:00
Venue	5 <sup>th</sup> Floor Main Seminar Room Kitakyushu Municipal Gender Equality Center (Move)
Moderator	Ms. Reiko Ogawa, Associate Professor, Kyushu University Asia Center
Number of attendees	54 people

### 2. 4<sup>th</sup> Seminar on Gender Perspectives in Environment and Development

(1) As commissioned by JICA Kyushu International Center, KFAW provided training to solve environmental problems which are daily becoming more serious in developing countries. The purpose of this seminar was to define women's roles in global environmental protection and sustainable development, as well as to train those who can approach environmental issues from the perspective of global citizenship by incorporating a gender perspective.

Date	February 9 (Monday)-March 18 (Wednesday), 2009
Venue	JICA Kyushu International Center and other institutions
JICA Trainees	5 participants from 3 countries (China, Macedonia, and Niger)

#### (2) Country Reports Presentation

Participants developed action plans based on training outputs, which were reported to Kitakyushu's residents.

Date	March 17 (Tuesday), 2009 13:30-16:30
Venue	5 <sup>th</sup> Floor Main Seminar Room Kitakyushu Municipal Gender Equality Center (Move)
Moderator	Ms. Masako Ota, Senior Researcher, KFAW
Number of attendees	45 people

## **Special Account for Managing and Operating Kitakyushu Municipal Gender Equality Center Projects**

As a designated management body, KFAW has managed and operated the Kitakyushu Municipal Gender Equality Center (Move) which was established on July 1, 1995, and which aims at the creation of a gender-equal society.

The Kitakyushu Municipal Gender Equality Center (Move) is part of a facility complex established by the City of Kitakyushu in 1995, where various programs are carried out to promote the formation of a gender-equal society. The designated manager's system was instituted for the management and operation of Move in 2006, which has, since then, been carried out by KFAW. Within the Forum, the Move section carries out the management of Move's facilities, as well as the various programs organized there.

All of the following programs in the "Special Account for Managing and Operating Kitakyushu Municipal General Equality Center Projects" have been carried out by the Move section.

### **1. Projects**

Move organized various projects, such as Move Festa 2008 and independently-developed programs in order to support activities to create a gender-equal society. Move Festa 2008 was organized under the theme of "Drawing My Life in Different Colors: Movement towards Gender Equality for Future Generations." Symposiums, events, and lectures were held during Move Festa 2008, focusing on projects with public participation that actively support independent research and activities of residents.

#### **(1) Move Festa**

Date	July 1 (Tuesday)-30(Wednesday), 2008
Number of attendees	60,015 (Including 13,732 men)

##### ① Lecture and Discussion Session: My Work-Life Balance Color

Lecturer Mr. Koji Suzuki (Author), Ms. Yukiko Kobayashi (Television producer)

##### ② Event: "Tanabata Stage"

11 participating organizations

##### ③ Event: Jazz & Live Talk ~Balancing Swing and Life~

Performance Jazz concert: Swing Jazz Orchestra BLUE NOTES, Kyushu Dental College

Live Talk Mr. Shingo Hirashima (Student, Kyushu Dental College), Ms. Mana Hayakawa, Ms. Hideko Hayashi

Event members of the Executive Committee of Move Festa 2008

④ Projects Planned by Residents

Total number of projects: 128 (General/assisted projects: 76, Summer carnival: 13, Flea market: 39)

(2) Self-Development Projects

① Courses on Gender Issues

Courses on gender issues examined various gender issues through the organization of courses, lectures, and symposiums on gender equality and women's studies, and promoted measures to address these issues.

□ Course on Gender Equality 2008: Youth Today and Their Future

Date and time January 17 (Saturday)-March 20 (national holiday), 2009 14:00-16:00

Lecturers 1<sup>st</sup> course Mr. Hitoshi Ishida (Visiting Lecturer, International Christian University, other)  
2<sup>nd</sup> course Mr. Makoto Kumazawa (Professor Emeritus, Konan University; Representative, Workplace Rights Research Society)  
3<sup>rd</sup> course Ms. Chizuko Ueno (Professor, The University of Tokyo Graduate School)

Participation fee 200 yen/course

Total attendees 316

□ Course on Gender Equality 2008: Women Leaders: Designing My Career

Date and time February 28 (Saturday), 2009 14:00-16:00

Lecturer Ms. Takako Kojima (Associate Professor, Graduate School of Business Administration, Rikkyo University)

Participation fee 200 yen

Number of attendees 156

□ Seminars on Men's Lifestyles

Date and time December 6 (Saturday)-20 (Saturday), 2009 14:00-16:00

Lecturers 1<sup>st</sup> course: Mr. Nozomu Hayashi (Author, Bibliographer)  
2<sup>nd</sup> course: Mr. Tsuneo Sasaki (President, Toray Corporate Business Research, Inc.)  
3<sup>rd</sup> course: Mr. Kosuke Hasegawa (Associate Professor, Center for Education and Research in Lifelong Learning)

Participation fee 1<sup>st</sup> course free, 2<sup>nd</sup> and 3<sup>rd</sup> courses 200 yen /course

Co-organizer (1<sup>st</sup> course only)

Public Health and Welfare Department, Kokurakita Ward Office; Central Children's Counseling & Guidance Center; Council for the Promotion of Healthy Lives, Kokurakita Ward

Total attendees 580

□ Seminar on the Prevention of Sexual Harassment

Date and time January 22 (Thursday), 2009 13:30-16:15

Lecturers Ms. Reiko Inoue (Assistant Manager, Office for Employment Equality, Fukuoka Labor Bureau)  
Mr. Tadasu Imahori (Professor, Department of Literature, Seinan Gakuin University)

Co-organizer Kitakyushu Labor Welfare Office, Fukuoka Prefecture

Number of attendees 56

□ Move Incheon Day

Incheon-Move Exchange Café: Japan-Korea Youth Forum “Let’s Know Each Other” and welcoming ceremony for visiting group from Incheon Metropolitan City

Date and time August 2 (Saturday), 2008 15:00-16:20

Panelists Students from The University of Kitakyushu (Japanese and Korean students)

Cooperation International exchange organizations, Mugungwha and the Rose Society

Number of attendees 117

□ English Conversation Class for Empowerment

Date 1<sup>st</sup> session: May 9 (Friday)-August 5 (Tuesday), 2008

2<sup>nd</sup> session: October 1 (Wednesday), 2008- January 27 (Tuesday), 2009

Beginners: 14:00-15:30, Intermediate/Advanced 19:00-20:30

Contents 12 times in one session for each course, total of 72 classes

Course fee Beginner: 10,000 yen, Intermediate: 12,000 yen, Advanced: 15,000 yen

Total attendees 668

□ Move Language Classes: Looking at Asia

Date and time Chinese course: May 9 (Friday)-July 11 (Friday), 2008 19:00-20:30 Total of 10 times

Korean course: September 5 (Friday)-November 7 (Friday), 2008 19:00-20:30. Total of 10 times

Course fee 12,000 yen

Total attendees 163

② Lectures for Employment Support

Courses were developed for women who aim to re-enter the workforce and become entrepreneurs, and support was provided to women who wish to be financially independent in order to expand opportunities to find work.

□ Training for Women Entrepreneurs 2008

Date and time October 4 (Saturday) -19 (Sunday), 2008 10:00-17:00 Total of 5 times

Course fee 15,000 yen

Total attendees 133

□ Follow-up Seminar for Women Entrepreneurs

Date and time January 21 (Wednesday), 2009 14:00-15:30

Number of attendees 15

□ Counseling for Women Entrepreneurs

Date and time January 24 (Saturday), 2009 9:00-17:00

Co-organizer Organization for Small & Medium Enterprises and Regional Innovation,  
Kyushu Branch

Number of attendees 7

□ Course on Returning to the Workforce & Discussions with Women Taking on the Challenge of Re-employment in Business

Date June 18 (Wednesday)-19 (Thursday), 2008

Co-organizer Japan Institute of Workers' Evolution, Fukuoka Office

Total attendees 31

□ Re-employment Support Program

Date June 18 (Wednesday)-July 29 (Tuesday), 2008. Total of 9 times

Co-organizer Japan Institute of Workers' Evolution, Fukuoka Office

Total attendees 39

□ Re-employment Start-up Fair

Date and time August 26 (Tuesday), 27 (Wednesday), 2008 13:00-17:30

Co-organizer Mothers' Hello Work Kitakyushu

Venue Mothers' Hello Work Kitakyushu

Total attendees 460

□ Employment Fair for Women

Date and time August 2 (Saturday), 2008 13:00-17:30

Co-organizer National Council of Women's Centers

Subsidy from the national version of Microsoft's "UP Program for Women"

In cooperation with Mothers' Hello Work Kitakyushu

Shiseido Sales, Kyushu Branch, Kitakyushu Office, Operational Division  
Soin Healing Care

Number of attendees 28

□ Career Advancement Seminars for Working Women

Date and time September 4 (Thursday), 2008 13:30-17:00

Co-organizer Kitakyushu Labor Welfare Office, Fukuoka Prefecture

Number of attendees 52

□ Seminars to Support Women Returning to the Workforce

Date and time October 7 (Wednesday), 8 (Thursday), 2008 10:00-12:00

March 19 (Thursday), 2009 10:00-12:00

- |                 |   |
|-----------------|---|
| Co-organizer    | Kitakyushu Labor Welfare Office, Fukuoka Prefecture |
| Total attendees | 40  |
- Seminar on Labor Laws for Working People
- |                 |   |
|-----------------|---|
| Date and time   | October 15 (Wednesday)-29 (Wednesday), 2008 18:30-20:30. Total of 3 times |
| Co-organizer    | Kitakyushu Labor Welfare Office, Fukuoka Prefecture                       |
| Total attendees | 115   |
- Labor Management Seminars
- |                 |   |
|-----------------|---|
| Date and time   | February 10 (Tuesday)-February 24 (Tuesday), 2009 14:00-16:00 (First time: 14:00-15:30). Total of 3 times |
| Co-organizer    | Kitakyushu Labor Welfare Office, Fukuoka Prefecture   |
| Total attendees | 114   |
- Training on Enhancing Child-Care Support Measures after Returning to the Workplace
- |                     |   |
|---------------------|---|
| Date and time       | March 6 (Friday), 2009 13:30-16:10                  |
| Co-organizer        | Kitakyushu Labor Welfare Office, Fukuoka Prefecture |
| Number of attendees | 16  |
- Personal Computer Courses
- |                   |  |
|-------------------|--|
| Date              | April 1 (Tuesday), 2008-March 20 (Friday), 2009  |
| Contents          | General course (2 months) 38 lectures, 8 courses/period<br>One-day course Total of 19 lectures |
| Participation fee | General course: 13,000 yen / Special course: 4,000 yen   |
| Total attendees   | 4,888  |
- Computer Courses for Women
- |                 |   |
|-----------------|---|
| Date and time   | June 4 (Tuesday)-July 26 (Saturday), 2008<br>A Course Every Tuesday, 18:30-20:30<br>B Course Every Saturday 10:00-12:00 Total of 8 times/course |
| Co-organizer    | The National Council of Women's Centers<br>Subsidy from the national version of Microsoft's "UP Program for Women"                              |
| Total attendees | 207   |
- Computer Course for Immediate Use at Work
- |                   |   |
|-------------------|---|
| Date and time     | September 5 (Friday)-November 21 (Friday), 2008 18:30-20:30. Total of 12 times<br>December 6 (Friday), 2008-February 28 (Friday), 2009 18:30-20:30. Total of 12 times |
| Participation fee | Free (Texts/materials cost 2,000 yen.)  |
| Total attendees   | 327   |

- MOS Excel Level 3 Course
 

Date	October 2 (Tuesday), 2008-February 10 (Thursday), 2009. Total of 30 times
Participation fee	Free (Texts/materials cost 2,000 yen)
Co-organizer	Kitakyushu Mother and Child Welfare Center
Total attendees	156
  
- Computer Service Skill Evaluation Tests
 

Date	June 1 (Sunday), 2008-March 22 (Sunday), 2009
Contents	2 <sup>nd</sup> /3 <sup>rd</sup> levels of Excel (2 times) 2 <sup>nd</sup> level for Word (1 time), 3 <sup>rd</sup> level (2 times)
Total attendees	67
  
- Individual use of OA room
 

Date and time	Every Wednesday and Friday 14:00-16:00, Every Saturday 13:00-18:00
User fee	300 yen/2 hours
Total attendees	1,094

③ Lecture Courses on Experimental Living and Lifestyle Techniques

These courses facilitated the acquisition of skills through study and research in all fields of life, without being bound by gender roles.

- Refresher Courses for Moms
 

Date and time	1 <sup>st</sup> session: May 8 (Thursday)-July 3 (Thursday), 2008 2 <sup>nd</sup> session: September 4 (Thursday)-October 16 (Thursday), 2008 3 <sup>rd</sup> session: November 6 (Thursday)-December 25 (Thursday), 2008 4 <sup>th</sup> session: January 8 (Thursday)-February 19 (Thursday), 2009 6 times, each session (10:00-12:30)
Participation fee	3,000 yen (includes materials fee)
Total attendees	409
  
- Food Education Seminars for Fathers and Children
 

Date	August 24 (Sunday), 2008-January 25 (Sunday), 2009. Total of 6 times
Participation fee	Adults: 1,000 yen / Children: 500 yen /session
Co-organizer	(NPO) Research Institute on Improving the Environment for Men and Women in Raising Children
Total attendees	133
  
- Move Production Studio
 

Date	May 7 (Wednesday), 2008-March 4 (Wednesday), 2009 9 lectures/11 times
Contents	Wood workshop, plant dyeing, silver accessories, hand-weaving
Participation fee	2,000 yen-4,200 yen (includes materials fee)
Total attendees	173

- Private Use of Arts and Crafts Studio
 

Date and time	Generally held on the 2 <sup>nd</sup> , 3 <sup>rd</sup> , 4 <sup>th</sup> Wednesdays of each month, 9:30-17:00
User fee:	300 yen/2 hours
Total attendees	64

### (3) Support for Resident Activities and Partnership Projects

Through the promotion of information dissemination and exchange with organizations and groups involved in various activities and the facilitation of networking opportunities, Move supported new discoveries by individuals, organizations and groups using the Center, and encouraged independent and creative activities aiming at the formation of a gender equal society. Move also facilitated linkages and the development of projects with organizations carrying out public activities.

#### ① Move Supporter Program

- General Meeting of Move Supporters
 

Date and time	May 10 (Saturday), 2008 10:00-12:00
Number of attendees	39
  
- Course for Child Care Supporters
 

Date and time	February 18 (Wednesday), 2009 13:00-15:00
	February 25 (Wednesday), 2009 13:00-15:00
Total attendees	44
  
- Participation of Move supporters in the *Wasshoi Hyakuman* Summer Festival
 

Date and time	August 3 (Sunday), 2008 19:20-20:30
Number of attendees	90

#### ② Support for Residents' Activities and Cooperation

- Family Christmas in Kitakyushu
 

Date and time	December 20 (Saturday), 2008 10:00-12:00
Participation fee	200 yen/family
Co-organizer	(NPO) Research Institute on Improving the Environment for Men and Women in Raising Children
Number of attendees	128
  
- Understand the “Here and Now” of Raising Children ‘09
 

Date and time	March 1 (Sunday), 2009 12:00-17:40
Participation fee	500 yen (300 yen for Bee members)
Co-organizer	Kitakyushu Empowerment Center for Raising Children and Parents – Bee
Number of attendees	61

③ Informal Discussion Meeting for Kitakyushu-based Enterprises on Male-Female Participation in the Workforce

The Informal Discussion Meeting for Kitakyushu-based Enterprises on Male-Female Participation was established with the participation of local businesses, chambers of commerce and industry, the Federation of Small and Medium-sized Businesses, lawyers and academics, with an objective to promote gender equality in the workplace. Discussions were held on strategies to create a workplace environment where men and women can demonstrate his or her individuality and ability, regardless of sex, which were then put into practice.

Move organized the Kitakyushu Work-Life Balance Award, promoted training in offices, dispatched training lecturers and held seminars.

□ Kitakyushu Work/Life Balance Award

Date and time	March 13 (Friday), 2009 13:00-16:00
Contents	Keynote Speech “Breakthrough the Recession by Activating the Workplace through Work-Life Balance”
Lecturer	Mr. Naoki Atsumi (Senior Researcher, Fujitsu Research Institute) Talk relay Award recipients (5 organizations, 2 individuals)
Number of attendees	75

□ Business Seminar (Business Gathering to Examine Human Rights): Organized by the City of Kitakyushu

Date and time	February 28 (Saturday), 2009 14:00-16:00
Contents	Lecture: “Businesses and Human Rights: In pursuit of corporate social responsibility”
Lecturer	Mr. Akitsugu Tanaka (President, Osaka Society for the Promotion of Lifelong Learning)
Number of attendees	400

□ Training for Men and Women for Male-Female Participation in the Workforce

Date	May 27, 2008-March 3, 2009
Companies visited	11; total of 16 times
Total attendees	780

(4) Reproductive Health and Rights Projects

In order to support women’s activities, lectures were organized on “Reproductive Health and Rights,” which provided opportunities to acquire techniques and knowledge to maintain and improve mental and physical health in daily life, such as at home and in the workplace.

□ Lecture on Conditions Everyone Worries About: Prevention Measures for Incontinence and Pelvic Organ Prolapse

Date and time	September 20 (Saturday), 2008 Morning course: 10:30-11:30, Afternoon course: 13:00-14:00
Lecturer	Mr. Masayoshi Nomura (Assistant Director, Urology, Kyushu Rosai

Hospital)

Ms. Tamami Taniguchi (Director, Japan Continence Action Society)

Total attendees 202

□ Maternity Aerobics

Date and time 1<sup>st</sup> session May 13 (Tuesday)-June 10 (Tuesday), 2008  
2<sup>nd</sup> session July 1 (Tuesday)-August 5 (Tuesday), 2008  
3<sup>rd</sup> session November 11 (Tuesday)-December 9 (Tuesday), 2008  
4<sup>th</sup> session January 20 (Tuesday)-February 17 (Tuesday), 2009  
5 times, each session (13:00-15:30)

Participation fee 3,000 yen

Total attendees 316

□ Individual use of fitness room

Date and time Every Wednesday and Friday: 9:30-21:30, Sunday and Monday: 9:30-17:00

Usage fee 300 yen for 2 hours

Total attendees 7,751

(5) Counseling Programs

① General Counseling, Human Rights Counseling, Legal Advice

\* ( ) Indicates the number of inquiries from men

Type	Phone counseling	Face-to-face counseling	Total	
General counseling	1,982 (70)	415 (3)	2,397 (73)	3,143 (112)
Counseling on human rights	357 (29)	180 (6)	537 (35)	
Counseling on starting employment	12 ( 0)	53 (0)	65 ( 0)	
Legal advice	—	144 (4)	144 ( 4)	

※ Counseling on employment started in June 2008.

② Group Counseling (Support to Self-help Groups)

Support details Provision of venues and lockers, childcare, advice on group management, other.

Number of groups 4

③ Lectures, Other

□ Course on the Fundamentals of Law

Date and time May 17 (Saturday), 2008-February 21 (Saturday), 2009 14:00-16:00  
(Total: 5 times)

Lecturers                      Lawyers  
Total attendees              71

- Are you Savvy about Crime Prevention? Improve your Knowledge!: Course on safety  
Date and time              October 18 (Saturday), 2008 10:30-11:30  
Contents                      “Mistakes in Crime Prevention Measures”  
   Lecturer Mr. Noda Kenji (Crime prevention expert)  
   “Self-Defense”  
   Lecturer Mr. Kankichi Mizushima (Assistant Policy Inspector, Crime  
   Prevention Section, Safety Division, Kokurakita Police  
   Department)  
Co-organizer                  Kokurakita Police Department  
Number of attendees        22
  
- Special Project on Zero Tolerance of Violence to Women: Understanding Dating Domestic  
Violence  
Date and time              November 8 (Saturday), 2008 13:00-16:00  
Contents                      “Dating Domestic Violence”  
   Lecturer Ms. Harumi Etsu (Vice-Representative, DV Prevention Nagasaki)  
   “Actions to Prevent Dating Domestic Violence”  
   Lecturer Ms. Tomoko Ogura (Lawyer)  
Number of attendees        11
  
- Supporters Seminar “DV and Underlying Abuse – What support can you give?”  
Date and time              February 22 (Sunday), 2009 13:00-15:30  
Lecturer                      Ms. Sayoko Nobuta (President, Harajuku Counseling Center)  
Number of attendees        74

④ Hotline

- Women’s Human Rights Hotline  
Date and time              June 24 (Tuesday), 2008 10:00-17:00  
Co-organizer                  Fukuoka Lawyers Association  
Number of inquiries        23
  
- Hotline for Eliminating Violence against Women  
Date and time              November 25 (Tuesday), 2008 10:00-17:00  
Co-organizer                  Fukuoka Lawyers Association  
Number of inquiries        13

⑤ Panel Exhibitions, Other

- Panel exhibitions  
Panel exhibitions for Employment Opportunity Equality Month, Gender Equality Week  
Date                              June 1-30, 2008

Panel exhibitions for materials on violence against women

Date November 12-25, 2008

- Street campaign: “Movement to Eliminate Violence against Women”

Date and time November 14 (Friday) 16:00-

Contents Distribution of educational pamphlets

- Creation of handbook on “Understanding Dating Domestic Violence!”

Creation of educational handbook to promote understanding and prevention of dating violence for young people (students) (March 2009).

Number published 5,000

## 2. Information Dissemination Projects

To realize a gender-equal society, the Move library collected and provided books and materials, as well as information on individuals and organizations related to gender issues both within and outside of Japan.

In addition, Move also engaged in studies and research, as well as the education of people on the Convention on the Elimination of All Forms of Discrimination against Women in order to create a link to the Center’s activities and searched for solutions to gender issues.

### (1) Collection and supply of information

#### ① Purchase and Provision of Library Materials and Documents

The Move library collected and made administrative materials, magazines, local information magazines, children’s books, videos and DVDs with a focus on technical books on gender issues available to the general public.

- Collection of books: 45,064 books (excludes periodicals and government materials), 513 videos, 107 DVDs (as of March 31, 2009)
- List of books related to seminars
- Organization of picture book shows and readings for parents and children (2 times)

#### ② Collection and Dissemination of Information on Gender

Information on organizations was collected and disseminated through Move’s information system, Move Net (As of March 31, 2009, the database contained information on 267 individuals and 215 organizations/groups.)

#### ③ Information Dissemination via Website, Other

The most up-to-date information on facilities, lectures and events was disseminated via Move’s website and through Move mail.

#### ④ Other

The following projects were carried out during Move Festa:

- Book recycling (1,141 books)
- Sales of Move senbei

(2) Research projects

① Gender Research Support Projects

- In order to support civic groups and researchers carrying out independent studies and research on identifying solutions for gender issues, a partial subsidy was provided to one group and a report was published at the end of March 2009.
- The 11<sup>th</sup> Report Meeting on Gender Research (Two research groups from FY 2007)
 

Date and time	July 19 (Saturday), 2008 10:00-12:00
Number of attendees	117

② Publication of *Gender White Paper: Statistical Data on Gender Equality in Kitakyushu 2008* (March 2009)

③ Organization of Cartoon Contest on Gender Equality

Number of entries	206
Selected entries	8
Judges	Chair: Ms. Kyoko Fumizuki (Cartoon artist) Committee members: Mr. Tochi Ueyama (Cartoon artist), Ms. Mayumi Kurata (Cartoon artist), Ms. Kuniko Yoshizaki (President, KFAW)
Published	March 2009

④ Dissemination and Education on the Convention on the Elimination of All Forms of Discrimination Against Women

Top-prize panels from the 1998 translation competition to educate people about the Convention on the Elimination of All Forms of Discrimination against Women were lent out for exhibit (four times).

(3) Public relations

① Publication of *Moving* (Information Magazine)

*Moving* was published to disseminate information on Move's main projects and events, as well as expand its networks.

- *Moving* Published quarterly; 10,000 copies/printing
- *Monthly Move* Published monthly; 3,000 copies/printing

② Publication of Biographical Information Magazine, *Cutting Edge*

- *Cutting Edge*, a bibliographical information magazine, is published to provide the most recent coverage of information on gender issues (published quarterly; 3,000 copies/printing).
- Publication of *Cutting Edge, A Collection*, a compilation of the first through thirty-third volumes (end of March 2009).

### **3. Management of Facilities**

Move aimed to enhance and smoothly manage the facilities of the Kitakyushu Municipal Gender Equality Center, as well as coordinated room rentals, dispatch of lecturers (delivery training), and tours of the facilities.

(1) Maintenance and management of facilities

Move carried out regular maintenance and safety checks and scheduled repairs of facilities and equipment.

(2) Management of room rentals

Number of people renting rooms: 169,849

(3) Other activities

① Assignment of Lecturers (Delivery Training)

Number of lectures assigned: 30

② Tours of Facilities

Move welcomed 125 people from 20 organizations and other cities.

## **Special Account for Independent Projects of the Kitakyushu Municipal Gender Equality Center**

(1) Gender equality lectures

(2) Training for women entrepreneurs

(3) Personal computer courses

(4) Conversation classes for empowerment (English, Chinese, Korean)

(5) Life skill courses (Move Production Studio, Refresher Course for Mom's, Food Education Seminars for Fathers and Children, other)

(6) Employment support projects for women in difficult financial situations (jointly organized with the Mother and Child Welfare Center, with assistance from the National Council of Women's Centers)

## **Special Account for Maintenance and Management of the Kitakyushu Otemachi Building**

KFAW managed the facilities of the Kitakyushu Otemachi Building with the exception of the Kitakyushu Municipal Gender Equality Center (Move), including communication and coordination with other tenants.

## Use of the Kitakyushu Municipal Gender Equality Center (Move)

FY 2008

Room Name	Available Days	Days Used	Utilization Rate (%)	Number of Users (Persons)						
				Sponsored Events	(Number of Male Users)	Use of Room	(Number of Male Users)	Total Number of Users	(Number of Male Users)	
Move Hall	343	217	63.3	8,934	2,755	37,773	14,792	46,707	17,547	
Main Seminar Room	343	235	68.5	2,945	549	17,864	7,112	20,809	7,661	
Seminar Room	343	271	79.0	2,183	201	7,899	3,018	10,082	3,219	
Plannning Room 1	343	308	89.8	273	23	3,986	1,230	4,259	1,253	
Plannning Room 2	343	313	91.3	983	164	3,221	870	4,204	1,034	
Cooking Studio	343	144	42.0	675	181	1,820	246	2,495	427	
Japanese Room	343	282	82.2	316	79	4,158	855	4,474	934	
Tea Ceremony Room	343	66	19.2	39	5	523	209	562	214	
Fitness Room	Group	343	286	83.4	833	17	1,504	13	2,337	30
	Individual				7,751	2,327	—	—	7,751	2,327
	Sub Total				8,584	2,344	1,504	13	10,088	2,357
Craft Studio	Group	343	226	65.9	859	201	1,854	164	2,713	365
	Individual				64	8	—	—	64	8
	Sub Total				923	209	1,854	164	2,777	373
OA Room	Group	343	266	77.6	5,612	390	0	0	5,612	390
	Individual				1,094	290	—	—	1,094	290
	Sub Total				6,706	680	0	0	6,706	680
Group Activity Room	343	314	91.5	465	108	6,613	821	7,078	929	
Children's Room	343	237	69.1	2,214	637	121	48	2,335	685	
Move Plaza	343	343	100.0	47,153	10,469	82,513	23,225	129,666	33,694	
Consultation Room	—	—	—	11,924	2,492	—	—	11,924	2,492	
Information Library	—	—	—	27,512	4,579	—	—	27,512	4,579	
<b>Total</b>	—	—	—	<b>121,829</b>	<b>25,475</b>	<b>169,849</b>	<b>52,603</b>	<b>291,678</b>	<b>78,078</b>	

% of Male Users                      26.8%

(	Reference : FY 2007	275,624 persons	(includes 73,248 men)	(Male users 26.6%)	)	
	Contents	{	Organizer	118,241 persons		(25,384 men)
			Room Rental	157,383 persons		(47,864 men)

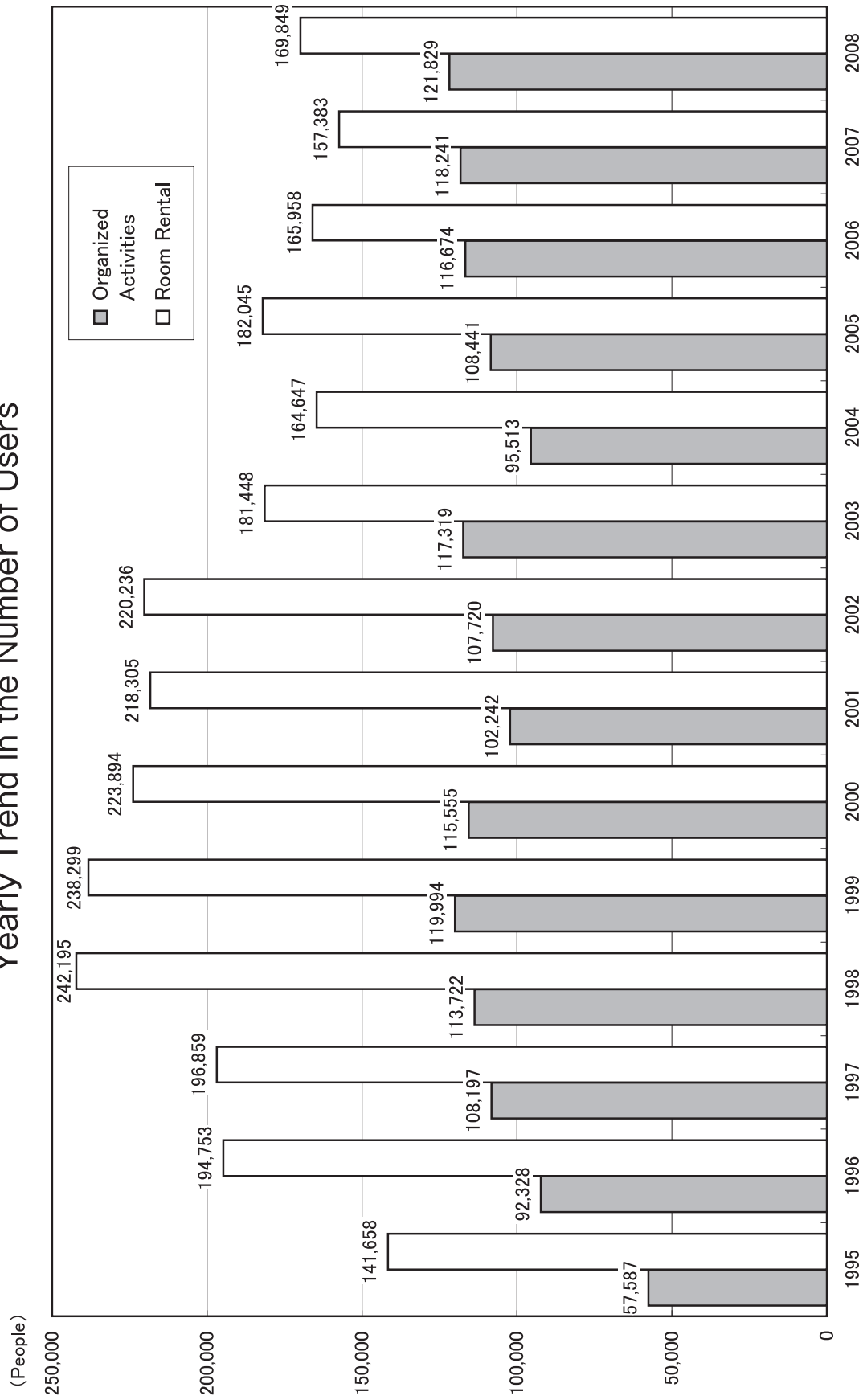
7/1/95-3/31/09 Total Move Users	.....	4,192,891 persons
---------------------------------	-------	-------------------

### < Number of Lecturers and Visitors >

	Total in FY 2008 (April 2008-March 2009)		Total in FY 2007 (April 2007 to March 2008)	
	Number of Times	Number of Participants	Number of Times	Number of Participants
Number of lecturers*	30	1,880	36	2,166
Number of visitors	20	125	8	56
<b>Total</b>	<b>50</b>	<b>2,005</b>	<b>44</b>	<b>2,222</b>

※ Dispatch of lecturers for trainings on the prevention of sexual harassment and gender equality lectures, other

# Yearly Trend in the Number of Users





# **Financial Statements**

# Summary Table of Revenues and Expenditures

(FY 2008)

(Unit: yen)

Account	Total	General Account	Special Account for International Training Projects	Special Account for the Promotion of the Kitakyushu ESD Project	Special Account for the Management and Operation of Kitakyushu Municipal Gender Equality Center Projects	Special Account for Independent Projects of the Kitakyushu Municipal Gender Equality Center	Special Account for Maintenance and Management of the Kitakyushu Otomachi Building
<b>I Operating Activities</b>							
1. Income and gains from operating activities							
① Income from basic funds	4,114,035	4,114,035	0	0	0	0	0
② Membership fees	899,750	899,750	0	0	0	0	0
③ Operating income	459,630	428,130	31,500	0	0	0	0
④ Income from independent operational fees	13,638,967	0	7,989,466	0	0	13,638,967	0
⑤ Income from contracted services	7,989,466	0	0	0	0	0	0
⑥ Income from contracted services (City of Kitakyushu)	258,423,000	0	0	0	224,257,000	0	34,166,000
⑦ Income from grants, other	75,779,000	75,229,000	0	0	0	550,000	0
⑧ Income from contributions	7,000	7,000	0	0	0	0	0
⑨ Miscellaneous income	277,994	128,719	0	0	149,275	0	0
⑩ Income from transfer in from other accounts	1,045,395	1,045,395	0	0	0	0	0
Total income and gains from operating activities	362,634,237	81,852,029	8,020,966	0	224,406,275	14,188,967	34,166,000
2. Expenditure from operating activities							
① Expenditure for survey and research projects	20,189,573	20,189,573	0	0	0	0	0
② Expenditure for exchange and training projects	9,672,422	9,672,422	0	0	0	0	0
③ Expenditure for information collection and communication projects	9,026,261	9,026,261	0	0	0	0	0
④ General and administrative expenditure	34,254,167	34,254,167	0	0	0	0	0
⑤ Expenditure for international training projects	5,940,085	0	5,940,085	0	0	0	0
⑥ Expenditure for Kitakyushu ESD Council	0	0	0	0	0	0	0
⑦ Expenditure for the management and operation of the Kitakyushu Municipal Gender Equality Center	218,285,564	0	0	0	218,285,564	0	0
⑧ Expenditure for user fees of the Kitakyushu Municipal Gender Equality Center	12,720,657	0	0	0	0	12,720,657	0
⑨ Expenditure for maintenance and management of the Kitakyushu Otomachi Building	33,524,813	0	0	0	0	0	33,524,813
⑩ Expenditure from repayments	6,130,824	0	1,035,486	0	4,454,151	0	0
⑪ Expenditure from return of grants	8,731,744	8,731,744	0	0	0	0	0
⑫ Expenditure from transfer in from other accounts	1,045,395	0	1,045,395	0	0	0	0
Total expenditures from operating activities	359,521,505	81,874,167	8,020,966	0	222,739,715	12,720,657	34,166,000
Net income and expenditures of operating activities	3,112,732	△ 22,138	0	0	1,666,560	1,468,310	0
<b>II Investing Activities</b>							
1. Income from investing activities							
Total income from investing activities	0	0	0	0	0	0	0
2. Expenditure from investing activities							
① Expenditure for restricted assets	339,000	339,000	0	0	0	0	0
② Expenditure for fixed assets	2,295,510	628,950	0	0	1,666,560	0	0
③ Other expenditure	0	0	0	0	0	0	0
Total expenditure from investing activities	2,634,510	967,950	0	0	1,666,560	0	0
Net income and expenditure from investing activities	△ 2,634,510	△ 967,950	0	0	△ 1,666,560	0	0
<b>III Financing Activities</b>							
1. Income from financing activities							
Income from financing activities	0	0	0	0	0	0	0
2. Expenditure from financing activities							
Expenditure from financing activities	0	0	0	0	0	0	0
Net income and expenditure from financing activities	0	0	0	0	0	0	0
Net surplus from income over expenditures for the year	478,222	△ 990,088	0	0	0	1,468,310	0
Surplus from income over expenditures at beginning of year	10,850,958	8,969,742	0	0	0	1,881,216	0
Surplus from income over expenditures at end of year	11,329,180	7,979,654	0	0	0	3,349,526	0

# Summary Table of Changes in Net Worth

(FY 2008)

(Unit: yen)

Account	Total	General Account	Special Account for International Training Projects	Special Account for the Promotion of the Kitakyushu ESD Project	Special Account for the Management and Operation of Kitakyushu Municipal Gender Equality Center Projects	Special Account for Independent Projects of the Kitakyushu Municipal Gender Equality Center	Special Account for Maintenance and Management of the Kitakyushu Otomachi Building
<b>I Changes in Unrestricted Net Assets</b>							
<b>1. Operating income and expenditure</b>							
(1) Ordinary revenues and gains							
Income from basic funds	4,114,035	4,114,035	0	0	0	0	0
Membership fees	899,750	899,750	0	0	0	0	0
Operating income	459,630	428,130	31,500	0	0	0	0
Income from independent operational fees	13,638,967	0	7,989,466	0	0	13,638,967	0
Income from contracted services	7,989,466	0	7,989,466	0	0	0	0
Income from contracted services (City of Kitakyushu)	258,423,000	0	0	0	224,257,000	0	34,166,000
Grants, other	75,779,000	75,229,000	0	0	0	550,000	0
Contributions	7,000	7,000	0	0	0	0	0
Miscellaneous income	277,994	128,719	0	0	149,275	0	0
Transfer in from other accounts	1,045,395	1,045,395	0	0	0	0	0
Total revenues and gains	362,634,237	81,852,029	8,020,966	0	224,406,275	14,188,967	34,166,000
(2) Expenses and losses							
Expenditures for survey and research projects	20,189,573	20,189,573	0	0	0	0	0
Expenditures for exchange and training projects	9,672,422	9,672,422	0	0	0	0	0
Expenditure for information collection and communication projects	9,026,261	9,026,261	0	0	0	0	0
General and administrative expenditures	35,342,723	35,342,723	0	0	0	0	0
Expenditure for international training projects	5,940,085	0	5,940,085	0	0	0	0
Grant for the Kitakyushu ESD Council	0	0	0	0	0	0	0
Expenditure for the management and operation of the Kitakyushu Municipal Gender Equality Center	219,744,905	0	0	219,744,905	0	0	0
Expenditure for user fees of the Kitakyushu Municipal Gender Equality Center	12,730,676	0	0	0	12,730,676	0	0
Expenditure for maintenance and management of the Kitakyushu Otomachi Building	33,524,813	0	0	0	0	33,524,813	0
Expenditure from repayments	6,130,824	0	1,035,486	0	4,454,151	0	641,187
Expenditure from return of grants	8,731,744	8,731,744	0	0	0	0	0
Expenditure from transfer in from other accounts	1,045,395	0	1,045,395	0	0	0	0
Total expenditures	362,079,421	82,962,723	8,020,966	0	224,199,056	12,730,676	34,166,000
Total changes in operating activities for the year	554,816	△ 1,110,694	0	0	207,219	1,458,291	0
<b>2. Non-operating activities</b>							
(1) Revenue from non-operating activities							
Total revenues from non-operating activities	0	0	0	0	0	0	0
(2) Expenses and losses from non-operating activities							
Total expenses and losses from non-operating activities	0	0	0	0	0	0	0
Total changes for non-operating activities for the year	0	0	0	0	0	0	0
Total changes in unrestricted net assets	554,816	△ 1,110,694	0	0	207,219	1,458,291	0
Unrestricted net assets at beginning of year	21,651,073	17,367,380	0	0	2,342,373	1,941,320	0
Unrestricted net assets at end of year	22,205,889	16,256,686	0	0	2,549,592	3,399,611	0
<b>II Changes in Restricted Net Assets</b>							
Total changes in restricted net assets for the year	0	0	0	0	0	0	0
Restricted net assets at beginning of year	323,166,095	323,166,095	0	0	0	0	0
Restricted net assets at end of year	323,166,095	323,166,095	0	0	0	0	0
<b>III Net Assets at End of Year</b>	345,371,984	339,422,781	0	0	2,549,592	3,399,611	0

## Balance Sheet (FY 2008)

(Unit: yen)

Account	Total	General Account	Special Account for International Training Projects	Special Account for the Promotion of the Kitakyushu ESD Project	Special Account for the Management and Operation of Kitakyushu Municipal Gender Equality Center Projects	Special Account for Independent Projects of the Kitakyushu Municipal Gender Equality Center	Special Account for Maintenance and Management of the Kitakyushu Otomachi Building	Elimination of Internal Transactions
<b>I Assets</b>								
1. Current assets								
Total current assets	53,061,320	20,299,453	1,445,535	0	29,268,851	3,989,164	3,872,019	5,813,702
2. Fixed assets								
(1) Basic funds								
Total assets from basic funds	329,245,773	329,245,773	0	0	0	0	0	0
(2) Restricted assets								
Total restricted assets	748,000	748,000	0	0	0	0	0	0
(3) Fixed assets (other)								
Total restricted assets (other)	4,797,031	2,197,354	0	0	2,549,592	50,085	0	0
Total fixed assets	334,790,804	332,191,127	0	0	2,549,592	50,085	0	0
Total assets	387,852,124	352,490,580	1,445,535	0	31,818,443	4,039,249	3,872,019	5,813,702
<b>II Liabilities</b>								
1. Current liabilities								
Total current liabilities	41,732,140	12,319,799	1,445,535	0	29,268,851	639,638	3,872,019	5,813,702
2. Fixed liabilities								
Total fixed liabilities	748,000	748,000	0	0	0	0	0	0
Total liabilities	42,480,140	13,067,799	1,445,535	0	29,268,851	639,638	3,872,019	5,813,702
<b>III Net Assets</b>								
1. Restricted net assets								
Total restricted net assets	323,166,095	323,166,095	0	0	0	0	0	0
(Allocated for basic fund)	( 323,166,095 )	( 323,166,095 )	( 0 )	( 0 )	( 0 )	( 0 )	( 0 )	( 0 )
(Allocated for restricted assets)	( 0 )	( 0 )	( 0 )	( 0 )	( 0 )	( 0 )	( 0 )	( 0 )
2. Unrestricted net assets								
Total unrestricted net assets	22,205,889	16,256,686	0	0	2,549,592	3,399,611	0	0
(Allocated for basic fund)	( 6,079,678 )	( 6,079,678 )	( 0 )	( 0 )	( 0 )	( 0 )	( 0 )	( 0 )
(Allocated for restricted assets)	( 0 )	( 0 )	( 0 )	( 0 )	( 0 )	( 0 )	( 0 )	( 0 )
Total net assets	345,371,984	339,422,781	0	0	2,549,592	3,399,611	0	0
Total liabilities and net assets	387,852,124	352,490,580	1,445,535	0	31,818,443	4,039,249	3,872,019	5,813,702

## Summary Table of Footnotes for Financial Statements

As of March 31, 2009

### 1. Significant Accounting Policies

- (1) Valuation basis and method for securities  
Bonds to be held until maturity---Acquisition cost
- (2) Depreciation method for fixed assets  
Vehicles---Fixed rate/declining balance method  
Office equipment---Fixed rate/declining balance method  
Intangible fixed assets---Straight line method
- (3) Accrued allowance reserves  
Accrued retirement benefits  
Calculated based on the actual payment of retirement benefits for the current year.
- (4) Accounting for consumption taxes  
Transactions subject to consumption taxes are stated at the gross amount of the related consumption taxes.

### 2. Details about changes and balance of assets for basic funds and restricted assets are set out below.

(Unit: Yen)

Account	Ending balance of previous year	Increase	Decrease	Ending balance of current year
Basic funds				
Investment securities	299,950,000	0	0	299,950,000
Fixed deposits	29,295,773	0	0	29,295,773
Sub-total	329,245,773	0	0	329,245,773
Restricted assets				
Deposits for retirement benefit funds	409,000	339,000	0	748,000
Sub-total	409,000	339,000	0	748,000
Total	329,654,773	339,000	0	329,993,773

### 3. Details of financial resources of assets of basic funds and restricted assets are set out below.

(Unit: Yen)

Account	Ending balance of current year	(Allocated from net restricted assets)	(Allocated from unrestricted assets)	(Correspond to liabilities)
Basic funds				
Investment securities	299,950,000	299,950,000	0	-
Fixed deposits	29,295,773	23,216,095	6,079,678	-
Sub-total	329,245,773	323,166,095	6,079,678	-
Restricted assets				
Deposits for retirement benefit funds	748,000	0	0	748,000
Sub-total	748,000	0	0	748,000
Total	329,993,773	323,166,095	6,079,678	748,000

### 4. Acquisition costs, accumulated depreciation, and ending net book value of fixed assets are set out below

(Unit: Yen)

Account	Acquisition cost	Accumulated depreciation	Ending net book value
Other fixed assets			
Vehicles	1,700,000	1,699,998	2
Office equipment	12,487,275	8,230,246	4,257,029
Total	14,187,275	9,930,244	4,257,031

### 5. Details of investment securities held by maturity, book value, fair value and gains/losses from valuation are set out below.

(Unit: Yen)

Account	Book value	Fair value	Gains/losses from valuation
Investment securities			
Local government bond market	199,900,000		
Osaka prefectural public bond	100,000		
City of Kitakyushu bond	99,950,000	101,797,200	1,847,200
Total	299,950,000	101,797,200	1,847,200

### 6. Details of grants and grant providers, and changes in and balance of grants for this year are set out below.

(Unit: Yen)

Subscriptions	Grant provider	Ending balance of previous year	Increase	Decrease	Ending balance of current year	B/S account
Grants						
Grants from city		300,000,000	--	--	300,000,000	Restricted net assets
Receipt of city grants	City of Kitakyushu	--	75,229,000	75,229,000	0	
Total		300,000,000	75,229,000	75,229,000	300,000,000	



# Documentation

## **History of Kitakyushu Forum on Asian Women (KFAW)**

August 23, 1989

The Asian Women's Forum (provisional name) was chosen from 101 entries as the City of Kitakyushu's Hometown Revitalization Project as a "System for Research on and Training of Asian Women."

November 1, 1989

The Master Plan Committee for the Kitakyushu Forum on Asian Women was organized as a personnel advisory organ to the Mayor to gather comprehensive suggestions for the policies and activities of the Forum and to work out a master plan. The committee was headed by Ms. Hisako Takahashi, Former President of KFAW.

December 26, 1989

The Master Plan Committee proposed a revision of the provisional name to the "Kitakyushu Forum on Asian Women." The revision was approved.

January 19-21, 1990

The Kitakyushu Forum on Asian Women (KFAW) was introduced as a proposed project in a slide exhibition at the Tokyo Dome as part of the Community Revitalization Exhibition.

February 11-March 24, 1990

With backing from the Planning Committee for Women's Conferences, which was organized in the seven wards in the City of Kitakyushu, a series of symposiums, exchange meetings, exhibitions and lectures were held in each of the wards to build momentum for the founding of KFAW.

March 30, 1990

The Committee to Formulate a Basic Plan for the Asian Women's Forum submitted the Basic Plan for the Kitakyushu Forum on Asian Women to the Mayor of the City of Kitakyushu.

March 31, 1990

The Asian International Symposium '90 was organized under the theme of "Asia, Women, and the Future: Let's Think Together and Move Forward."

June-September, 1990

The 1<sup>st</sup> Asian Seminar was organized (The seminar has been held annually ever since.)

July 5, 1990

The Working Group on the Kitakyushu Forum on Asian Women was set up as a private advisory organ to the Mayor of the City of Kitakyushu in order to explore possible future activities for the Forum.

July 23, 1990

Based on the above proposition, the master plan for the Kitakyushu Forum on Asian Women was decided.

October 20, 1990

KFAW was officially established (First President, Ms. Hisako Takahashi).

October 20, 1990

In order to commemorate the establishment of KFAW, Ms. Sumiko Ito, a Tokyo High Court Judge, delivered a lecture on "Women's Roles in International Society."

October, 1990

A joint research project on "The Influence of Development on Women and Families" began.

March 9-10, 1991

The 1<sup>st</sup> Kitakyushu Conference on Asian Women was held under the theme of "Asian Women Today." The conference has been held annually ever since.

March, 1991

The first issue of the information magazine *Asian Breeze* was published.

April, 1991

Research projects began.

May, 1991

Recruitment of foreign correspondents began (This annual project has continued ever since.)

December 1-2, 1991

The 2<sup>nd</sup> Kitakyushu Conference on Asian Women was organized under the theme of "Women in Decision Making."

March 18-27, 1992

The 1<sup>st</sup> Seminar for Government Officers on the Improvement of the Status of Women was held (Commissioned by JICA. This seminar has been held annually ever since.)

July 24, 1992

With the aim of gaining status as a foundation by October 1993, a fundraising committee was set up to raise the necessary money to create a basic fund. The members of the Board of Directors took the initiative in fundraising activities.

November 13-15, 1992

The 3<sup>rd</sup> Kitakyushu Conference on Asian Women was held under the theme of "Women in Environment and Development."

November 24, 1992

When the UNIFEM Japan Committee was formed to support the United Nations Development Fund for Women (UNIFEM), KFAW became a full UNIFEM member and member of the Liaison Committee for

the International Women's Year, together with the Yokohama Women's Association.

March, 1993

The 1<sup>st</sup> volume of Asian Women Series was published (China).

May, 1993

Production of Educational Videotapes for International Understanding began.

September 17, 1993

Meeting to promote the establishment of KFAW as a foundation was held.

September 22, 1993

KFAW received approval as a foundation from the Ministry of Labour.

October 1, 1993

KFAW became a foundation (President, Ms. Hisako Takahashi).

November 19-21, 1993

The 4<sup>th</sup> Kitakyushu Conference on Asian Women was organized under the theme of "Population and Our Earth's Future."

February 8, 1994

Ms. Hisako Takahashi, President, was appointed as High Court Judge and resigned from office. Ms. Yoshiko Misumi, Managing Director, was appointed as president.

April, 1994

A joint research project "Working Women in Asia Series" started.

September 1-8, 1994

The 1<sup>st</sup> Foreign Correspondents' Seminar was held.

November 18-20, 1994

The 5<sup>th</sup> Kitakyushu Conference on Asian Women was held under the theme of "Women and the Family."

April 1, 1995

KFAW was commissioned by the City of Kitakyushu to manage and operate the Kitakyushu Women's Center.

June 15, 1995

KFAW moved its offices to the Kitakyushu Otemachi Building.

June 22, 1995

Mr. Hachiji Okuda took office as the second President.

July 1-8, 1995

Opening events for the Kitakyushu Women's Center were held.

September 4-11, 1995

KFAW received observer status to participate in The United Nations Commission on Status of Women, and participated in the Fourth World Conference on Women as an observer. KFAW also participated in the conference NGO Forum and held a workshop.

November 17-19, 1995

The 6<sup>th</sup> Kitakyushu Conference on Asian Women was organized under the theme of "Women and Labor."

February 16-March 21, 1996

KFAW organized the 1<sup>st</sup> Seminar on Women and Environment and Development commissioned by JICA (This seminar has been held annually ever since.)

November 15-17, 1996

KFAW held the 7<sup>th</sup> Kitakyushu Conference on Asian Women under the theme of "Women and the Media."

January, 1997

KFAW established a website.

April 1, 1997

Ms. Yoshiko Misumi, Managing Director, was appointed as president.

September 22, 1997

The Visiting Researcher Program was introduced.

November 7-9, 1997

KFAW organized the 8<sup>th</sup> Kitakyushu Conference on Asian Women under the theme of "Women's Empowerment and Education."

March 24, 1998

Ms. Hisako Takahashi took office as the third President of KFAW.

June, 1998

The International Cooperation Seminar started.

October 10, 1988

KFAW celebrated the fifth anniversary of the establishment of the foundation.

November 7-8, 1998

KFAW organized the 9th Kitakyushu Conference on Asian Women under the theme of "Mainstreaming Gender for Sustainable Development in Asia."

December 12-13, 1998

KFAW held a Seminar on Global Citizenship Education.

April 12-23, 1999

The Japan Society Local Government and Public Policy Fellowship Project was initiated.

September, 1999

A discussion meeting was held on the future of KFAW.

October 17-31, 1999

KFAW implemented a training program for women entrepreneurs commissioned by the Kitakyushu Women's Center.

November 6-7, 1999

KFAW held the 10<sup>th</sup> Kitakyushu Conference on Asian Women under the theme of "Towards a Gender Equal Century: the Women 2000 Conference and Beyond."

January 9-15, 2000

A study tour for women entrepreneurs was organized in San Francisco, USA.

June 5-9, 2000

KFAW participated in the United Nations Special General Assembly "Women 2000: Gender Equality, Development and Peace for the Twenty-first Century" as an accredited NGO.

June 5-8, 2000

KFAW participated in a "Women 2000" related NGO conference, Beijing+5 Global Feminist Symposium in New York, USA, and held a workshop.

September 3, 2000

KFAW organized the Women's Environment Congress for Asia and Pacific to coincide with the Environment Congress for Asia and the Pacific.

November, 2000

KFAW received an award for Community Development in the World from the Minister of Home Affairs.

December 28, 2000

KFAW changed from a presidential to chair-based system, and gained approval for changing the regulations concerning the KFAW Endowment Act.

February 25-March 5, 2001

KFAW organized the Environment Study Tour (Malaysia).

April 1, 2001

Ms. Hiroko Hara took office as the first Chair, Ms Yoshiko Misumi as the fourth President and Ms. Hisako Takahashi, former President, as an Advisor.

July 26-28, 2001

KFAW participated in the Stakeholders' Meeting for North-East Asia in Preparation for the World Summit on Sustainable Development, 2002 and The North-East Asian Sub-Regional Preparatory Meeting for the World Summit on Sustainable Development in Beijing, China.

July-September, 2001

KFAW implemented projects related to the JAPAN EXPO 2001 Kitakyushu.

- JICA trainees report: "From JAPAN to the World! and From Japan to the Future."
- Ms. Masako Atsumi (attorney-at-law) took part in a gender equality talk show: "The Yamauchi Family Partnership."

September 12-16, 2001

KFAW participated in the 1<sup>st</sup> North-East Asian Women's Conference on the Environment in Seoul, Korea.

October 6-7, 2001

The 12<sup>th</sup> Kitakyushu Conference on Asian Women was organized under the theme of "An Autonomous Healthy Life in a Gender Equal Society."

November 24-December 1, 2001

KFAW participated in the High-level Regional Meeting for the World Summit on Sustainable Development (WSSD) and Asia-Pacific Round Table on Sustainable Development in Phnom Penh, Cambodia.

November 28-December 2, 2001

A photo exhibition on "Afghan Women and Children" was organized together with the Afghanistan Seminar: Part 1.

January 18, 2002

KFAW held an Environment Series Seminar on "Rio+10: Worldwide Preparations for the Johannesburg Summit that is the World Summit on Sustainable Development."

February 9-17, 2002

KFAW held a roundtable discussion on the “World Summit on Sustainable Development in Kitakyushu and Tokyo.”

March 1-10, 2002

KFAW participated in the 46th Session of the United Nations Commission on the Status of Women (CSW) in New York, USA.

March 22, 2002

The Afghanistan Seminar: Part 2 was held.

March 23-April 5, 2002

KFAW participated in the 3<sup>rd</sup> Preparatory Committee Meeting for WSSD (PrepCom 3) in New York, USA.

March 25-30, 2002

An Environment Study Tour (China, Korea) was organized.

April 1, 2002

Kitakyushu Women’s Center was renamed the Kitakyushu Municipal Gender Equality Center.

July, 2002

KFAW was accredited with NGO Special Consultative Status to the UN Economic and Social Council. KFAW was the first NGO in Kyushu to gain such status.

July 31, 2002

KFAW was awarded the Special Merit Prize for International Cooperation for 2002 from the Japan International Cooperation Agency (JICA).

August 23-September 5, 2002

KFAW participated in the World Summit on Sustainable Development and held workshops. The Senior Researcher of KFAW worked as an advisor to the Japanese Government Delegation.

October 12, 14, 2002

Women environmental activists gathered from Japan, China, Korea and Mongolia to hold the 2<sup>nd</sup> North-East Asian Women’s Conference on the Environment in Kitakyushu and Tokyo.

March 2-16, 2003

KFAW participated in the 47<sup>th</sup> Session of the United Nations Commission on the Status of Women (CSW) in New York, USA.

March 16-21, 2003

KFAW participated in the 3<sup>rd</sup> World Water Forum in Kyoto, Shiga and Osaka.

May, 2003

The KFAW Seminar, formerly referred to as the International Cooperation Seminar, was held.

May 17, 2003

KFAW joined the Kitakyushu City Committee for the Compilation of Women's History.

October 11, 2003

Projects were implemented to mark the 10<sup>th</sup> Anniversary of KFAW's establishment as a foundation.

October 12, 2003

The 14<sup>th</sup> Kitakyushu Conference on Asian Women was organized under the theme of "Women's Empowerment and ICT."

February 26-March 13, 2004

KFAW participated in the 48<sup>th</sup> Session of the United Nations Commission on the Status of Women (CSW) in New York, USA.

June 29-July 4, 2004

KFAW organized a study tour to attend the Asia-Pacific NGO Forum (Bangkok, Thailand).

September 7-10, 2004

KFAW participated in the High-level Intergovernmental Meeting to Review the Regional Implementation of the Beijing Platform for Action and Its Regional and Global Outcomes organized by UNESCAP (Bangkok, Thailand).

November 6-7, 2004

The 15<sup>th</sup> Kitakyushu Conference on Asian Women was organized under the theme of "Gender and Human Security: Toward Beijing+10."

February 28-March 6, 2005

KFAW participated in the 49<sup>th</sup> Session of the United Nations Commission on the Status of Women (CSW) on the occasion of the tenth anniversary of the Fourth World Conference on Women (New York, USA).

November 5-6, 2005

The 16<sup>th</sup> Kitakyushu Conference on Asian Women was organized under the theme of "Women Who Have Made History."

December 7, 2005

KFAW published *A Centennial History of Women in Kitakyushu* (Japanese).

January 16-23, 2006

KFAW organized a study tour on "Thinking in India about the Human Rights of Women and Children."

February 27-March 10, 2006

KFAW participated in the 50<sup>th</sup> Session of the United Nations Commission on the Status of the Women (CSW) in New York, USA.

February 19, 2006

Along with the Committee of Ecolife Stage, KFAW held the “Kitakyushu Resident’s Environmental Forum towards the Creation of the World Environmental Capital.” Dr. Wangari Maathai, the Nobel Peace Prize winner, was invited as the keynote speaker.

April 1, 2006

KFAW was designated as a special management body to manage and operate the Kitakyushu Municipal Gender Equality Center (Move) on behalf of the City of Kitakyushu government (FY 2006-2010).

September 28, 2006

The Kitakyushu ESD (Education for Sustainable Development) Council was established (44 local organizations).

October 15, 2006

Based on *A Centennial History of Women in Kitakyushu* (Japanese), KFAW published *The 100 Years History of Women of Kitakyushu from Newspapers’ Perspectives* (Japanese).

November 11-12, 2006

In commemoration of the original publication of *A Centennial History of Women in Kitakyushu* (Japanese), KFAW produced a women’s history drama called *Autumn Tri-colored Pansy*.

November 18-19, 2006

The 17<sup>th</sup> Kitakyushu Conference on Asian Women was organized under the theme of “Creating a Just and Plentiful Future—What is the Education for Sustainable Development?”

December 5, 2006

KFAW was recognized as the fourth RCE (Regional Centre of Expertise) by the United Nations University to promote Education for Sustainable Development in Kitakyushu City.

February 26-March 9, 2007

KFAW participated in the 51<sup>st</sup> Session of the United Nations Commission on the Status of the Women (CSW) in New York, USA.

March 1-8, 2007

KFAW carried out a study tour to Australia on “Empowerment of Aboriginal Women, Art and Community.”

April 1, 2007

Ms. Hiroko Hara took office as the Advisor, Ms. Yoshiko Misumi as the 2<sup>nd</sup> Chair and Ms. Kuniko Yoshizaki

as the 5<sup>th</sup> President. KFAW started work as the secretariat of the Kitakyushu ESD Council.

October 12-16, 2007

KFAW organized a study tour on ESD (Education for Sustainable Development) to Korea to learn about progressive ESD approaches.

November 10-11, 2007

The 18<sup>th</sup> Kitakyushu Conference on Asian Women was organized under the theme of “Let’s Link Together and Create a More Sustainable Future.”

December 14, 2007

KFAW and the US Consulate in Fukuoka jointly organized a seminar on the situation in Myanmar.

February 22-March 7, 2008

KFAW participated in the 52<sup>nd</sup> Session of the United Nations Commission on the Status of the Women (CSW) in New York, USA.

March 10-12, 2008

KFAW visited Incheon Metropolitan City, one of Kitakyushu’s sister cities.

April, 2008

KFAW prepared for the Establishment of the KFAW Asian Researchers Network.

May 26, 2008

A delegation from Incheon YWCA (11 people) visited KFAW.

June 25, 2008

KFAW participated in an international meeting organized by Chungcheongnam-do Women’s Policy Development Institute (CWPDI) and gave a presentation “Human Resources Development for Women: The Present Status and Career Development Policies in Japan.”

September 6, 2008

KFAW held a special lecture entitled on “Women’s Current Status in the Asia-Pacific Region” to commemorate the 15<sup>th</sup> anniversary of KFAW.

November 15, 2008

KFAW and CWPDI organized the Japan-Korea International Seminar.

November 15–16, 2008

KFAW held The 19<sup>th</sup> Kitakyushu Conference on Asian Women under the theme of “Eat the Earth, Eat on the Earth.”

February 27–March 6, 2009

KFAW participated in the 53<sup>rd</sup> Session of the United Nations Commission on the Status of the Women (CSW) in New York, USA.

March 31, 2009

The secretariat of the Kitakyushu ESD Council was transferred to the Environment Bureau of Kitakyushu City.

## List of Publications

### Ajia Josei Kenkyu

<i>Ajia Josei Kenkyu</i> Vol. 1	Ajia ni okeru Kaihatsu to Josei	(J)	¥1,000 (sold out)
<i>Ajia Josei Kenkyu</i> Vol. 2	Kankyo, Kaihatsu, Josei	(J)	¥1,000
<i>Ajia Josei Kenkyu</i> Vol. 3	A Chikyu no Mirai to Jinko Mondai B Ajia no Josei to Jinko Mondai	(J)	¥1,000
<i>Ajia Josei Kenkyu</i> Vol. 4	Josei to Kazoku	(J)	¥1,000
<i>Ajia Josei Kenkyu</i> Vol. 5	Josei to Rodo	(J)	¥1,000
<i>Ajia Josei Kenkyu</i> Vol. 6	Josei to Media	(J)	¥1,000
<i>Asia Josei Kenkyu</i> Vol. 7	Josei to Kyoiku	(J)	¥1,000
<i>Ajia Josei Kenkyu</i> Vol. 8	Jenda no Shiten no Shuryuka wo Mezashite	(J)	¥1,000
<i>Ajia Josei Kenkyu</i> Vol. 9	Danjo Kyodo Sankaku no Seiki wo Hiraku	(J)	¥1,000
<i>Ajia Josei Kenkyu</i> Vol. 10	Jenda Shuryuka ni Mukete	(J)	¥1,000 (sold out)
<i>Ajia Josei Kenkyu</i> Vol. 11	Jenda to Kenko	(J)	¥1,000 (sold out)
<i>Ajia Josei Kenkyu</i> Vol. 12	Jizokukano na Kaihatsu—Jenda no Shiten kara	(J)	¥1,000 (sold out)
<i>Ajia Josei Kenkyu</i> Vol. 13	ICT to Jenda	(J)	¥1,000
<i>Ajia Josei Kenkyu</i> Vol. 14	Ningen no Anzen Hosho to Jenda	(J)	¥1,000
<i>Ajia Josei Kenkyu</i> Vol. 15	Gurobaruka to Jenda	(J)	¥1,000
<i>Ajia Josei Kenkyu</i> Vol. 16	Jenda to Seiji (Poritikusu)	(J)	¥1,000
<i>Ajia Josei Kenkyu</i> Vol. 17	Fukushi to Jenda	(J)	¥1,000
<i>Ajia Josei Kenkyu</i> Vol. 18	Kagaku to Jenda	(J)	¥1,000

### Journal of Asian Women's Studies

<i>Journal of Asian Women's Studies</i> Vol. 1	Women in Development in Asia	(E)	¥800
<i>Journal of Asian Women's Studies</i> Vol. 2	Environment, Development and Women	(E)	¥1,000
<i>Journal of Asian Women's Studies</i> Vol. 3	Population and Our Earth's Future Women's Reproductive Rights and Population Problems in Asia	(E)	¥1,000
<i>Journal of Asian Women's Studies</i> Vol. 4	Women and Family	(E)	¥1,000
<i>Journal of Asian Women's Studies</i> Vol. 5		(E)	¥1,000 (sold out)
<i>Journal of Asian Women's Studies</i> Vol. 6 & 7		(E)	¥1,500 (sold out)
<i>Journal of Asian Women's Studies</i> Vol. 8		(E)	¥1,000
<i>Journal of Asian Women's Studies</i> Vol. 9		(E)	¥1,000 (sold out)
<i>Journal of Asian Women's Studies</i> Vol. 10	Women/Gender and Globalization	(E)	¥1,000 (sold out)
<i>Journal of Asian Women's Studies</i> Vol. 11	Participation and Good Governance: Environmental Issues from a Gender Perspective	(E)	¥1,000 (sold out)
<i>Journal of Asian Women's Studies</i> Vol. 12	Cairo+10: Reviewing Reproductive Health and Rights	(E)	¥1,000
<i>Journal of Asian Women's Studies</i> Vol. 13	ICT and Gender	(E)	¥1,000
<i>Journal of Asian Women's Studies</i> Vol. 14		(E)	¥1,000
<i>Journal of Asian Women's Studies</i> Vol. 15		(E)	¥1,000
<i>Journal of Asian Women's Studies</i> Vol. 16		(E)	¥1,000
<i>Journal of Asian Women's Studies</i> Vol. 17	Welfare and Gender	(E)	¥1,000

### Environment Series

<i>Ajia ni okeru Kankyo to Josei—Jissen Jireishu—</i>	(J)	¥500
<i>Chikyu Ondanka Taisaku no Mirai</i>	(J)	¥500
<i>Noberu Heiwa-sho Jushosha Wangari Maathai san to Kataru Kitakyushu Shimin, Kankyo Horamu Sekai no Kankyo-Shuto o Mezashite</i>	(J)	¥300

### Female Farmers Series

<i>Empowerment of Female Farmers in Asia—Korea and China—</i>	(E)	¥1,500 (sold out)
<i>Ajia no Nogyo Josei no Empawamento—Kankoku to Chugoku karano Hokoku—</i>	(J)	¥1,000
<i>Empowerment of Female Farmers in Asia—Vietnam and Thailand—</i>	(E)	¥1,500

### Domestic Violence Series

<i>Ajia no Domesutikku Baiorensu (Hardcover)</i>	(J)	¥2,500
<i>Ajia no Domesutikku Baiorensu (Paperback)</i>	(J)	¥2,000
<i>Domestic Violence in Asia—A Report from Korea and Cambodia—</i>	(E)	¥800

### Asian Family Series

<i>A Comparative Study on the Family Consciousness between Korea and Japan —Centered on Seoul and Fukuoka—</i>	(E)	¥2,000
<i>Nippon to Kankoku no Kazoku-Ishiki no Hikaku Kenkyu —Fukuoka, Soru Chosa o Chushin ni—</i>	(J)	¥2,000
<i>A Study of Family Consciousness in Contemporary Thailand —With Comparison among Bangkok, Seoul and Fukuoka—</i>	(E)	¥2,000
<i>Gendai Tai no Kazoku-Ishiki no Kenkyu —Bankoku, Soru, Fukuoka Chosa no Hikaku to tomoni—</i>	(J)	¥2,000
<i>A Study on Life and Consciousness of Contemporary Urban Family in China —A Research in Beijing with Comparison among Bangkok, Seoul and Fukuoka—</i>	(E)	¥2,000 (sold out)
<i>Gendai Chugoku ni okeru Toshi-Kazoku no Ishiki to Seikatsu ni kansuru Kenkyu —Pekin Chosa oyobi Bankoku, Soru, Fukuoka tono Hikaku—</i>	(J)	¥2,000
<i>The Influences of Economic Development upon Women and Families —Experiences in Seven Asian Countries—</i>	(E)	¥2,000
<i>Ajia no Keizai Hatten to Kazoku oyobi Jenda</i>	(J)	¥1,000
<i>Effects of Socio-Economic Development on Family and Gender Relations Before Economic Crisis in Malaysia—Focusing on Kuala Lumpur—</i>	(E)	¥2,000
<i>Mareshia no Keizai Kaihatsu to Kazoku oyobi Jenda—Keizai Kiki no Zenya made—</i>	(J)	¥2,000
<i>Ajia no Keizai Hatten to Kazoku oyobi Jenda—Kaitei-ban—</i>	(J)	¥1,200

### Working Women Series

<i>Pakisutan no Hataraku Josei—Watatsumi Josei Rodosha to Hoseigyō no Josei Rodosha—</i>	(J)	¥1,000
<i>Betonamu no Hataraku Josei—Hochimin-shi Hosei Kojo no Josei Iju Rodosha—</i>	(J)	¥1,000
<i>Firipin Mindanao Hokubu ni okeru Keizai Kaihatsu to Josei —Kaihatsu ni okeru Shakai, Keizai Jenda Bunseki (SEGA) Moderu no Kensho—</i>	(J)	¥1,000

### Visiting Researcher's Research Paper Series

<i>Mareshia to Shingaporu ni okeru Josei to Seiji—Nashonarizumu, Kokka Kensetsu, Jenda—</i>	(J)	¥1,000
<i>Chugoku ni okeru Shakaifukushi Seisaku no Tenkai Jokyo ni kansuru Kenkyu</i>	(J)	¥1,000
<i>Globalization no Shinchoryu to “Kankyo-Hozen-gata Keizai Hatten no Kadai” —Tonan Ajia Shokoku ni okeru “Chukan Kaiso” no Zodai tonon Kanren de—</i>	(J)	¥1,000 (sold out)
<i>Shanghai-shi Josei Koreisha Seikatsu Jokyo ni kansuru Homon Chosa</i>	(J)	¥1,000
<i>Aung San Suu Kyi no Shiso to Kodo</i>	(J)	¥1,000
<i>Aung San Suu Kyi no Shiso to Kodo (with Burmese appendix)</i>	(J)	¥1,500 (sold out)
<i>Gurobarizeshon no Shinchoryu to Kankyo-Hozen-gata Keizai Hatten no Kadai —Tonan Ajia Shokoku no Jirei de—</i>	(J)	¥1,000
<i>Myamma ni okeru Josei no Chii</i>	(J)	¥1,000
<i>Indo ni okeru Shogai ni Wataru Kenko to Jenda</i>	(J)	¥1,000
<i>Indo no Keizai Kaihatsu to Saisei Kano Enerugi Riyo —Josei no Shakaiteki Yakuwari no Zodaisuru naka de—</i>	(J)	¥1,000
<i>Josei Rodosha no Hi-seikika ni kansuru Nikkan Hikaku —Rodo Shijo to Josei Seisaku, Shokuba no Jenda Kozoka no Bunseki—</i>	(J)	(on request)
<i>“Ho”, “Hinkon”, “Jenda”: Ho-Tagen-Shugi to Seigi eno Akusesu</i>	(J)	(on request)
<i>Firipin to Myamma ni okeru Wakamono oyobi Josei o Taisho toshita HIV/AIDS Taisaku ni kansuru Chosa Kenkyu</i>	(J)	(on request)
<i>“Kenri o Yoridokoro nisuru Apurochi” no Tenkai to Ajia no Josei no Empawamento</i>	(J)	(on request)
<i>Dairen-shi ni Shinshutsu no Nippon Kigyo ni okeru Genchi Saiyo Josei Jugyo in no Rodo Jittai to Kigyo no Shakaiteki Sekinin</i>	(J)	(on request)
<i>Hyogen Ato Serapi o Oyoshita Risachi Shuho no Kanosei —Jinshin Baibai Higaisha no “Hommono no Katari” —</i>	(J)	(on request)
<i>Tohoku Ajia ni okeru Jenda Yosan no Doko—Nippon, Kankoku, Taiwan wo Jirei toshite—</i>	(J)	(on request)
<i>Chuo Ajia Shokoku ni okeru Komyuniti Kenkyu—Jenda no Shiten kara— (Uzbekisutan, Tajikisutan, Kazafusutan, Kirugisu no Jirei yori —</i>	(J)	(on request)
<i>Jichitai no Nyusatsu, Keiyaku ni okeru Pojitibu Akushon Hyoka ni yoru Danjo Kyodo Sankaku Suishin ni kansuru Hikaku Kenkyu</i>	(J)	(on request)

### Entrepreneur Series

<i>Watashi no Kigyo Taiken—Kitakyushu, Fukuoka no Josei Kigyoka Tachi—</i>	(J)	¥1,000
<i>Ajia no Josei Kigyoka</i>	(J)	¥1,000
<i>Women Entrepreneurs in Selected Asian Countries</i>	(E)	¥1,000

### Asian Women Series

<i>Chugoku no Josei</i>	(J)	¥1,000
<i>Suriranka no Josei</i>	(J)	¥1,000
<i>Indonesia no Josei</i>	(J)	¥1,000
<i>Kankoku no Josei</i>	(J)	¥1,000
<i>Firipin no Josei</i>	(J)	¥1,000
<i>Banguradeshu no Josei</i>	(J)	¥1,000
<i>Betonamu no Josei</i>	(J)	¥1,000
<i>Tai no Josei</i>	(J)	¥1,000
<i>Chugoku no Josei (Kaitei-ban)</i>	(J)	¥1,000
<i>Shingaporu no Josei</i>	(J)	¥1,000
<i>Maresia no Josei</i>	(J)	¥1,000
<i>Indo no Josei</i>	(J)	¥1,000

### Foreign Correspondents' Reports

Vol. 1 (J) (E)	¥500
Vol. 2 <i>Kazoku Kyoiku to Josei</i> (J) [ <i>Women in Home Education</i> ] (E)	¥800 (sold out)
Vol. 3 <i>Kyoiku to Josei</i> (J) [ <i>Women in Education</i> ] (E)	¥800
Vol. 4 <i>Josei to Kazoku</i> (J) [ <i>Women and Family Life</i> ] (E)	¥800
Vol. 5 <i>Josei to Rodo</i> (J) [ <i>Women and Work</i> ] (E)	¥800
Vol. 6 <i>Josei to Empawamento</i> (J) [ <i>Women's Empowerment</i> ] (E)	¥800
Vol. 7 <i>Josei to Empawamento</i> (J) [ <i>Women's Empowerment</i> ] (E)	¥800
Vol. 8 <i>Josei to Kigyoka</i> (J) [ <i>Women Entrepreneurs</i> ] (E)	¥800
Vol. 9 <i>Koreisha to Kodomo</i> (J) [ <i>The Elderly and/or Children</i> ] (E)	¥800
Vol. 10 <i>Kankyo to Josei</i> (J) [ <i>Women in Environment</i> ] (E)	¥800
Vol. 11 <i>Kenko to Josei</i> (J) [ <i>Women and Health</i> ] (E)	(on request)

### Contemporary Research Series on the Middle Class

<i>Gendai Firipin ni okeru "Chukankaiso" no Kenkyu</i>	(J)	¥1,000
<i>Gendai Tai ni okeru "Chukankaiso" no Kenkyu</i>	(J)	¥1,000
<i>Gendai Indonesia ni okeru "Chukankaiso" no Kenkyu</i>	(J)	¥1,000
<i>Gendai Maresia ni okeru "Chukankaiso" no Kenkyu</i>	(J)	¥1,000
<i>Gendai Singaporu ni okeru "Chukankaiso" no Kenkyu</i>	(J)	¥1,000
<i>Tonan Ajia ni okeru "Chukankaiso" no Kenkyu</i>	(J)	¥1,000

### Other

<i>Princess sunflower</i>	(E)	¥1,500
---------------------------	-----	--------

### Videotapes (NTSC)

<i>Educational Videotapes for International Understanding</i> (with expository text)	*Library price	¥10,000	*Regular price
<i>Chugoku no Kodomo Tachi/Suriranka no Sabomi-chan</i>	(J)	¥3,000	(sold out)
<i>Sugao no Kankoku/Hohoemi no Kuni Tai</i>	(J)	¥3,000	
<i>Indonesia no Kodomo Tachi/Tomoni Ikiru Ajia no Rinjin</i>	(J)	¥3,000	(sold out)
<i>Yokina Firipin no Kodomo Tachi/Te to te o Musubo</i>	(J)	¥3,000	
<i>Konnichiwa Maresia no Kodomo Tachi/Maresia tte Donnakuni?</i>	(J)	¥3,000	
<i>Tabunkashakai no Kodomo Tachi/Osutoraria tte Donnakuni?</i>	(J)	¥3,500	
<i>Sin-chao Konnichiwa Betonamu/Betonamu no Kodomo Tachi —Ichiban Taisetsuna Mono wa Nani?—</i>	(J)	¥3,500	

### Notes:

(1) J: Japanese and E: English.

(2) Taxes are included.

(3) Publication and videotapes can be mailed if additional postage is paid.

## Overseas Networks

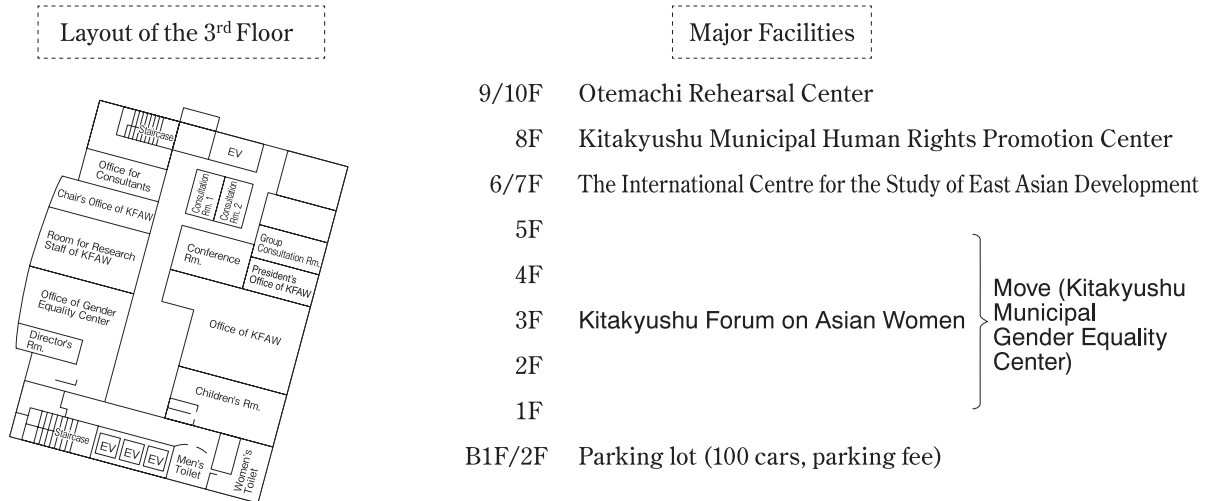
907 people in 100 countries and three regions (As of March 2009)

Asia (22 countries)		644
1	India	50
2	Republic of Indonesia	48
3	Kingdom of Cambodia	20
4	Republic of Cyprus	1
5	Republic of Singapore	29
6	Democratic Socialist Republic of Sri Lanka	32
7	Kingdom of Thailand	63
8	Republic of Korea	52
9	People's Republic of China	74
	(Hong Kong)	3
10	Kingdom of Nepal	38
11	Islamic Republic of Pakistan	32
12	People's Republic of Bangladesh	41
13	The Democratic Republic of Timor-Leste	2
14	Republic of Philippines	79
15	Kingdom of Bhutan	2
16	Brunei Darussalam	2
17	Socialist Republic of Vietnam	18
18	Malaysia	34
19	Union of Myanmar	7
20	Republic of Maldives	3
21	Mongolian People's Republic	11
22	Lao People's Democratic Republic	6
North America (3 countries)		59
1	United States of America	54
2	Canada	4
3	Republic of Haiti	1
Latin America and Caribbean (14 countries)		36
1	Oriental Republic of Uruguay	4
2	Republic of Costa Rica	2
3	Republic of Colombia	1
4	Jamaica	1
5	Republic of Suriname	3
6	Saint Lucia	1
7	Republic of Chile	4
8	Republic of Nicaragua	1
9	Republic of Panama	3
10	Republic of Paraguay	1
11	Federative Republic of Brazil	4
12	Republic of Peru	6
13	Republic of Honduras	1
14	United Mexican States	4
Europe (including NIS countries) (14 countries)		28
1	United Kingdom of Great Britain and Northern Ireland	7
2	Republic of Italy	2
3	Kingdom of the Netherlands	3
4	Kyrgyz Republic	2
5	Kosovo	1
4	Republic of Tajikistan	2
7	Czech Republic	1
8	Kingdom of Denmark	1
9	Federal Republic of Germany	2
10	Republic of Finland	1
11	Bosnia and Herzegovina	3
12	Portuguese Republic	1
13	Former Yugoslav Republic of Macedonia	1
14	Russian Federation	1

Pacific (8 countries)		43
1	Commonwealth of Australia	16
2	Independent State of Samoa	1
3	Solomon Islands	1
4	Independent State of Papua New Guinea	13
5	Republic of Palau	1
6	Republic of Vanuatu	2
7	Republic of the Fiji Islands	8
8	Federated States of Micronesia	1
Middle East (7 countries)		25
1	Islamic State of Afghanistan	5
2	Republic of Yemen	2
3	Republic of Iraq	1
4	Islamic Republic of Iran	3
5	Syrian Arab Republic	1
6	Republic of Turkey	5
7	Hashemite Kingdom of Jordan	8
Africa (32 countries)		66
1	People's Republic of Algeria	1
2	Republic of Uganda	4
3	Arab Republic of Egypt	1
4	State of Eritrea	1
5	Republic of Ghana	4
6	Gabonese Republic	1
7	Republic of Cameroon	2
8	Republic of Kenya	8
9	Republic of Cote d'Ivoire	3
10	Republic of Congo	1
11	Democratic Republic of Congo (Formerly Zaire)	2
12	Democratic Republic of Sao Tome and Principe	1
13	Republic of Zambia	3
14	Republic of Zimbabwe	2
15	Kingdom of Swaziland	1
16	Republic of Equatorial Guinea	1
17	Republic of Senegal	1
18	United Republic of Tanzania	4
19	Republic of Chad	2
20	Central African Republic	1
21	Federal Republic of Nigeria	3
22	Republic of Niger	4
23	Burkina Faso	2
24	Republic of Burundi	1
25	Republic of Benin	1
26	Republic of Botswana	1
27	Republic of Madagascar	1
28	Republic of Malawi	4
29	Republic of Mali	2
30	Republic of South Africa	1
31	Republic of Mauritius	1
32	Islamic Republic of Mauritania	1
Regions (3 regions)		6
1	British Virgin Islands	1
2	Taiwan	4
3	Palestine Liberation Organization	1

## Location and Facilities

The Kitakyushu Otemachi Building opened in July 1995. The building has 10 floors above ground and two floors at the basement level. The Kitakyushu Municipal Gender Equality Center (Move) occupies floors one through five, and the Kitakyushu Forum on Asian Women has its offices on the 3<sup>rd</sup> floor.



- Access :
- About 15 minutes from JR Nishikokura Station on foot
  - Nishitetsu Bus Service
    - 1) From Kokura Bus Station: Route 27, 45, 110, 134, 138, circular line (inbound or outbound) or express for Minami-Kusami or Showa-Ike.  
Get off at Kyushu Kosei Nenkin Kaikan (Hall) & Move-mae.
    - 2) From Nishikokura Eki-mae: Route 45, 76, 79, 110, 134, 138, or express for Minami-Kusami or Showa-ike. Get off at same bus stop as 1.
    - 3) From Nishikokura Eki: Circular line (inbound).  
Get off at same bus stop as 1.
  - Kitakyushu Urban Expressway  
About 3 minutes from either Otemachi or Katsuyama ramp exit.

※ For further information on Move (Kitakyushu Municipal Gender Equality Center):

Tel. 81-93-583-3939

Fax. 81-93-583-5107



---

**(財) アジア女性交流・研究フォーラム  
平成 20 (2008) 年度 年報**

**Kitakyushu Forum on Asian Women  
Annual Report April 2008 to March 2009**

発行 (財)アジア女性交流・研究フォーラム  
Published by Kitakyushu Forum on Asian Women  
803-0814 北九州市小倉北区大手町 11-4  
Kitakyushu Otemachi Building 3F  
Otemachi 11-4, Kokurakita-ku, Kitakyushu  
Japan 803-0814

TEL (093) 583-3434  
TEL 81-93-583-3434

FAX (093) 583-5195  
FAX 81-93-583-5195

ホームページアドレス <http://www.kfaw.or.jp>  
URL <http://www.kfaw.or.jp>

発行月 平成 21 年 11 月  
Published in November 2009

---

財団 法人 アジア女性交流・研究フォーラム

〒803-0814 北九州市小倉北区大手町11番4号 北九州市大手町ビル3階

電話 093-583-3434 FAX 093-583-5195

E-mail: [kfaw@kfaw.or.jp](mailto:kfaw@kfaw.or.jp) ホームページ <http://www.kfaw.or.jp>



**Kitakyushu Forum on Asian Women**

KITAKYUSHU OTEMACHI BUILDING 3F  
OTEMACHI 11-4, KOKURAKITA, KITAKYUSHU 803-0814 JAPAN  
PHONE +81-93-583-3434 FAX +81-93-583-5195

E-mail: [kfaw@kfaw.or.jp](mailto:kfaw@kfaw.or.jp)

URL: <http://www.kfaw.or.jp>